

5 健康づくりに対する意識や状況

(1) 自身の現在の健康状態

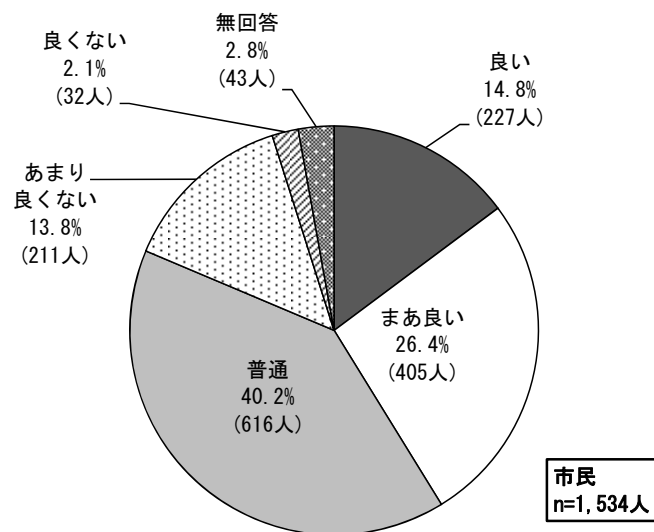
問31 あなたはご自身の現在の健康状態をどのように考えていますか。(○は1つだけ)

4割強が「良い」「まあ良い」と回答

【全体結果】

「良い」「まあ良い」と回答した人を合わせた割合は4割強（41.2%）となっている。
一方、「あまり良くない」「良くない」と回答した人を合わせた割合は2割弱（15.9%）となっている。

図 34.1 自身の現在の健康状態



【性別・年齢別】

「良い」「まあ良い」と回答した人を合わせた割合は、30歳代(54.4%)が最も高く、5割強となっている。一方、「あまり良くない」「良くない」と回答した人を合わせた割合は、70歳以上(18.2%)が最も高くなっている。

図 34.2 自身の現在の健康状態 (年齢別・全体)

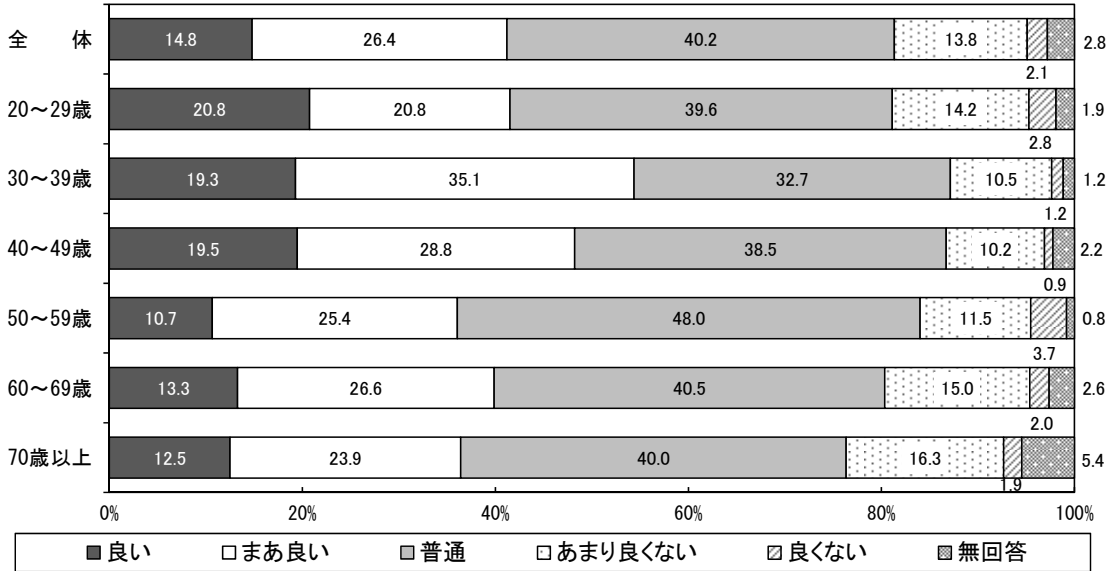
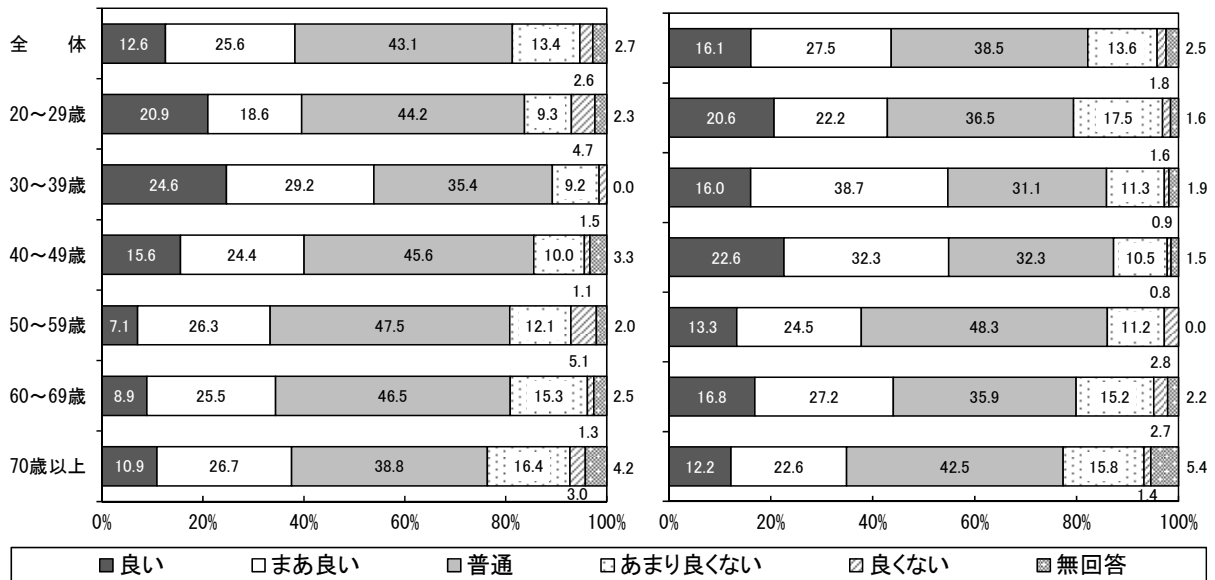


図 34.3 自身の現在の健康状態

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

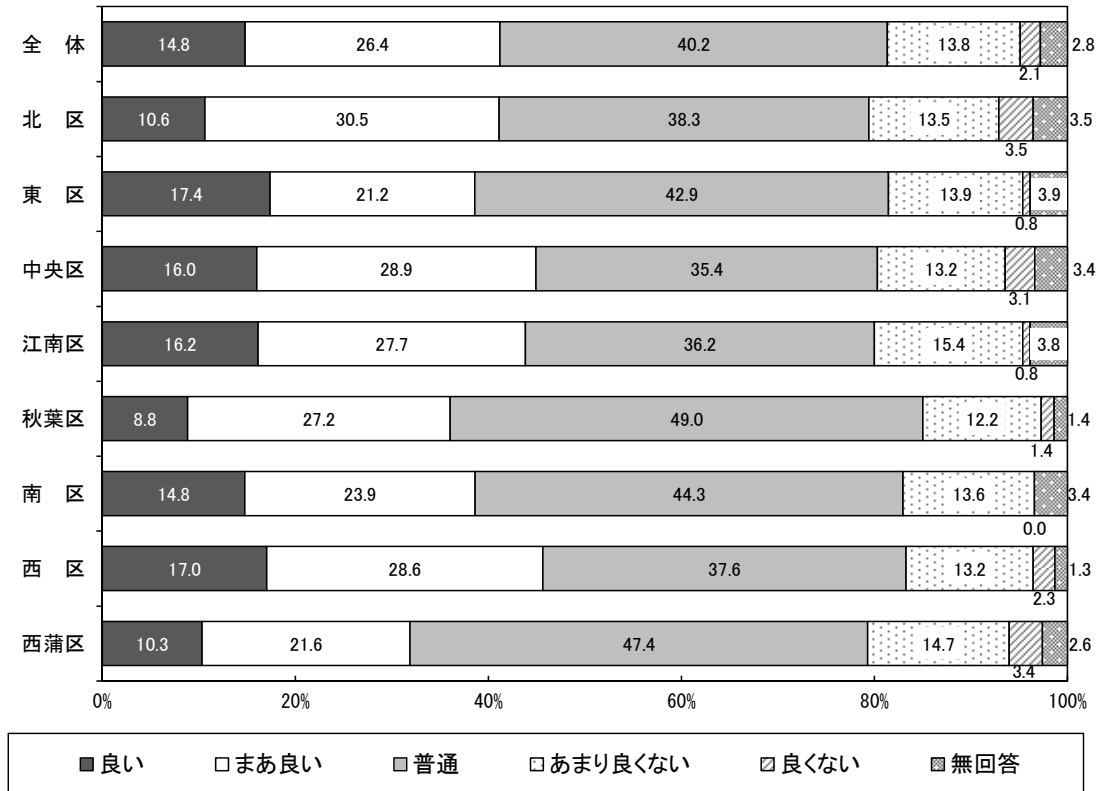
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「良い」「まあ良い」と回答した人を合わせた割合は、西区（45.6%）、中央区（44.9%）、江南区（43.9%）で比較的高くなっている。一方、「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合では、東区（17.0%）が最も高くなっている。

図 34.4 自身の現在の健康状態（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,543	150	253	354	137	141	97	305	98	8

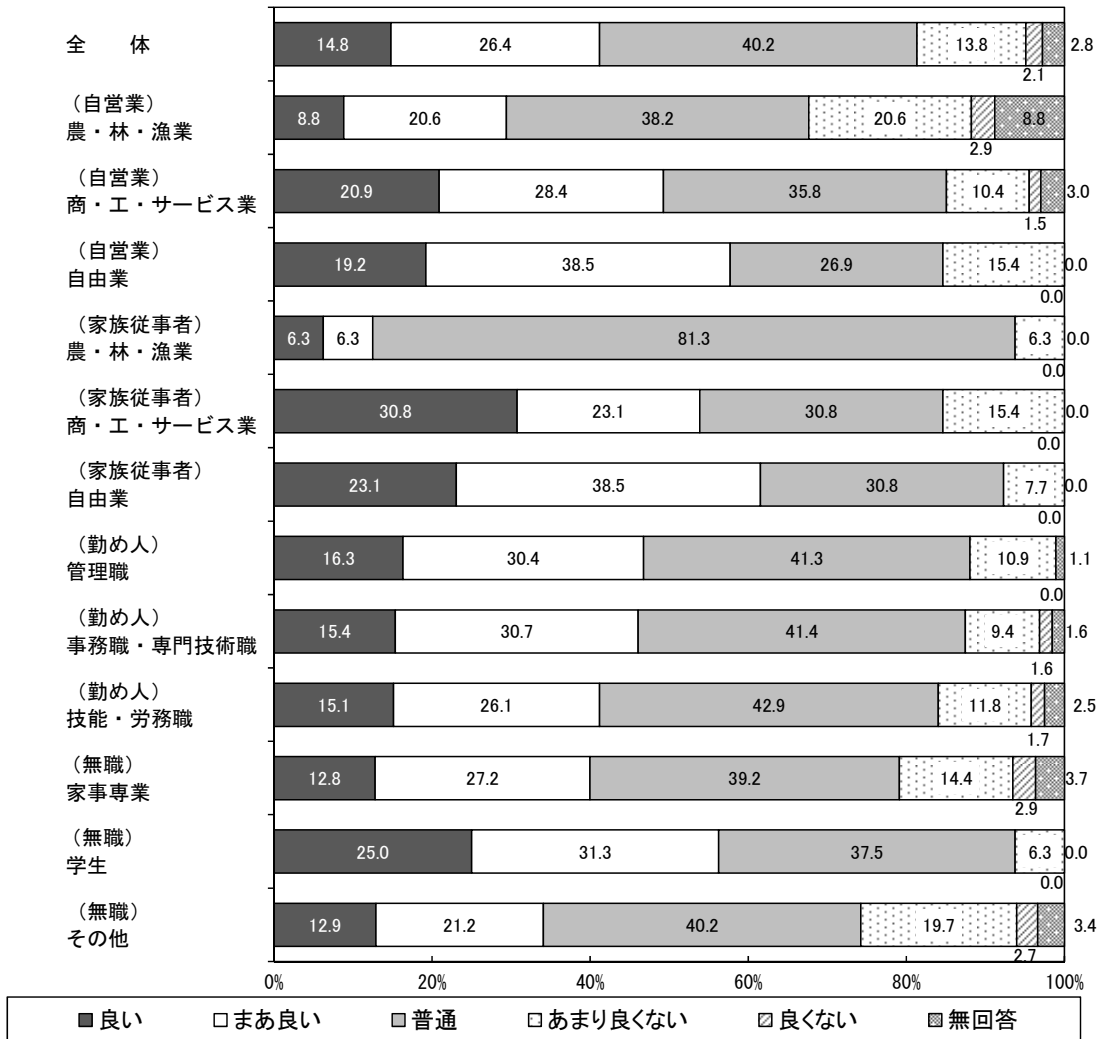
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 34.5 自身の現在の健康状態（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
1,534	34	67	26	16	13	13	
勤め人			無職			無回答	
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他		
92	319	238	383	16	264	53	

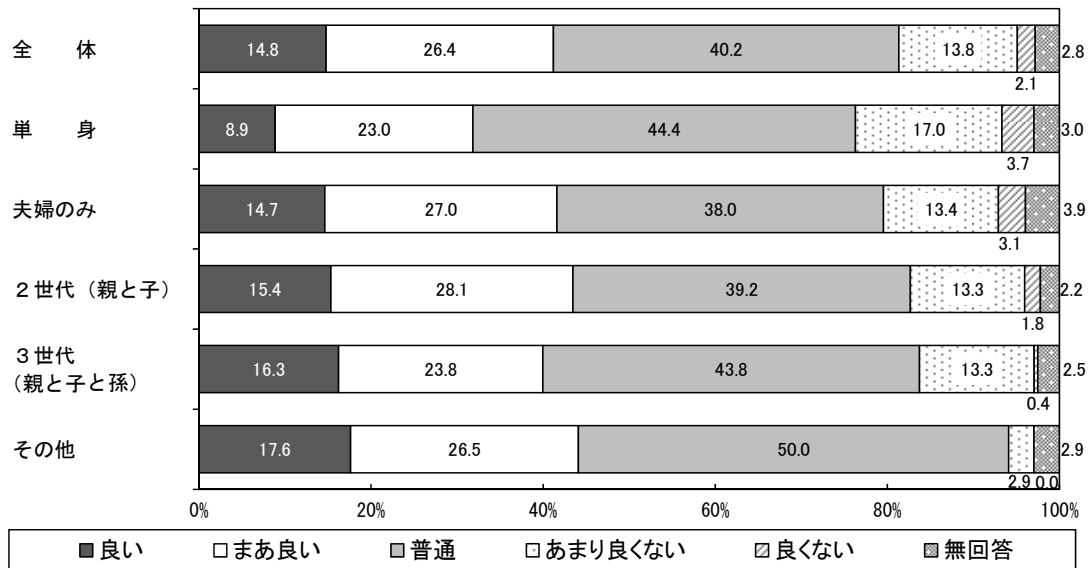
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「良い」「まあ良い」を合わせた割合はその他（44.1%）で最も高く、一方、「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合は夫婦のみ（20.7%）で最も高くなっている。

図 34.6 自身の現在の健康状態（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(2) 睡眠による休養

問32 あなたはいつもとっている睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(○は1つだけ)

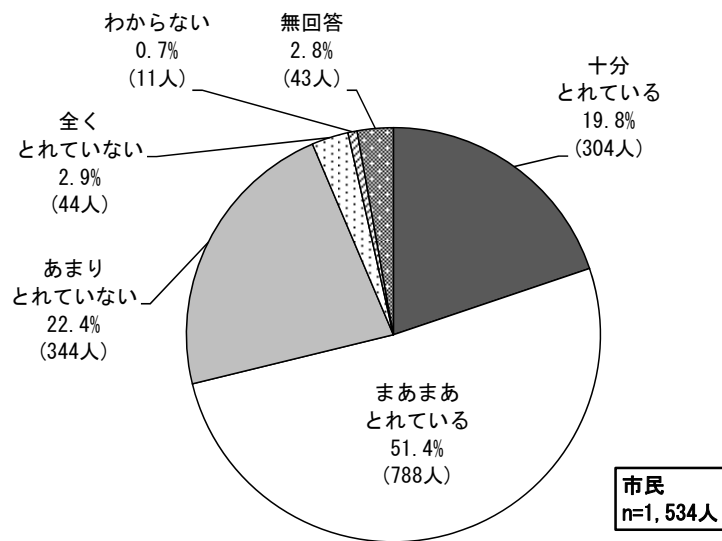
7割強が睡眠による休養がとれていると回答

【全体結果】

睡眠による休養が「十分とれている」「まあまあとれている」と回答した人を合わせた割合は7割強(71.2%)となっている。

一方、「あまりとれていない」「全くとれていない」と回答した人を合わせた割合は3割弱(25.3%)となっている。

図35.1 睡眠による休養



【性別・年齢別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、70歳以上（81.6%）で最も高く、8割強となっている。

図 35.2 睡眠による休養（年齢別・全体）

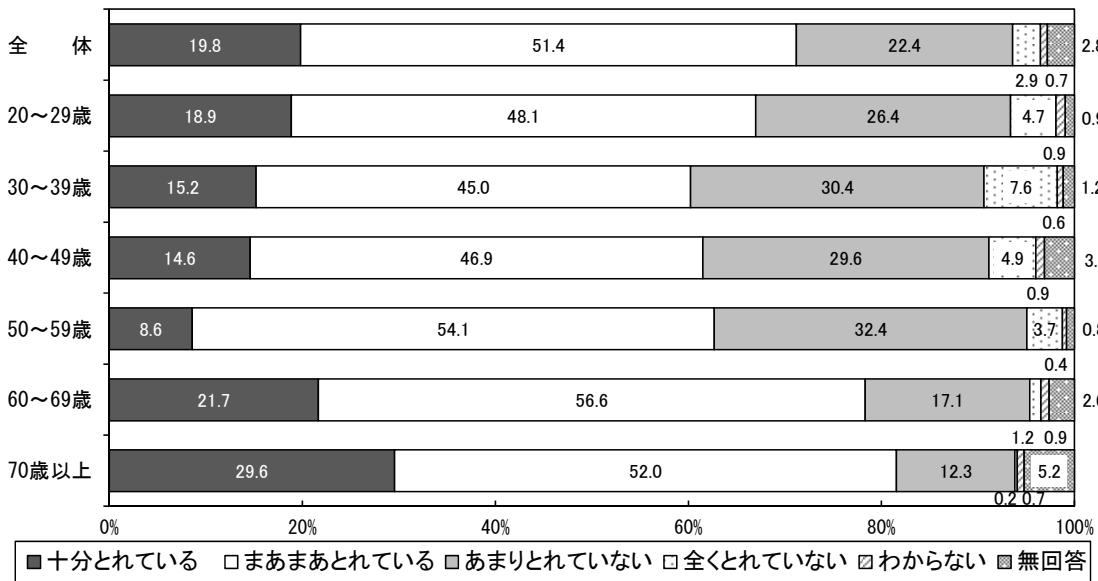
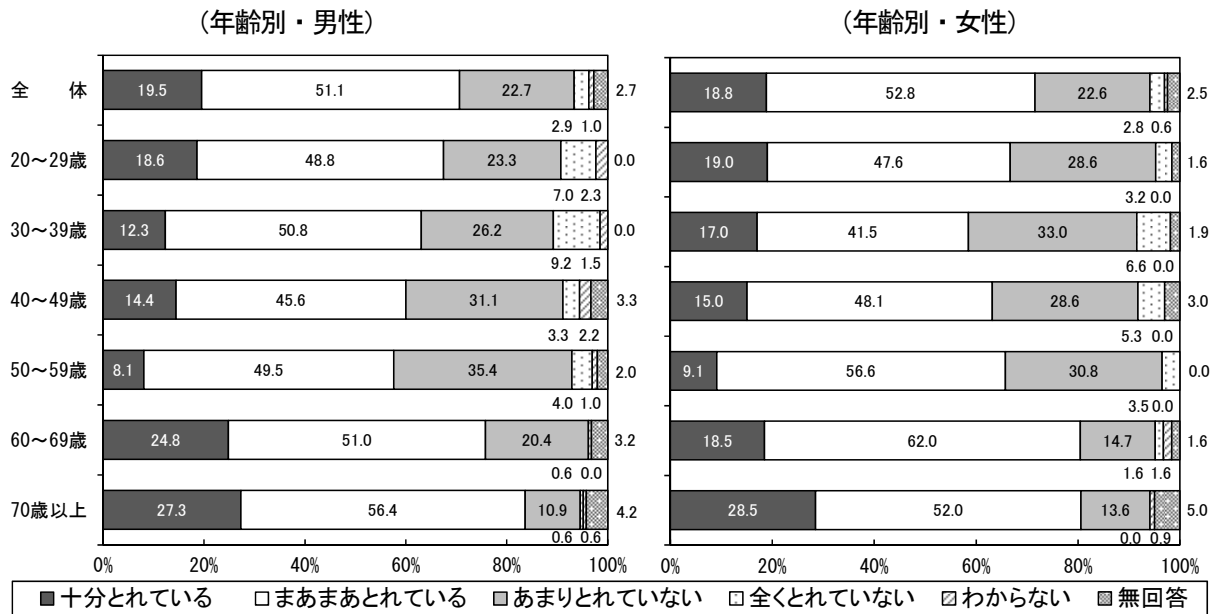


図 35.3 睡眠による休養



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

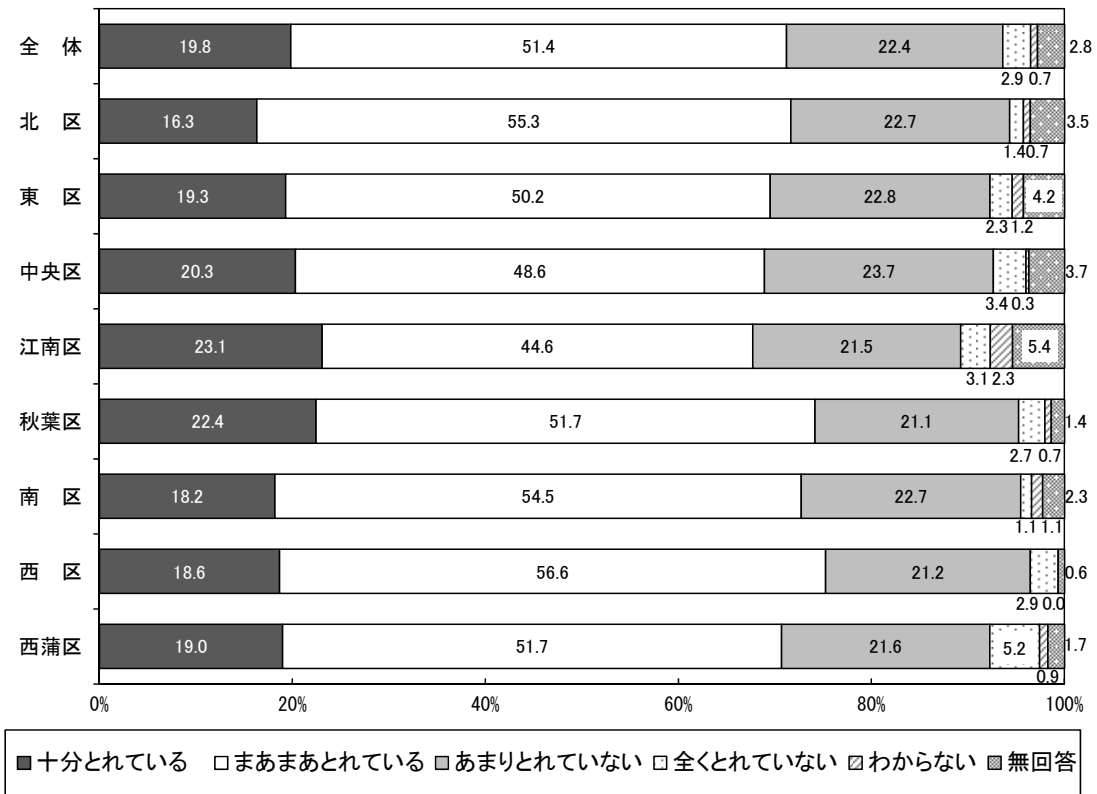
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、西区（75.2%）で最も高くなっている。

図 35.4 睡眠による休養（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

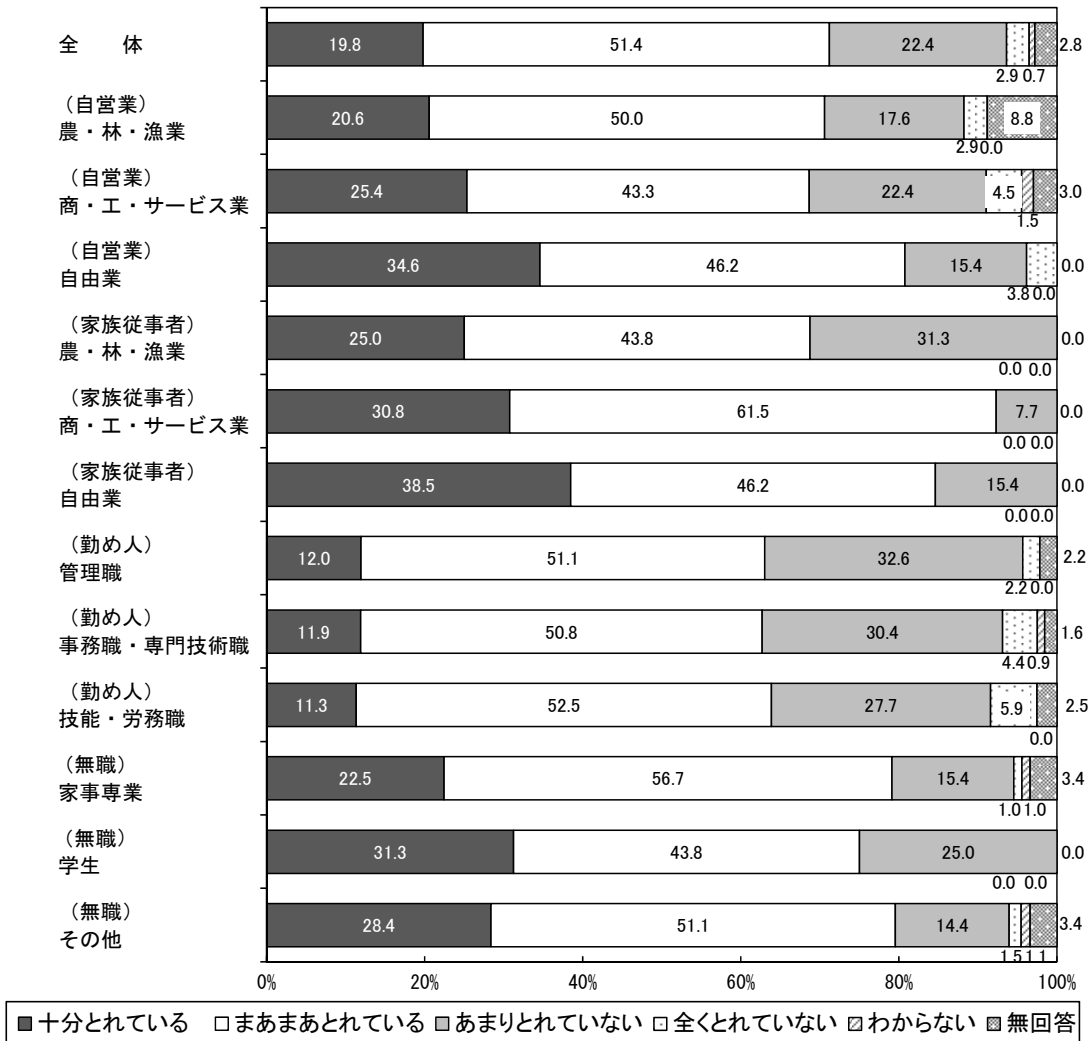
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 35.5 睡眠による休養（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答	
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業		
1,534	34	67	26	16	13	13		
		勤め人			無職			無回答
	管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他		
	92	319	238	383	16	264	53	

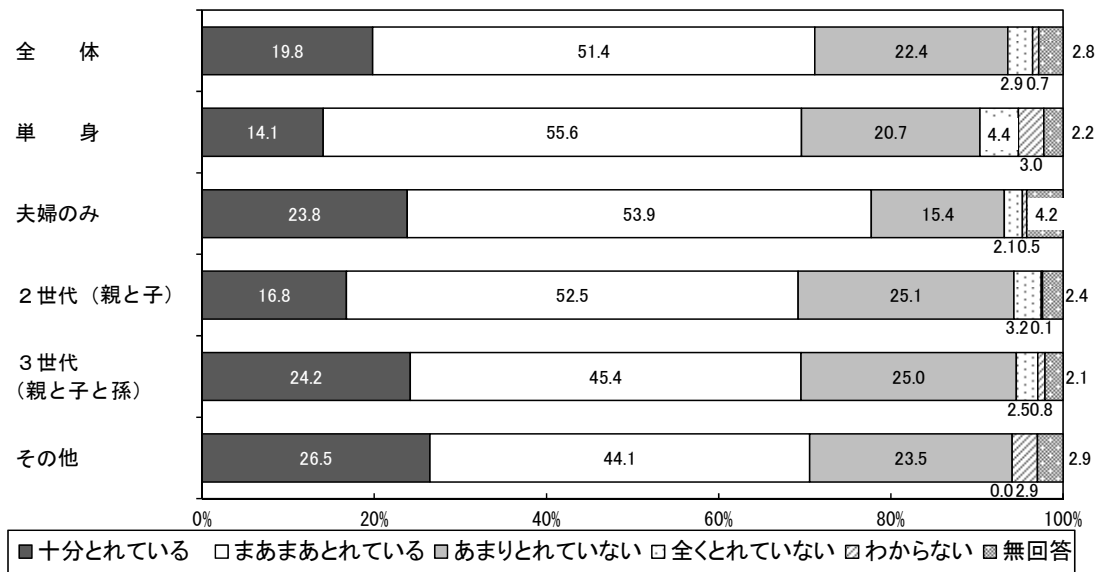
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、夫婦のみ（77.7%）で最も高くなっている。

図 35.6 睡眠による休養（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(3) ストレスがある時の対処法

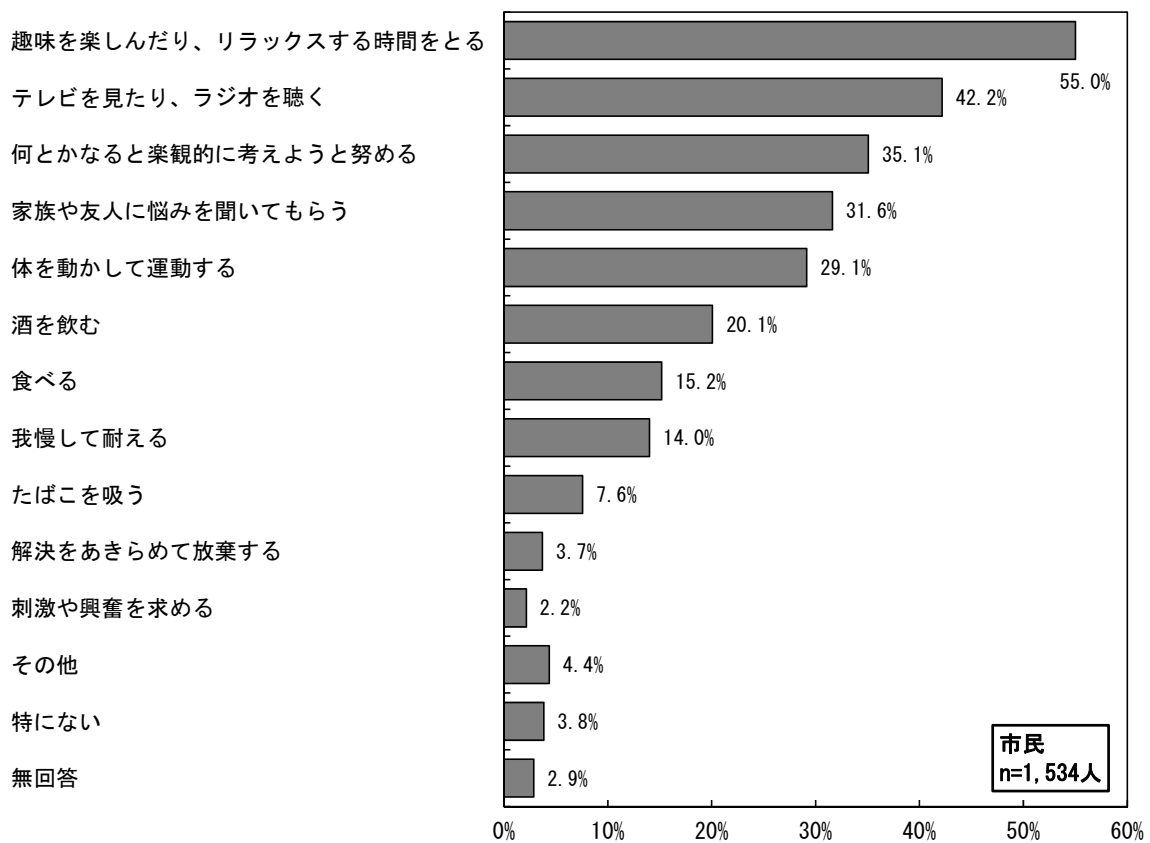
問33 ストレスがある時の対処法は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

5割強が「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答

【全体結果】

ストレスがある時の対処法については、「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答した人が5割強(55.0%)と最も多く、以下「テレビを見たり、ラジオを聴く」(42.2%)、「何とかなると楽観的に考えようと努める」(35.1%)、「家族や友人に悩みを聞いてもらう」(31.6%)、「体を動かして運動する」(29.1%)、と続いている。

図36.1 ストレスがある時の対処法



全体	趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかなると楽観的に考えようと努める	家族や友人に悩みを聞いてもらう	体を動かして運動する	酒を飲む	食べる	我慢して耐える	たばこを吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	その他	特にない	無回答
1,534	844	647	538	485	447	308	233	215	116	57	33	67	59	44

(人)

【性別・年齢別】

70歳以上では「テレビを見たり、ラジオを聴く」と回答した人の割合が最も高く、60歳代以下では「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答した人の割合が最も高くなっている。

性別では「酒を飲む」「たばこを吸う」の割合は、各年代とも、男性の方が高くなっている。「家族や友人に悩みを聞いてもらう」「食べる」の割合は、各年代とも、女性の方が高くなっている。

表 8.1 ストレスがある時の対処法（年齢別・全体）

	対象者	趣味を楽しんだり、 リラックスする時間をとる	テレビを見たり、 ラジオを聴く	何とかになると楽観的に 考えようとする	家族や友人に悩みを 聞いてもらう	体を動かして運動する	酒を飲む	食べる	我慢して耐える	たばこを吸う	解決をあきらめて 放棄する	刺激や興奮を求める	特 に な い	そ の 他	無 回 答
計	1,534	55.0	42.2	35.1	31.6	29.1	20.1	15.2	14.0	7.6	3.7	2.2	3.8	4.4	2.9
20～29歳	106	75.5	26.4	27.4	46.2	21.7	17.9	33.0	17.9	12.3	6.6	7.5	1.9	4.7	1.9
30～39歳	171	60.8	29.8	27.5	45.6	24.6	31.0	33.3	20.5	14.0	6.4	5.3	2.9	5.3	1.2
40～49歳	226	66.8	38.9	35.8	36.3	26.1	25.7	24.3	15.5	9.7	4.4	2.7	1.8	5.3	2.2
50～59歳	244	54.9	48.0	34.4	37.3	24.6	26.2	15.6	13.1	9.8	4.1	1.2	1.6	4.1	1.2
60～69歳	346	50.6	42.2	42.5	24.3	35.0	18.5	7.2	10.4	5.5	3.2	1.2	5.2	4.3	2.3
70歳以上	423	44.9	49.2	33.6	22.5	32.6	11.3	4.7	12.3	3.3	1.9	0.7	5.9	3.5	5.7
年齢不明	18	55.6	50.0	44.4	33.3	22.2	11.1	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0

対象者：人／回答：%

表 8.2 ストレスがある時の対処法（年齢別・男性）

対象者	趣味を楽しんだり、ラッククスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかしようと努める	家族や友人に悩みを聞いてもらう	体を動かして運動する	酒を飲む	食べる	我慢して耐える	たばこを吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答	
計	620	53.1	43.7	32.7	12.3	33.4	33.7	9.4	14.2	12.4	3.5	2.7	4.0	3.5	2.9
20～29歳	43	72.1	27.9	32.6	30.2	23.3	20.9	20.9	16.3	14.0	4.7	9.3	0.0	2.3	2.3
30～39歳	65	58.5	32.3	24.6	13.8	30.8	46.2	23.1	20.0	23.1	4.6	6.2	3.1	1.5	0.0
40～49歳	90	65.6	36.7	35.6	17.8	33.3	40.0	18.9	16.7	14.4	4.4	4.4	2.2	6.7	3.3
50～59歳	99	50.5	52.5	24.2	13.1	24.2	45.5	8.1	15.2	18.2	1.0	3.0	1.0	1.0	3.0
60～69歳	157	47.8	47.1	37.6	8.3	38.9	31.8	4.5	10.8	8.3	5.1	1.3	6.4	3.8	2.5
70歳以上	165	45.5	47.9	35.2	7.3	37.6	23.6	1.2	12.7	7.3	2.4	0.0	6.1	4.2	4.2
年齢不明	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人／回答：%

表 8.3 ストレスがある時の対処法（年齢別・女性）

対象者	趣味を楽しんだり、ラッククスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかしようと努める	家族や友人に悩みを聞いてもらう	体を動かして運動する	酒を飲む	食べる	我慢して耐える	たばこを吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答	
計	851	57.8	40.3	37.1	45.9	25.6	11.0	20.0	13.5	4.3	4.0	1.8	3.5	4.8	2.7
20～29歳	63	77.8	25.4	23.8	57.1	20.6	15.9	41.3	19.0	11.1	7.9	6.3	3.2	6.3	1.6
30～39歳	106	62.3	28.3	29.2	65.1	20.8	21.7	39.6	20.8	8.5	7.5	4.7	2.8	7.5	1.9
40～49歳	133	67.7	41.4	36.8	49.6	21.1	16.5	28.6	14.3	6.8	4.5	0.8	0.8	4.5	1.5
50～59歳	143	58.0	44.1	41.3	53.8	24.5	12.6	21.0	11.2	4.2	6.3	0.0	2.1	6.3	0.0
60～69歳	184	53.8	38.0	46.7	37.5	31.5	7.6	9.8	10.3	3.3	1.6	1.1	3.8	4.9	1.6
70歳以上	221	47.1	49.3	33.9	33.5	28.1	3.2	7.2	12.2	0.0	1.4	1.4	6.3	2.3	6.8
年齢不明	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人／回答：%

(4) 定期的に継続している運動の実施状況

問 34 あなたは、定期的に継続して運動や散歩等を行っていますか。(○は1つだけ) (「定期的に継続して」とは、1回30分以上、かつ週2日以上、かつ1年以上続けていることをいいます。)

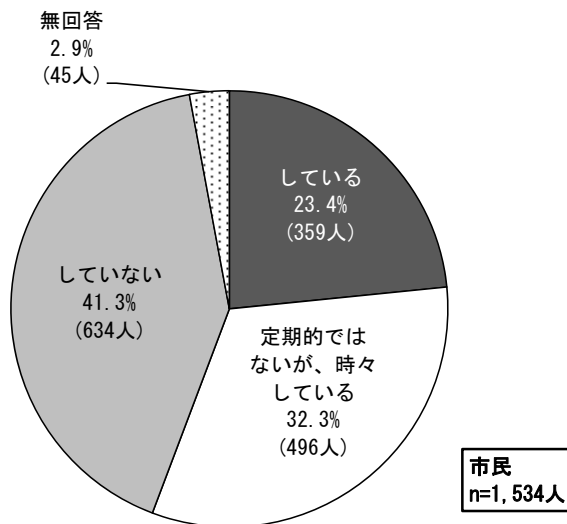
6割弱が運動を実施していると回答

【全体結果】

定期的に継続している運動の実施状況については、「している」(23.4%)と「定期的ではないが、時々している」(32.3%)と回答した人を合わせた割合は6割弱(55.7%)となっている。

一方、「していない」と回答した人が4割強(41.3%)となっている。

図 37.1 定期的に継続している運動の実施状況

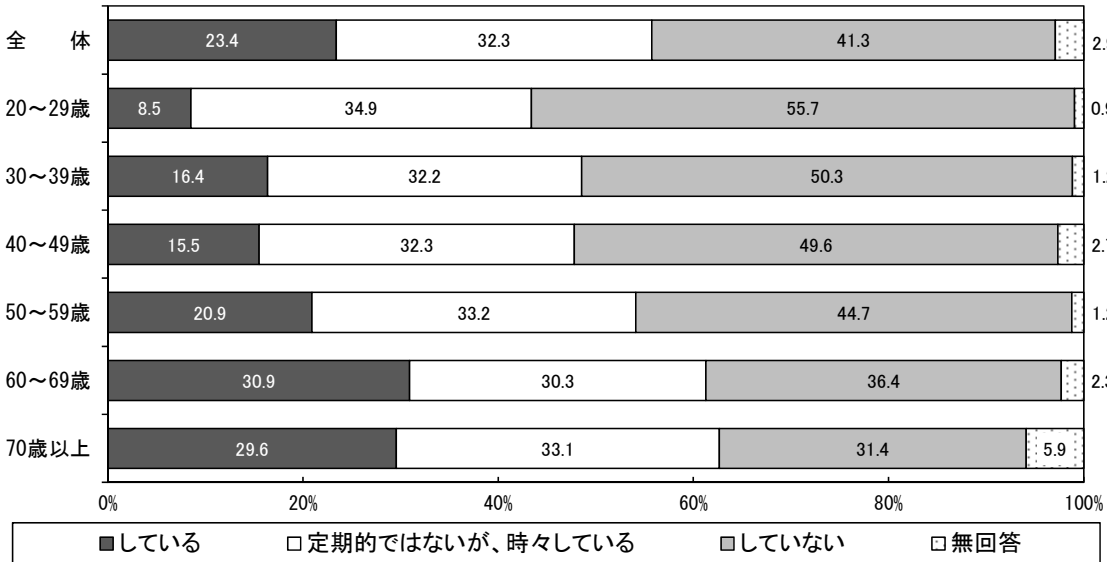
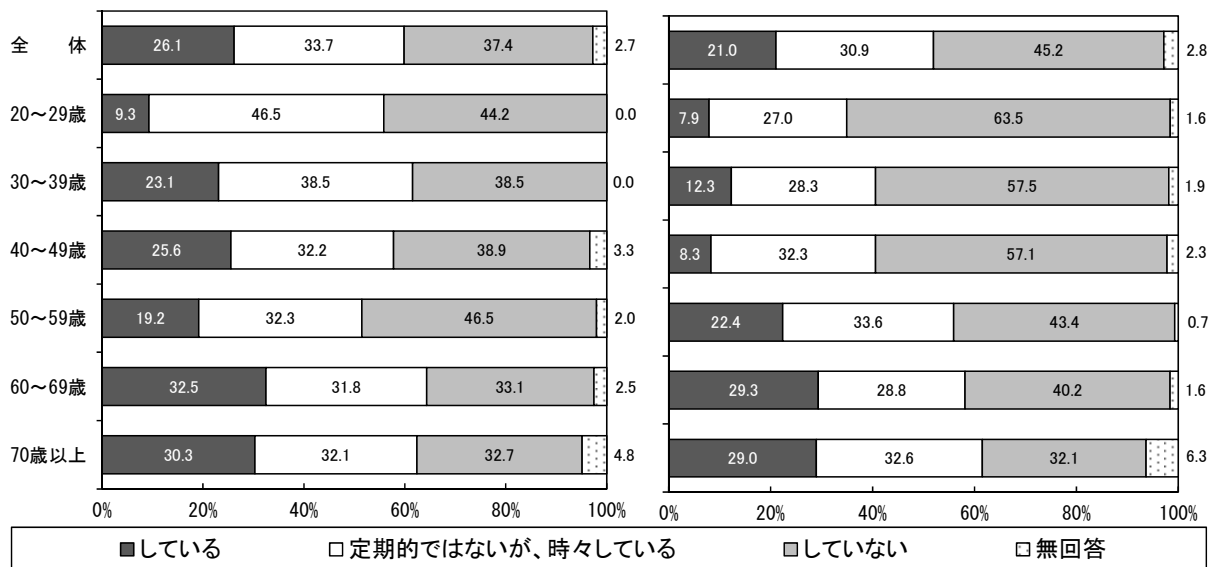


【性別・年齢別】

30歳代以下では、「していない」と回答した人が5割を超えている。一方、60歳以上では「している」と「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合が6割を超えている。

性別では、40歳代以下で「していない」の割合が、男性より女性の方が10ポイント以上高くなっている。

図 37.2 定期的に継続している運動の実施状況（年齢別・全体）

図 37.3 定期的に継続している運動の実施状況
（年齢別・男性） （年齢別・女性）

	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

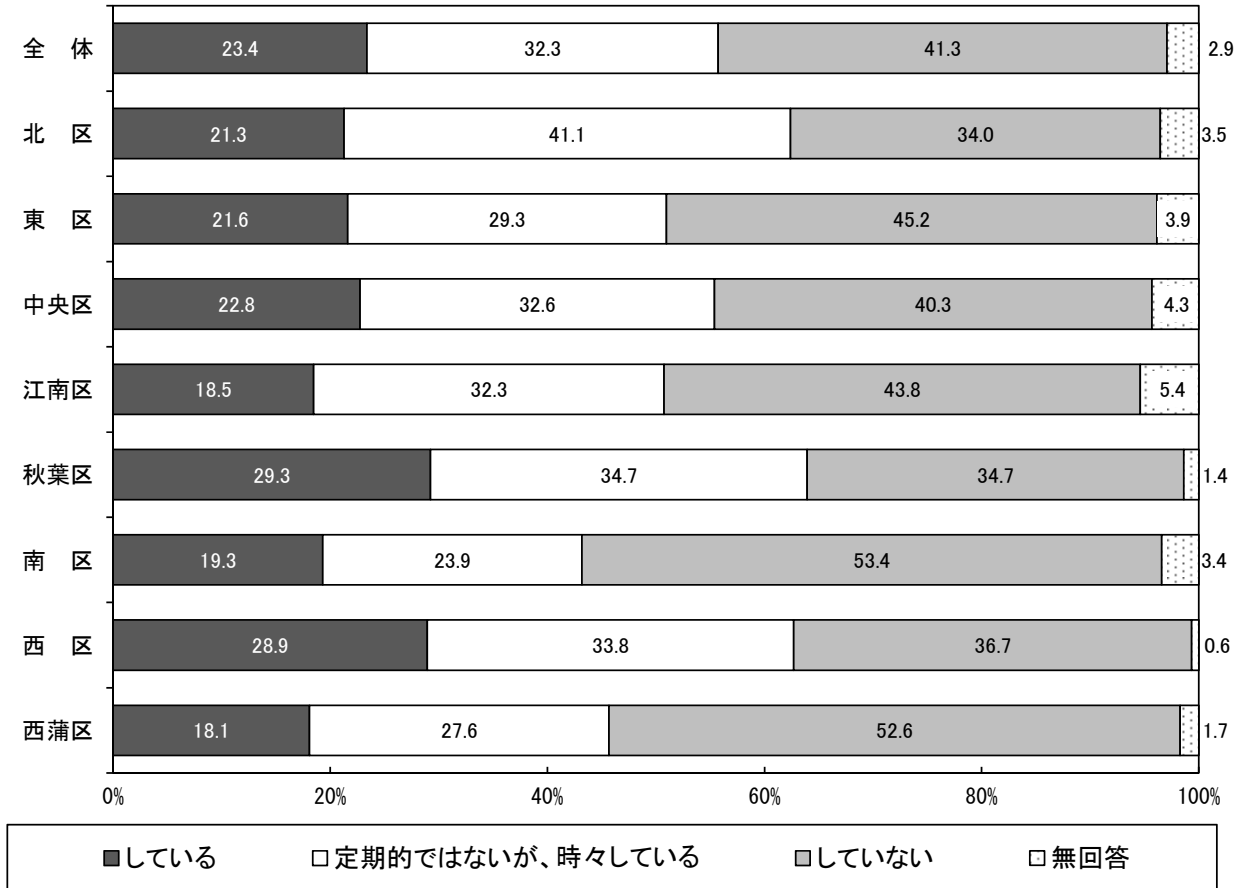
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合は、秋葉区（64.0%）で最も高くなっている。また、南区、西蒲区の2地区は「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合が、「していない」の割合よりも低くなっている。

図 37.4 定期的に継続している運動の実施状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

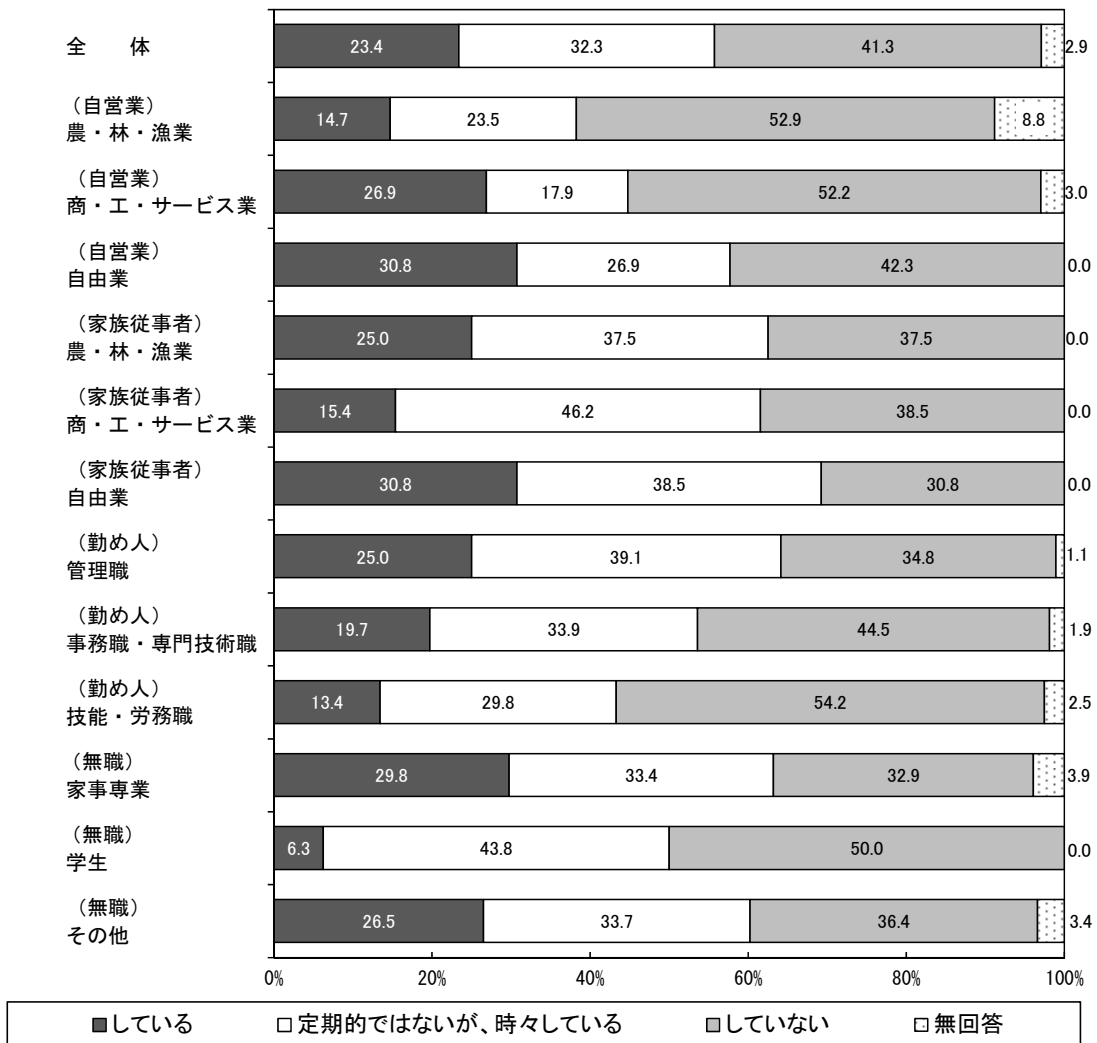
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 37.5 定期的に継続している運動の実施状況（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答	
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業		
1,534	34	67	26	16	13	13		
		勤め人			無職			無回答
		管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
		92	319	238	383	16	264	53

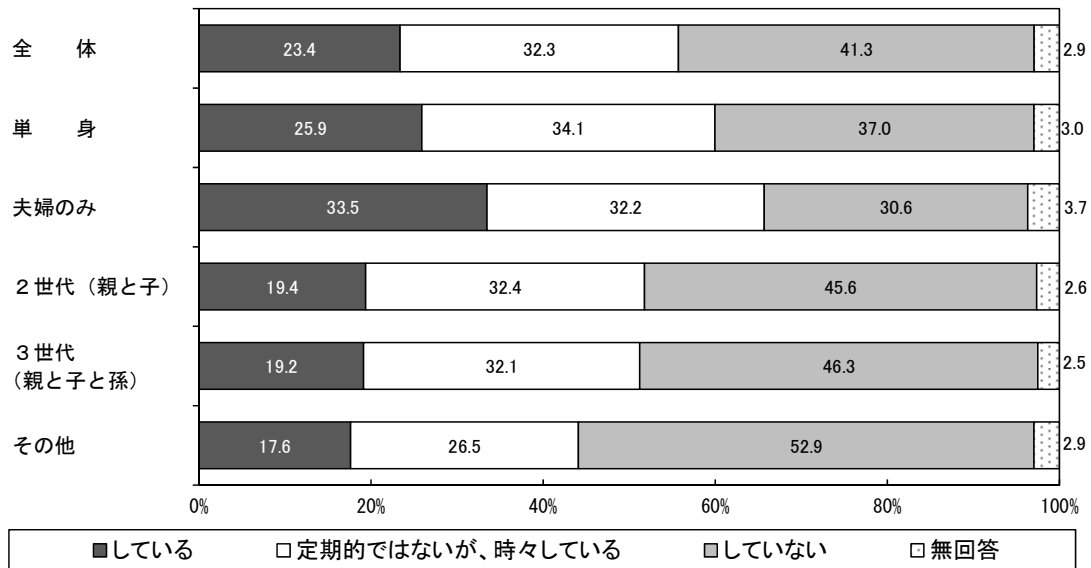
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合は、夫婦のみ（65.7%）で6割半ばと最も高くなっている。

図 37.6 定期的に継続している運動の実施状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(5) 1日60分くらいの運動習慣

問35 「健康維持のためには1日に60分くらい体を動かすような生活をする」とが推奨されています。あなたはこれを実行していますか。(〇は1つだけ)

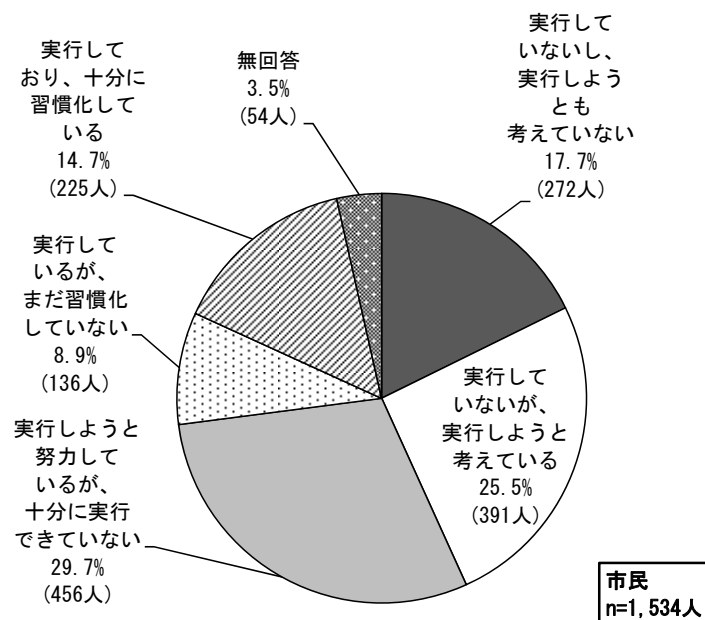
2割強が1日60分くらいの運動を実行していると回答

【全体結果】

1日60分くらいの運動習慣については、「実行しており、十分に習慣化している」(14.7%)と「実行しているが、まだ習慣化していない」(8.9%)と回答した人を合わせた実行している割合は2割強(23.6%)となっている。

一方「実行していないが、実行しようと考えている」(25.5%)、「実行しようとしているが、十分に実行できていない」(29.7%)、「実行していないし、実行しようとも考えていない」(17.7%)を合わせた実行していない割合は7割強(72.9%)となっている。

図38.1 1日60分くらいの運動習慣



【性別・年齢別】

「実行しているが、まだ習慣化していない」と「実行しており、十分に習慣化している」を合わせた割合は60歳代以上で3割を超えている。

図 38.2 1日60分くらいの運動習慣（年齢別・全体）

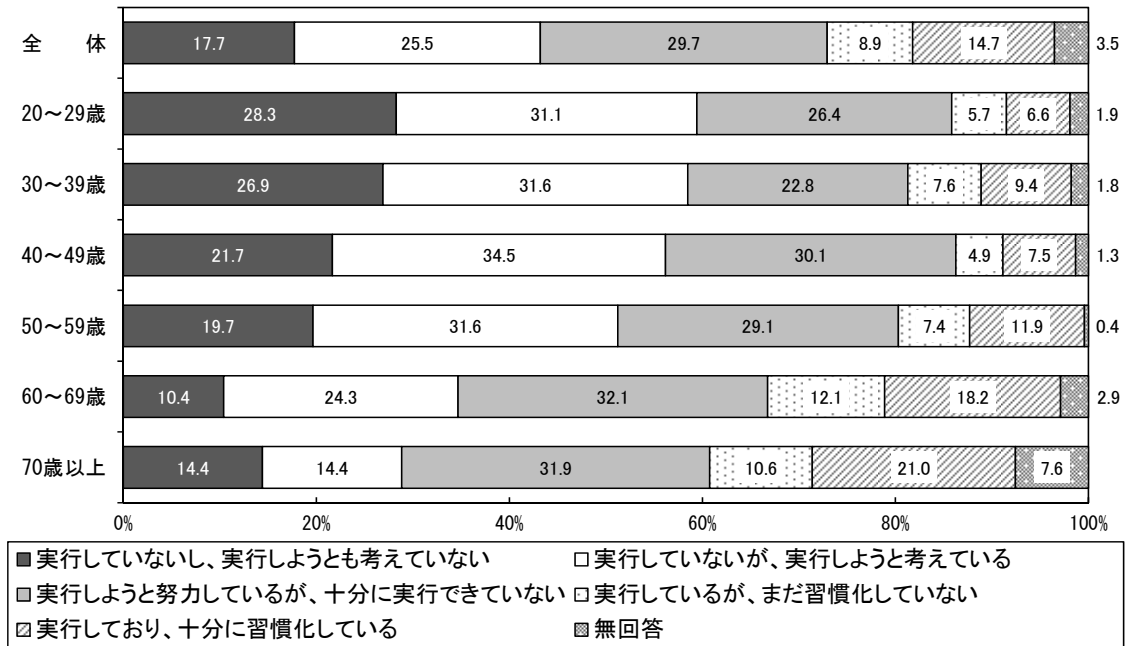
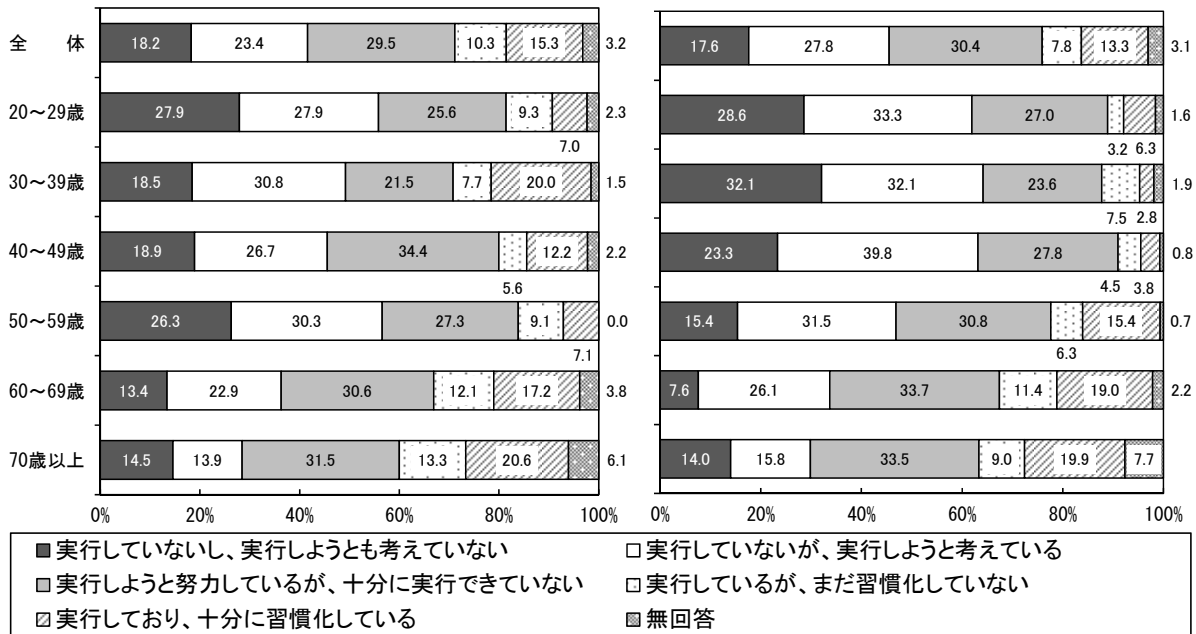


図 38.3 1日60分くらいの運動習慣

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

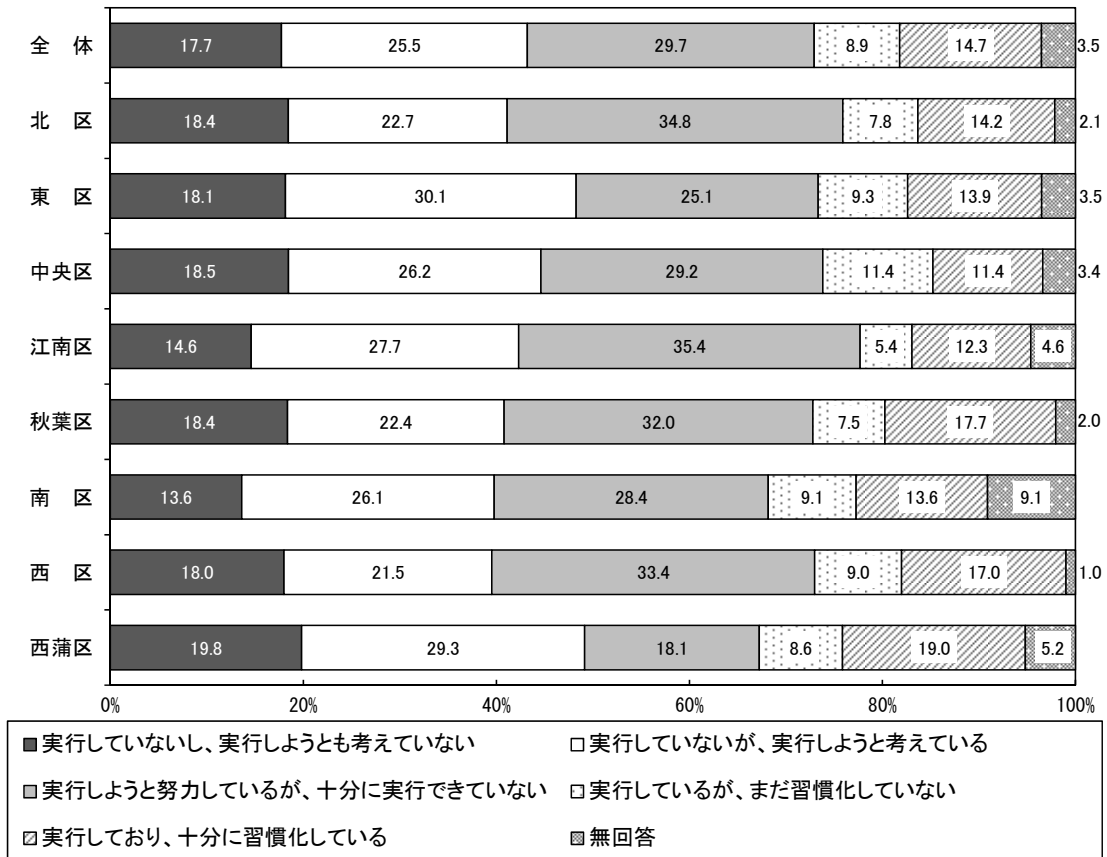
※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

(人)

【地区別】

東区と西蒲区以外の地区で、「実行しようとしているが、十分に実行できていない」と回答した人の割合が最も高くなっている。一方、東区、西蒲区では、「実行していないが、実行しようとしている」の割合が最も高くなっている。

図 38.4 1日60分くらいの運動習慣（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

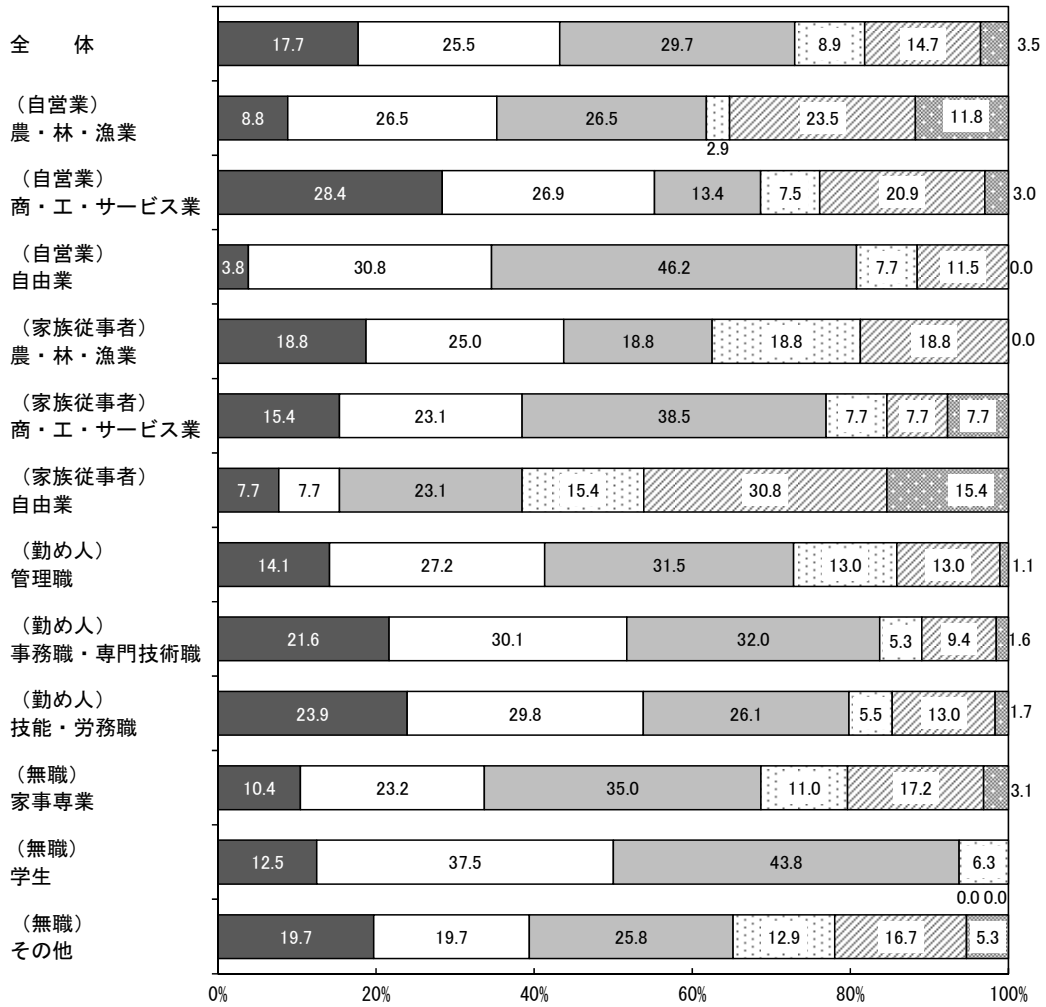
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 38.5 1日60分くらいの運動習慣（職業別）



実行していないし、実行しようとも考えていない 実行していないが、実行しようと考えている
 実行しようとしているが、十分に実行できていない 実行しているが、まだ習慣化していない
 実行しており、十分に習慣化している 無回答

全 体	自営業			家族従事者			無回答	
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業		
1,534	34	67	26	16	13	13		
		勤め人			無職			無回答
		管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
		92	319	238	383	16	264	53

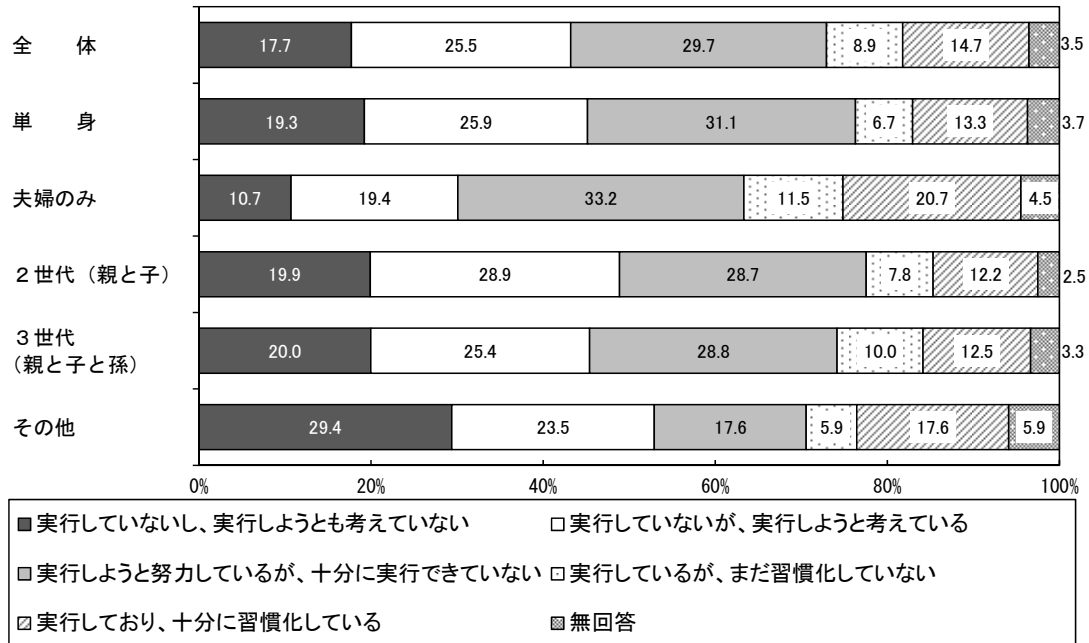
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

単身、夫婦、および3世代では、「実行しようとしているが、十分に実行できていない」が、2世代では「実行していないが、実行しようとしている」の割合が最も高くなっている。その他では、「実行していないし、実行しようとも考えていない」が最も高くなっている。

図 38.6 1日60分くらいの運動習慣（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(6) 喫煙習慣

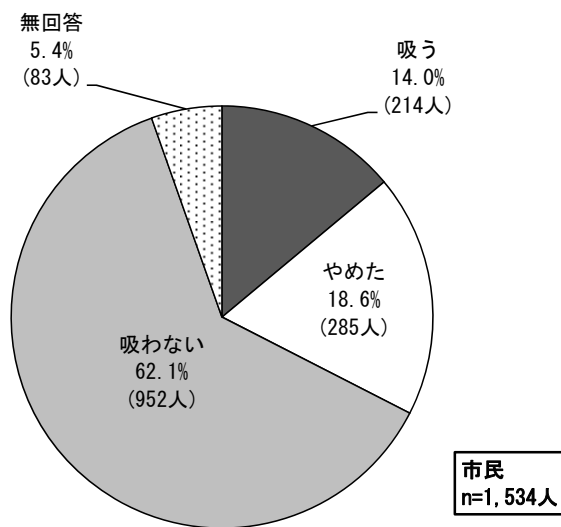
問36 あなたはタバコを吸いますか。(○は1つだけ)

8割強が喫煙をしていないと回答

【全体結果】

「やめた」「吸わない」と回答した人を合わせた喫煙をしていない人の割合は8割強(80.7%)となっている。

図 39.1 喫煙習慣



【性別・年齢別】

「やめた」「吸わない」と回答した人の割合は、各年代で6割を超えている。一方、「吸う」と回答した人の割合は30歳代で最も高く、2割を超えている。

性別では、各年代とも「吸う」の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

図 39.2 喫煙習慣（年齢別・全体）

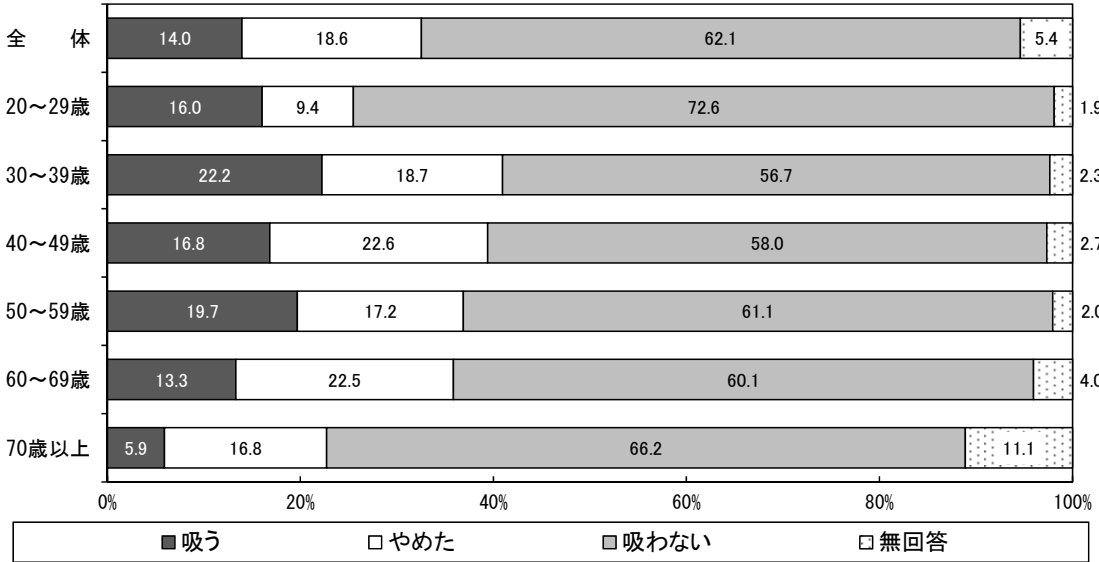
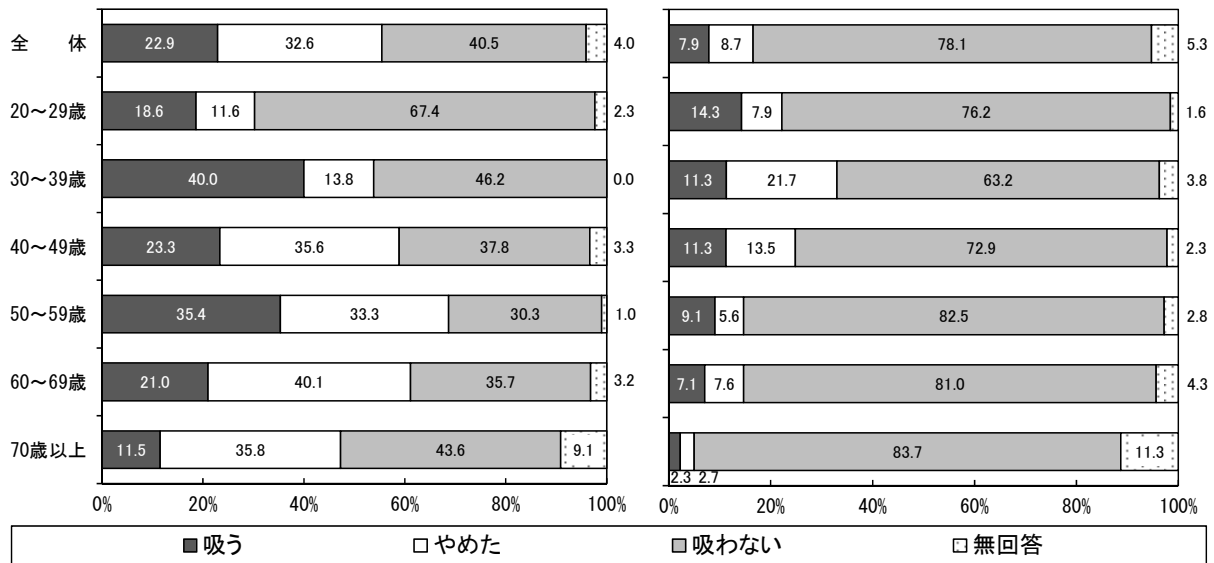


図 39.3 喫煙習慣

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

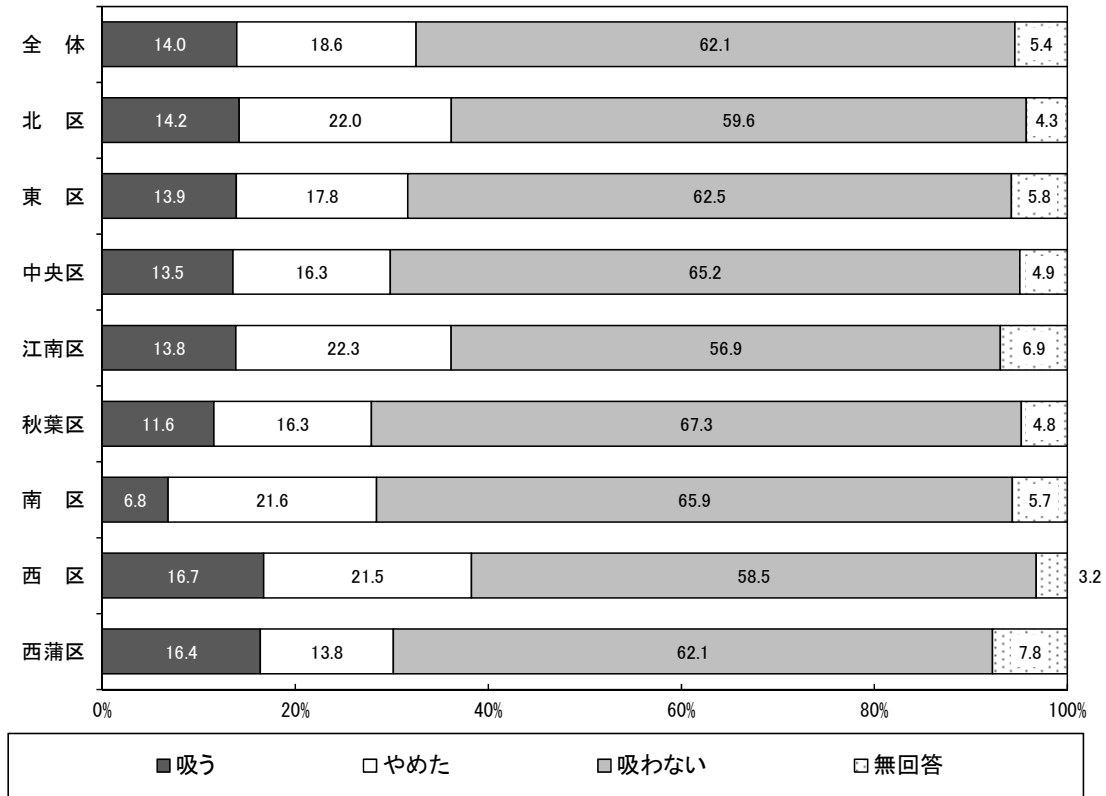
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「やめた」「吸わない」を合わせた、喫煙をしていない人の割合は、西区（87.5%）、南区（83.7%）で高くなっている。

図 39.4 喫煙習慣（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

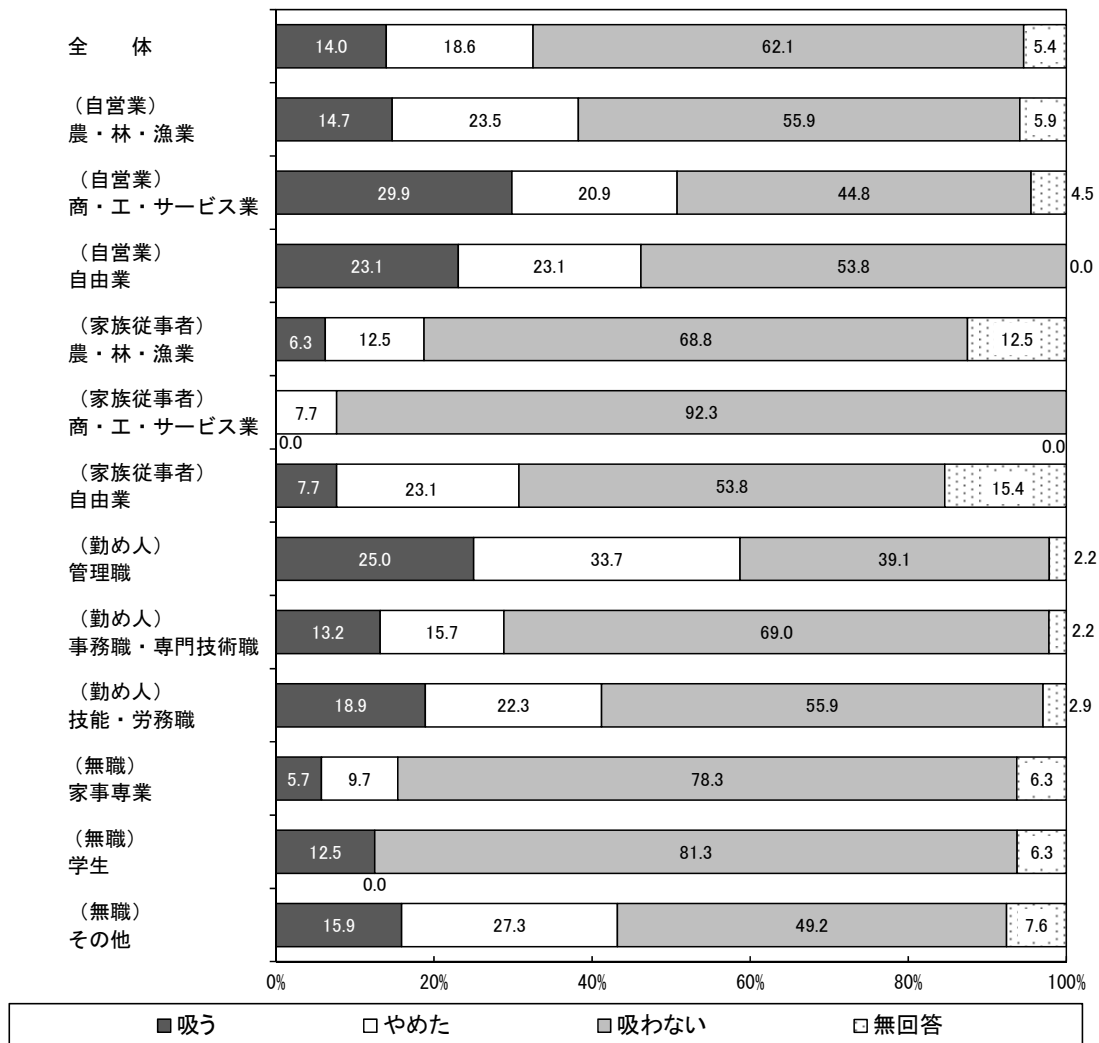
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 39.5 喫煙習慣（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
1,534	34	67	26	16	13	13	
	勤め人			無職			無回答
	管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
	92	319	238	383	16	264	53

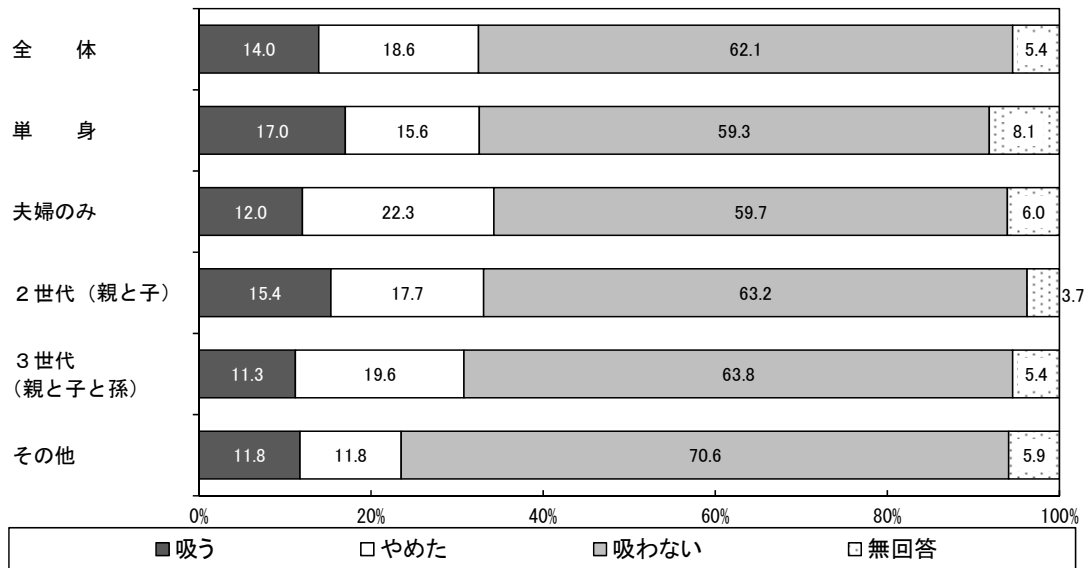
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「やめた」「吸わない」を合わせた、喫煙をしていない人の割合は、その他（83.3%）で最も高くなっている。一方、「吸う」は単身（17.0%）が最も高くなっている。

図 39.6 喫煙習慣（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(7) 受動喫煙の機会

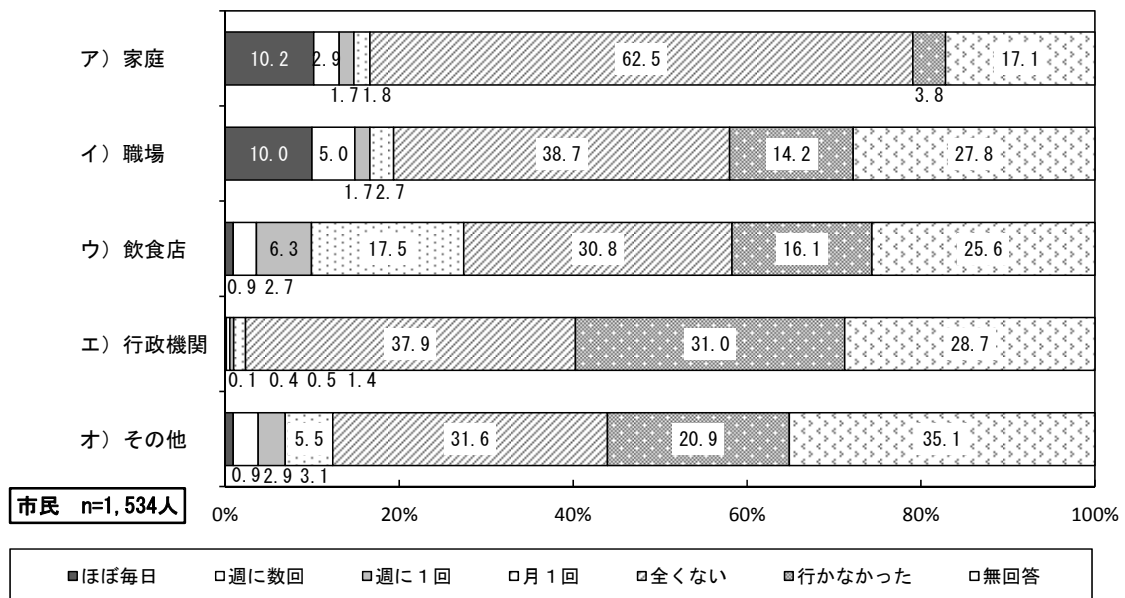
問 37 あなたはこの1か月に自分以外の人が吸っているたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。（項目毎に○は1つだけ）

6割強が家庭で「全くない」と回答

【全体結果】

受動喫煙の機会はすべて「全くない」が最も多く、中でも「ア）家庭」は6割強（62.5%）と高く、「イ）職場」（38.7%）、「ウ）飲食店」（30.8%）、「エ）行政機関」（37.9%）、「オ）その他」（31.6%）のいずれも3割を超えた。

図 40.1 受動喫煙の機会



(8) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度

「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」とは

主として喫煙などにより、有害物質を長期に吸い込むことによって肺に炎症がおき、肺の中の組織が破壊されて、酸素の取り込みや二酸化炭素を排出する機能が低下する疾患です。

せき・たん・息切れを主な症状とし、徐々に呼吸障害が進行します。

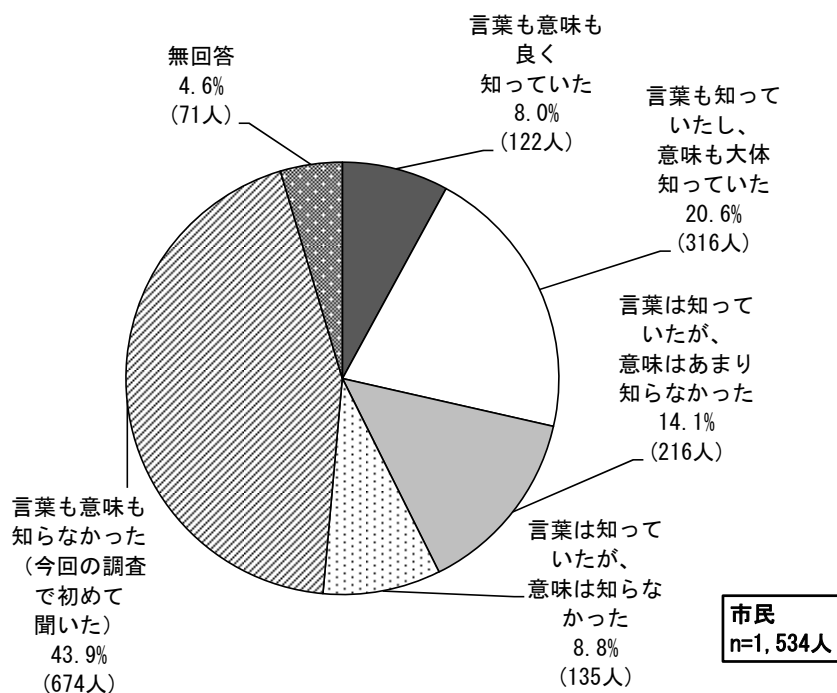
問38 あなたは「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉やその意味を知っていましたか。
(○は1つだけ)

3割弱が言葉や意味を認知していると回答

【全体結果】

「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」(8.0%)、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」(20.6%)と回答した人を合わせた割合は3割弱(28.6%)となっている。

図41.1 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、50歳代(32.3%)で最も高くなっている。

図 41.2 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度（年齢別・全体）

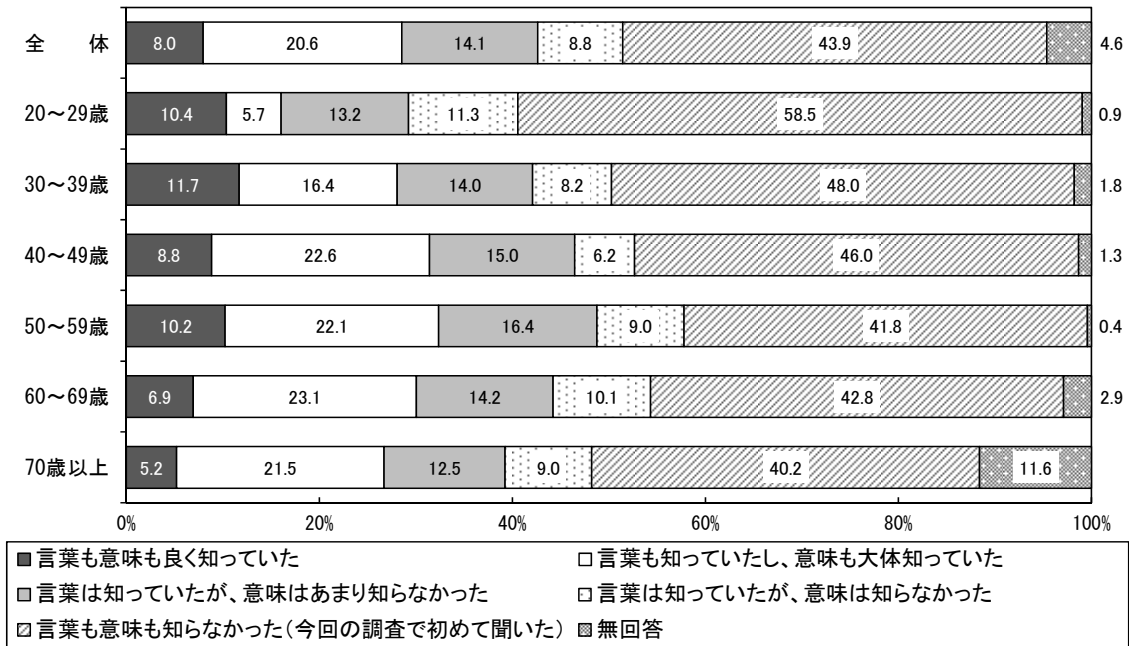
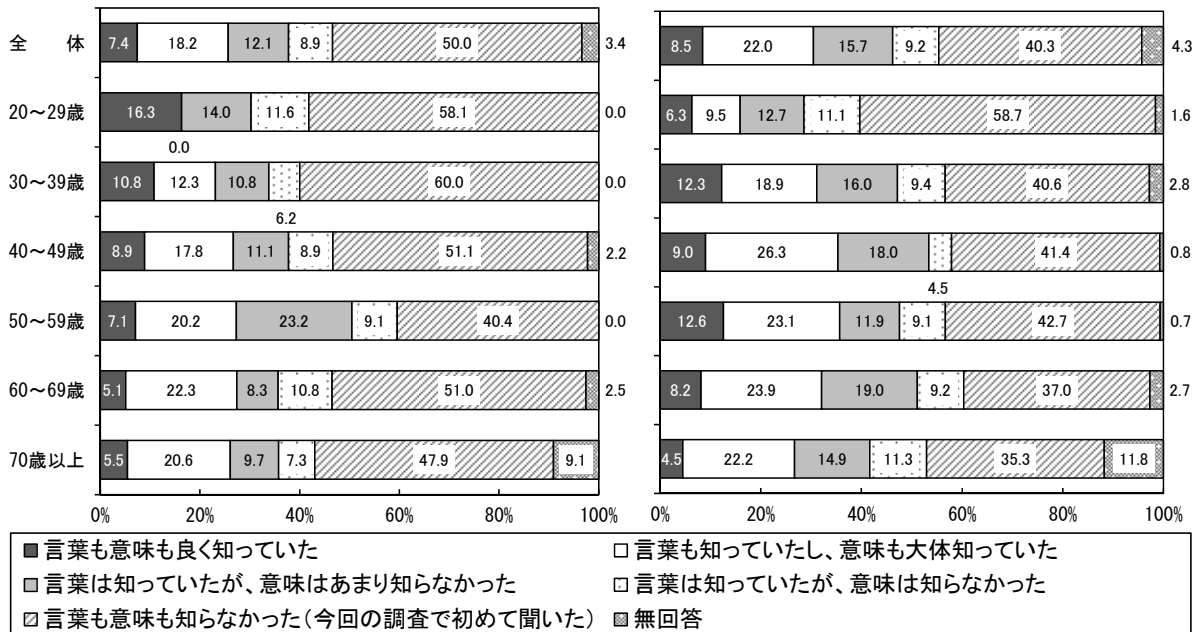


図 41.3 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度（年齢別・男性）
（年齢別・女性）



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

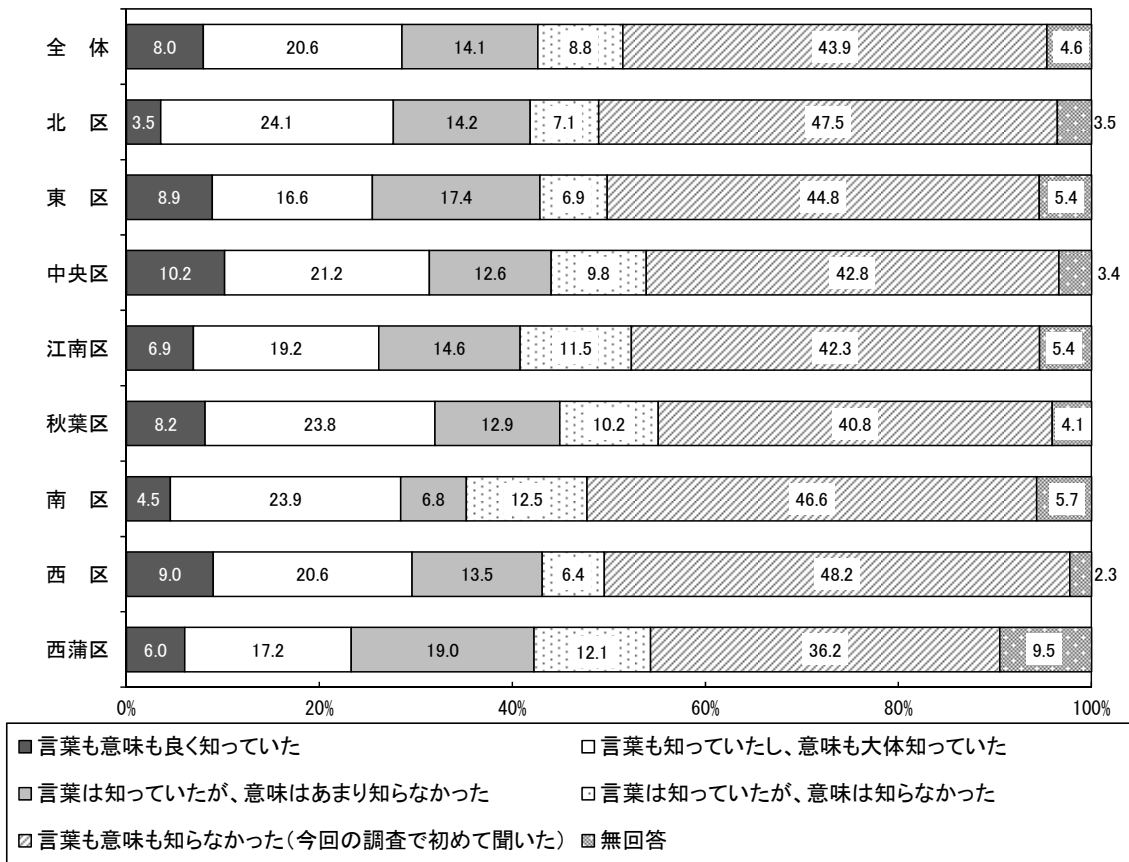
※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

(人)

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、秋葉区(32.0%)で最も高くなっている。

図 41.4 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

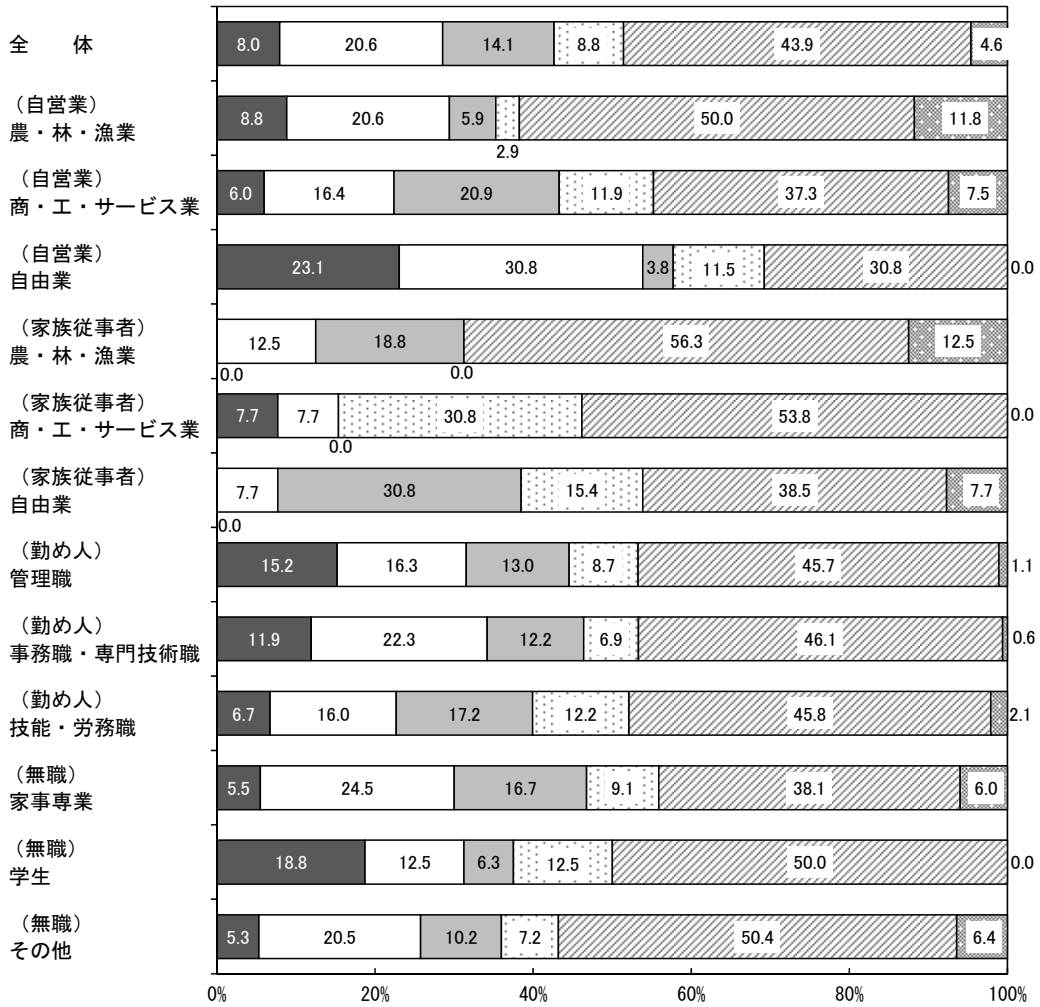
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 41.5 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度（職業別）



言葉も意味も良く知っていた 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた
 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
 言葉も意味も知らなかった(今回の調査で初めて聞いた) 無回答

全 体	自営業			家族従事者			無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
1,534	34	67	26	16	13	13	
							無回答
勤め人			無職				
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他		
92	319	238	383	16	264		53

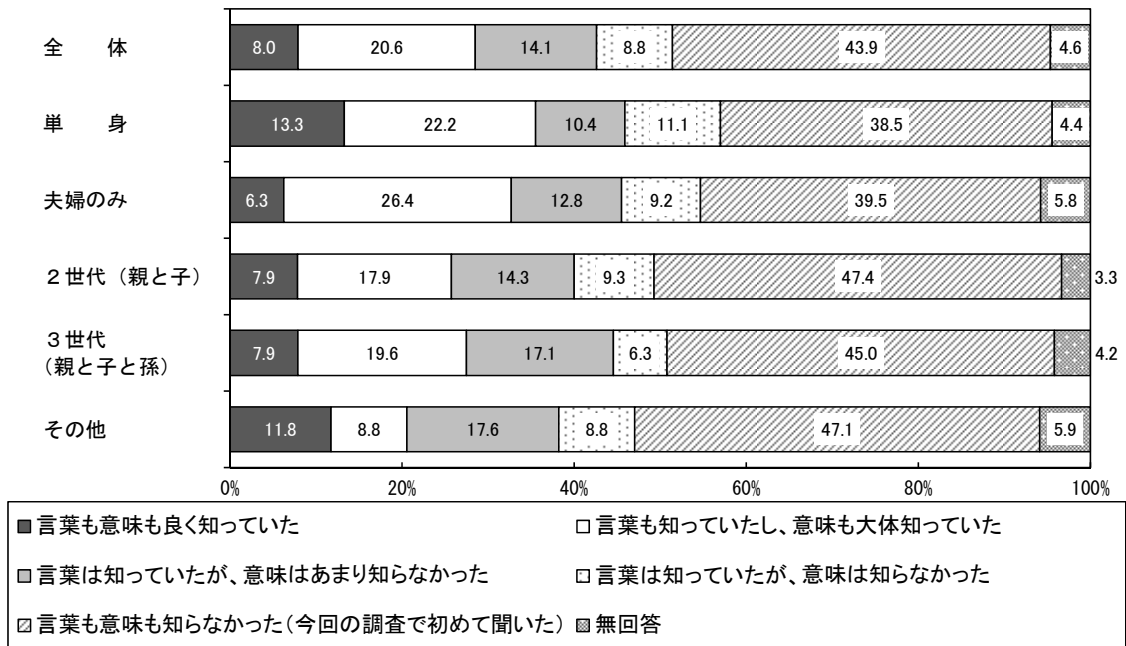
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、単身(35.5%)で最も高くなっている。

図 41.6 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(9) 飲酒の頻度

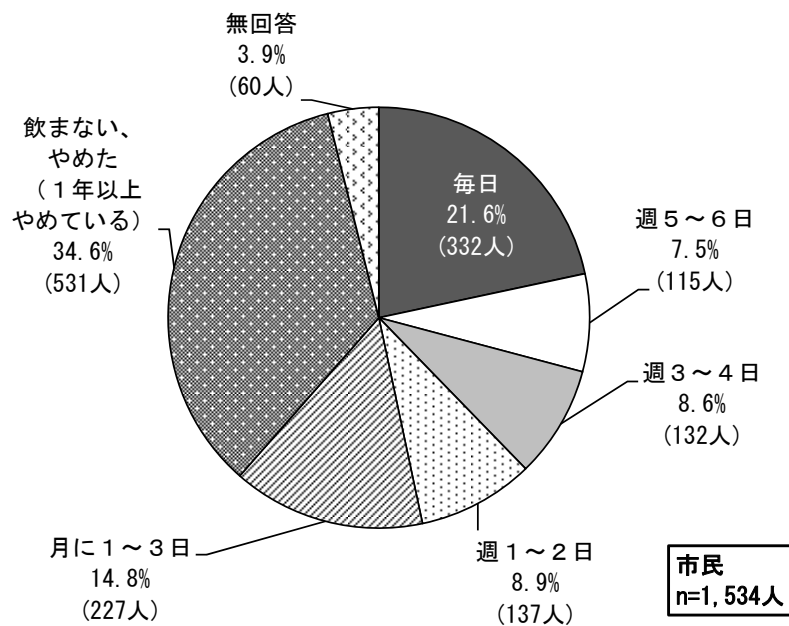
問39 あなたは週に何日くらいビール、日本酒、ウイスキーなどのアルコール類を飲みますか。
(〇は1つだけ)

3割強が「飲まない、やめた(1年以上やめている)」と回答

【全体結果】

「飲まない、やめた(1年以上やめている)」と回答した人の割合が3割強(34.6%)となっている。一方、飲酒の回数では「毎日」が2割強(21.6%)と、最も高くなっている。

図42.1 飲酒の頻度



【性別・年齢別】

50歳代では「毎日」の割合が最も高く、20歳代では「月に1～3日」の割合が最も高くなっている。それ以外の年代では、「飲まない、やめた」の割合が最も高くなっている。

性別では、各年代とも「飲まない、やめた」の割合は男性より女性の方が高く、「毎日」「週5～6日」を合わせた割合は女性より男性の方が高くなっている。また「毎日」の割合は、50歳代と60歳代の男性で高く、4割を超えている。

図 42.2 飲酒の頻度（年齢別・全体）

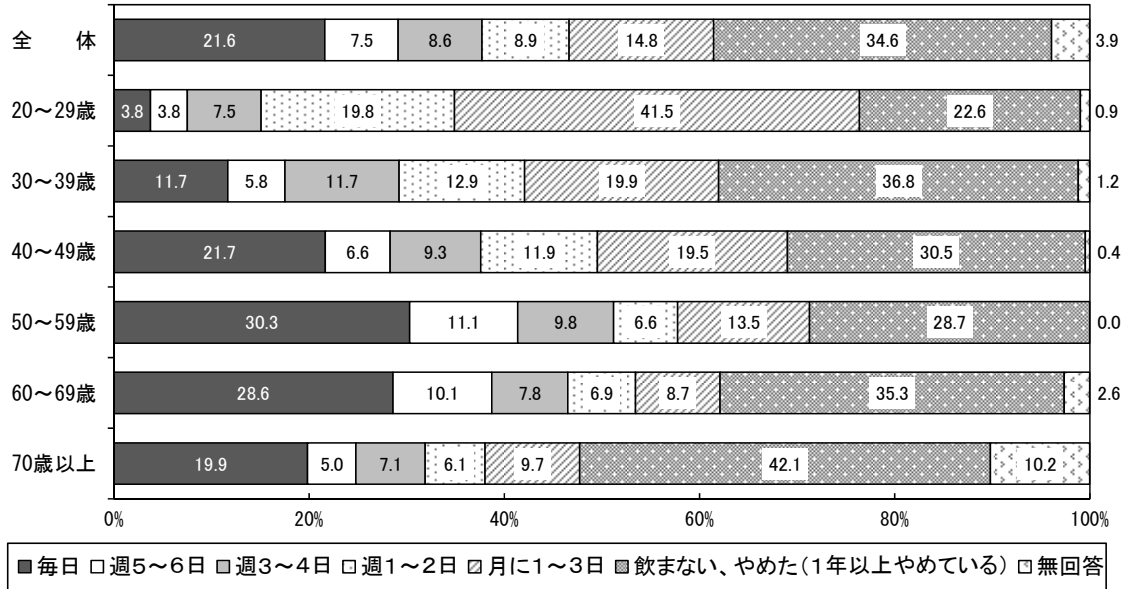
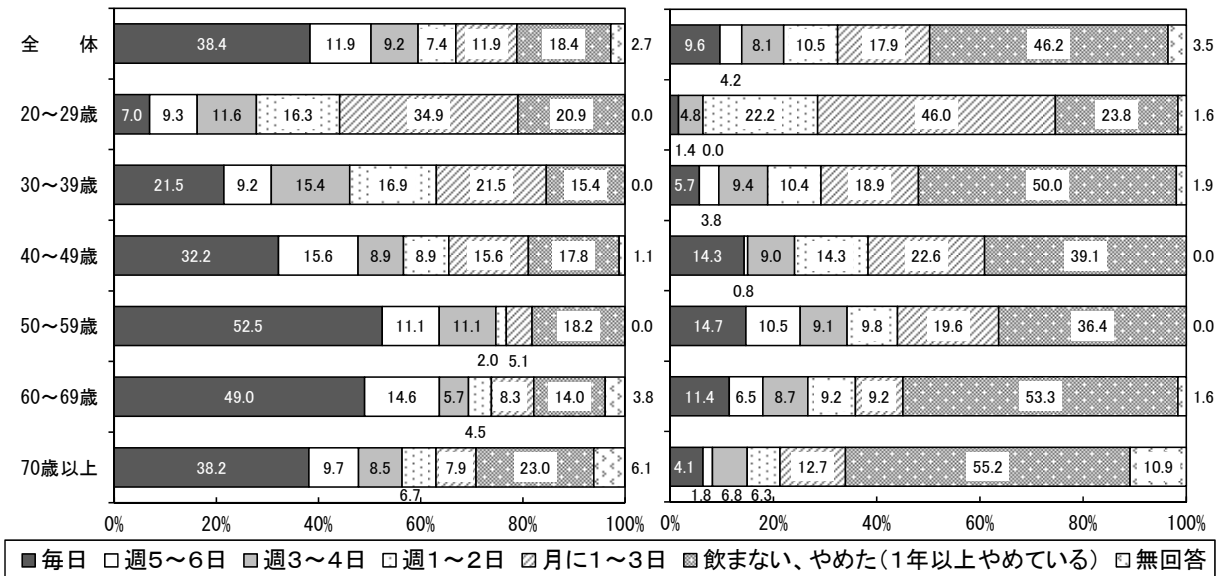


図 42.3 飲酒の頻度

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

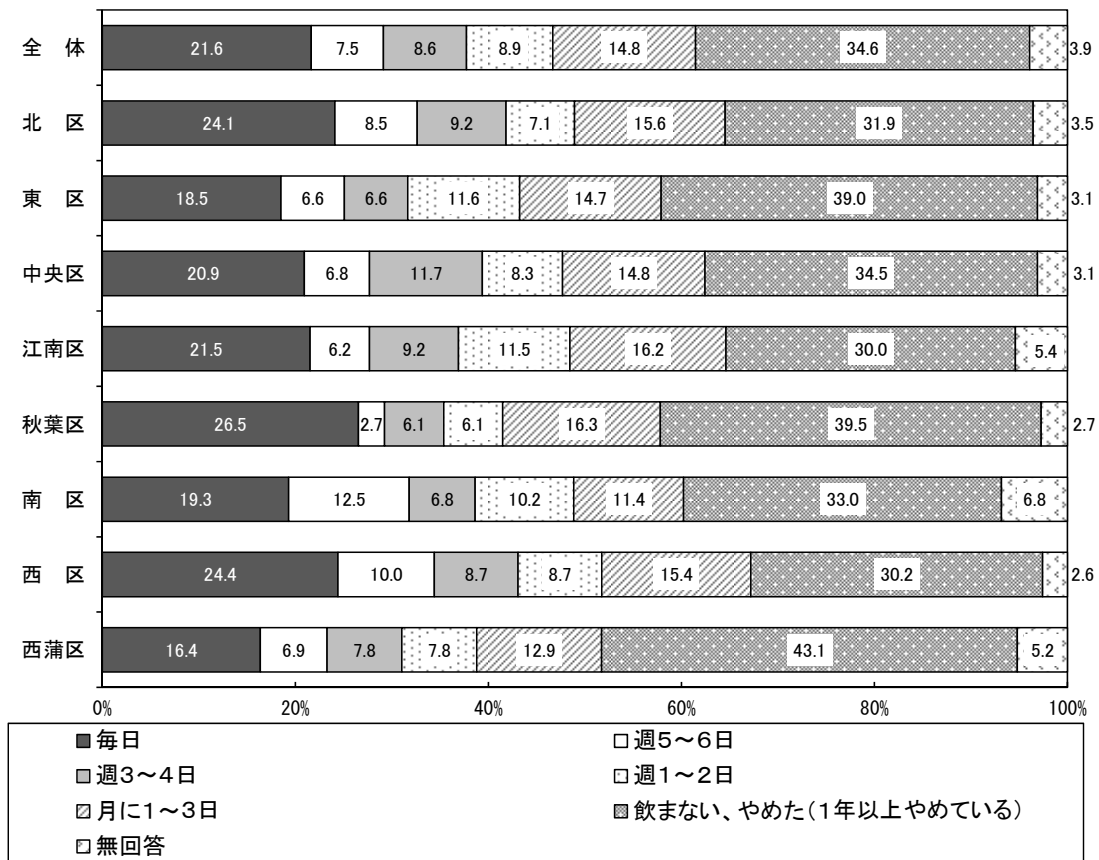
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区ともに、「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。
一方、「毎日」の割合は、秋葉区（26.5%）で最も高くなっている。

図 42.4 飲酒の頻度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

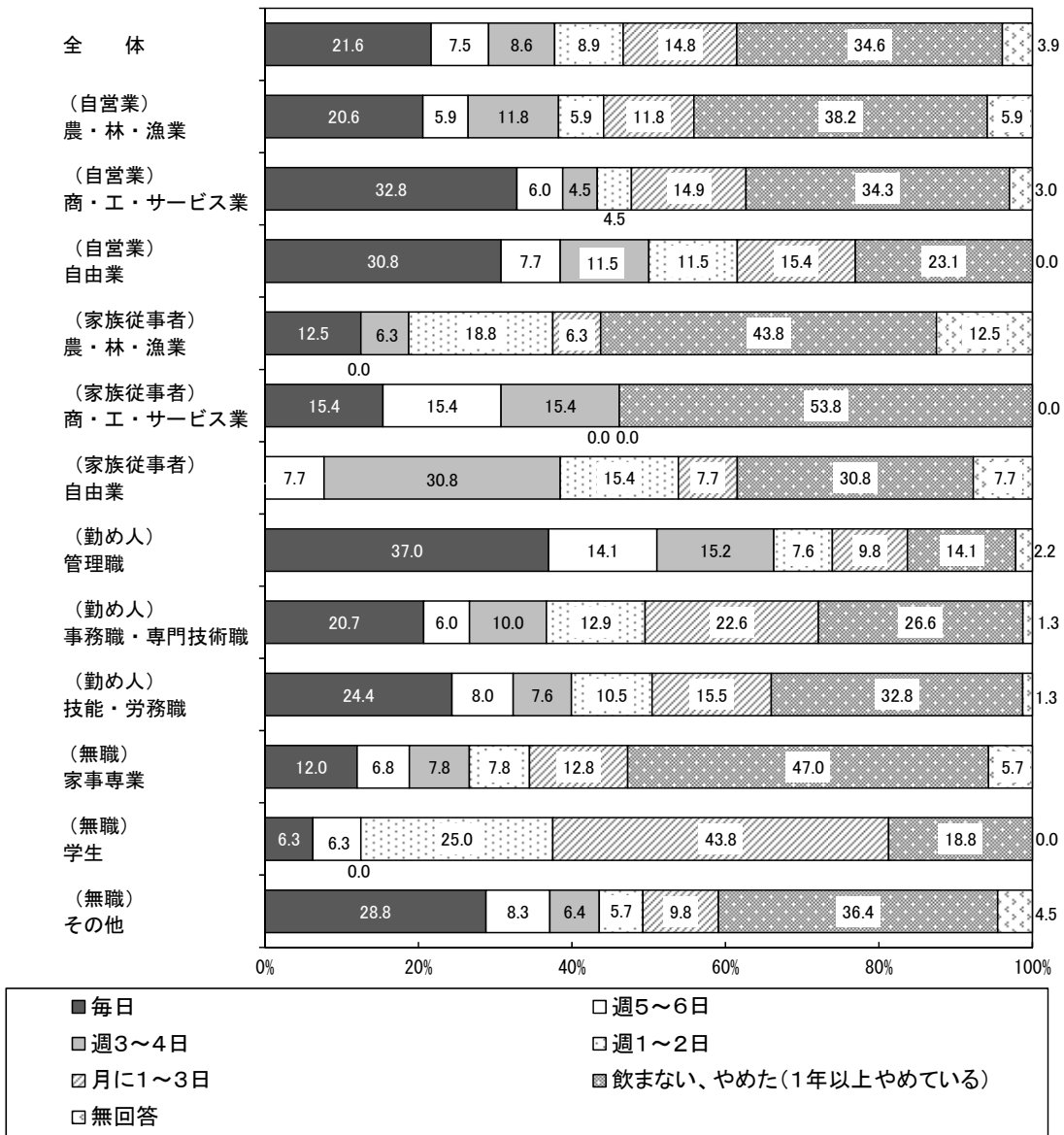
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 42.5 飲酒の頻度（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
1,534	34	67	26	16	13	13	

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

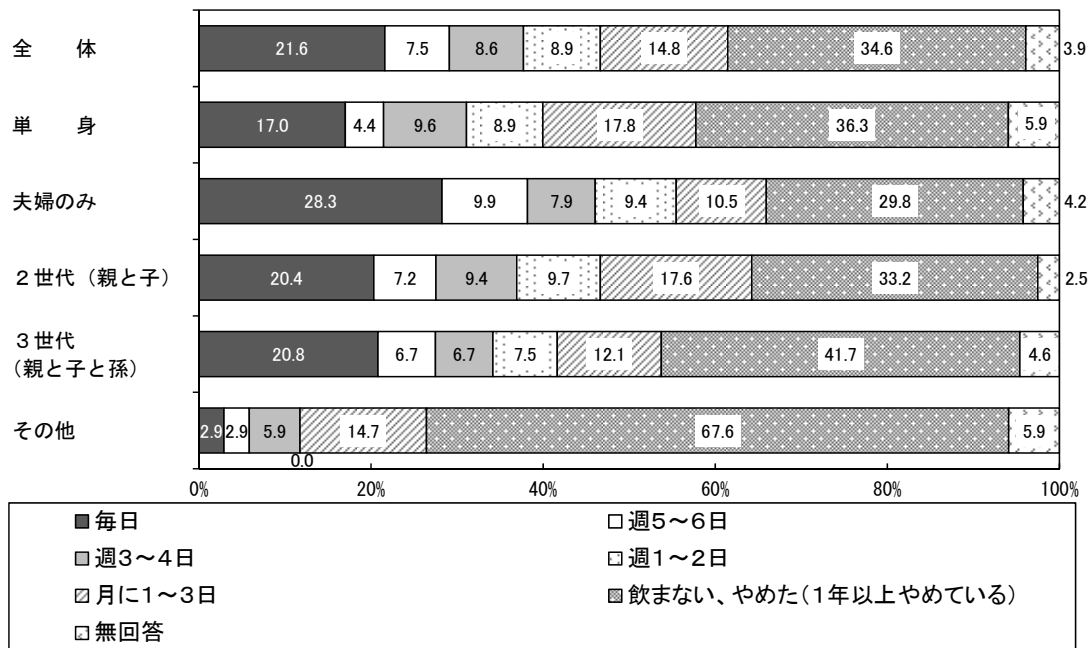
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成ともに、「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。

図 42.6 飲酒の頻度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(10) 平均飲酒量

※日本酒1合= (180ml)	}	ビール、発泡酒1本(500ml) ワイン2杯(240ml) ウイスキーダブル1杯(60ml) 焼酎 20度(135ml) 焼酎 25度(110ml) 酎ハイ7度(350ml)	}	を目安にしてください。
--------------------	---	--	---	-------------

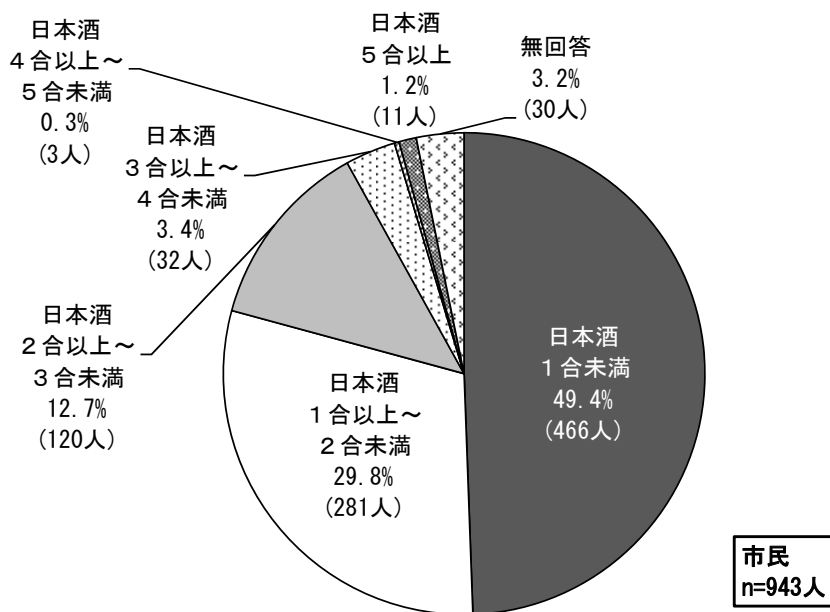
問39-1 あなたの1回当たりの平均飲酒量はどの程度ですか。(○は1つだけ)

5割弱が「日本酒1合未満」と回答

【全体結果】

平均飲酒量については、「日本酒1合未満」(49.4%)と回答した人が5割弱と最も多く、以下「日本酒1合以上～2合未満」(29.8%)、「日本酒2合以上～3合未満」(12.7%)、「日本酒3合以上～4合未満」(3.4%)、と続いている。

図43.1 平均飲酒量



【性別・年齢別】

各年代とも「日本酒1合未満」と回答した人の割合が最も高く、50歳代と70歳以上では5割を超えている。

性別では、男性の20歳代と女性の各年代では、「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。男性の30歳代以上では「日本酒1合以上～2合未満」の割合が最も高くなっている。

図 43.2 平均飲酒量（年齢別・全体）

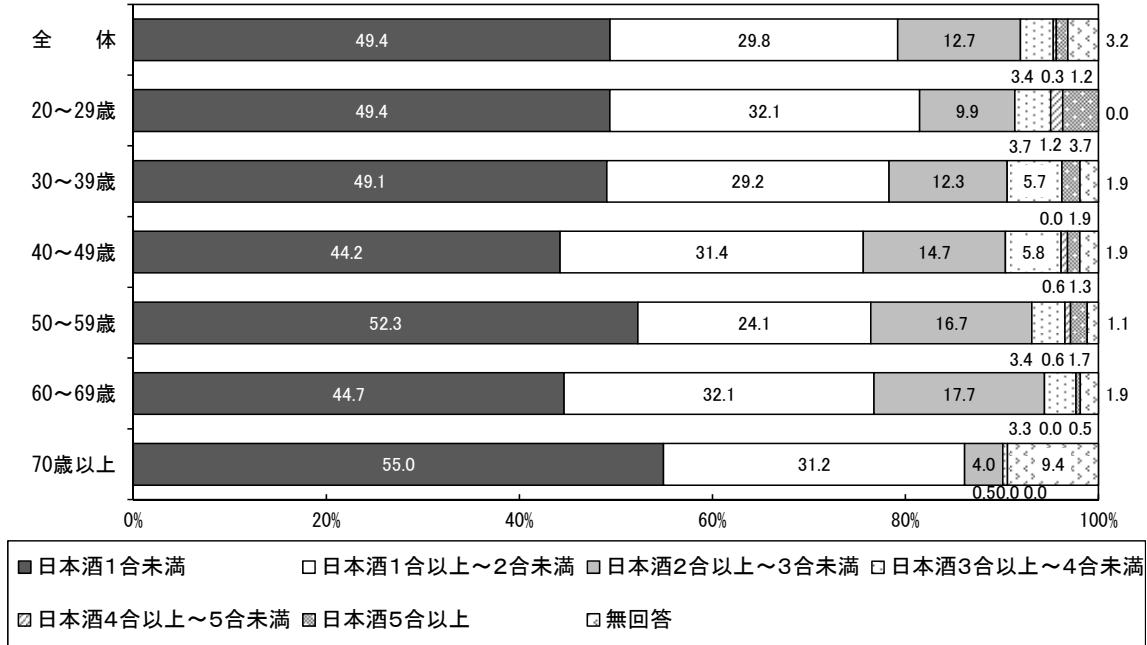
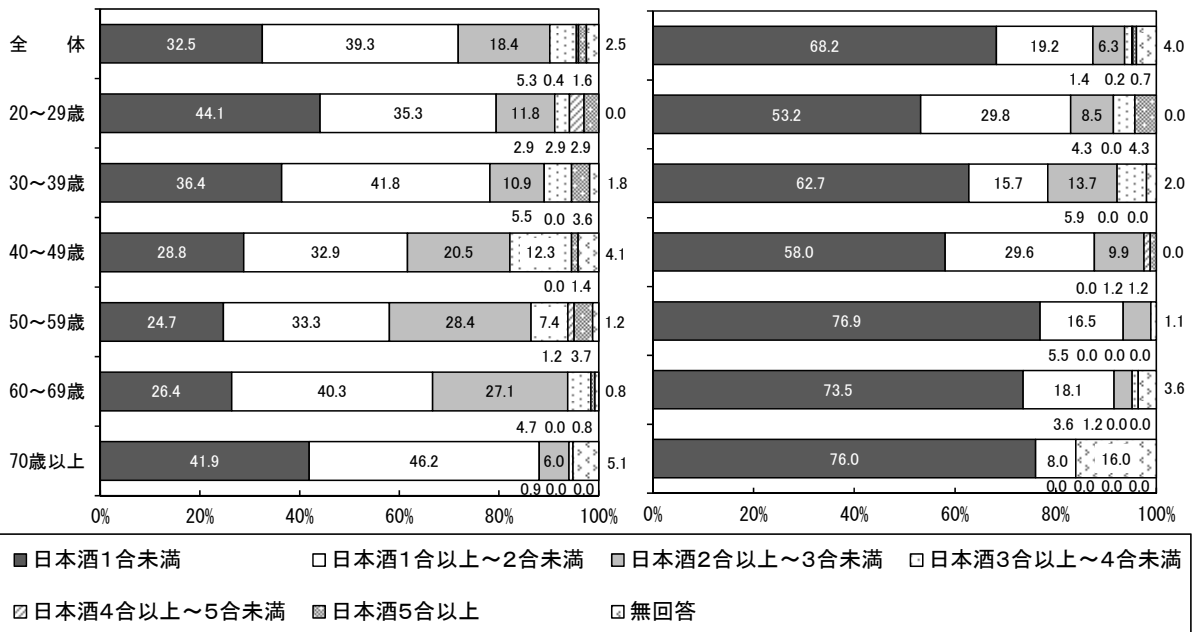


図 43.3 平均飲酒量

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	943	81	106	156	174	215	202	9
男性	489	34	55	73	81	129	117	0
女性	428	47	51	81	91	83	75	0

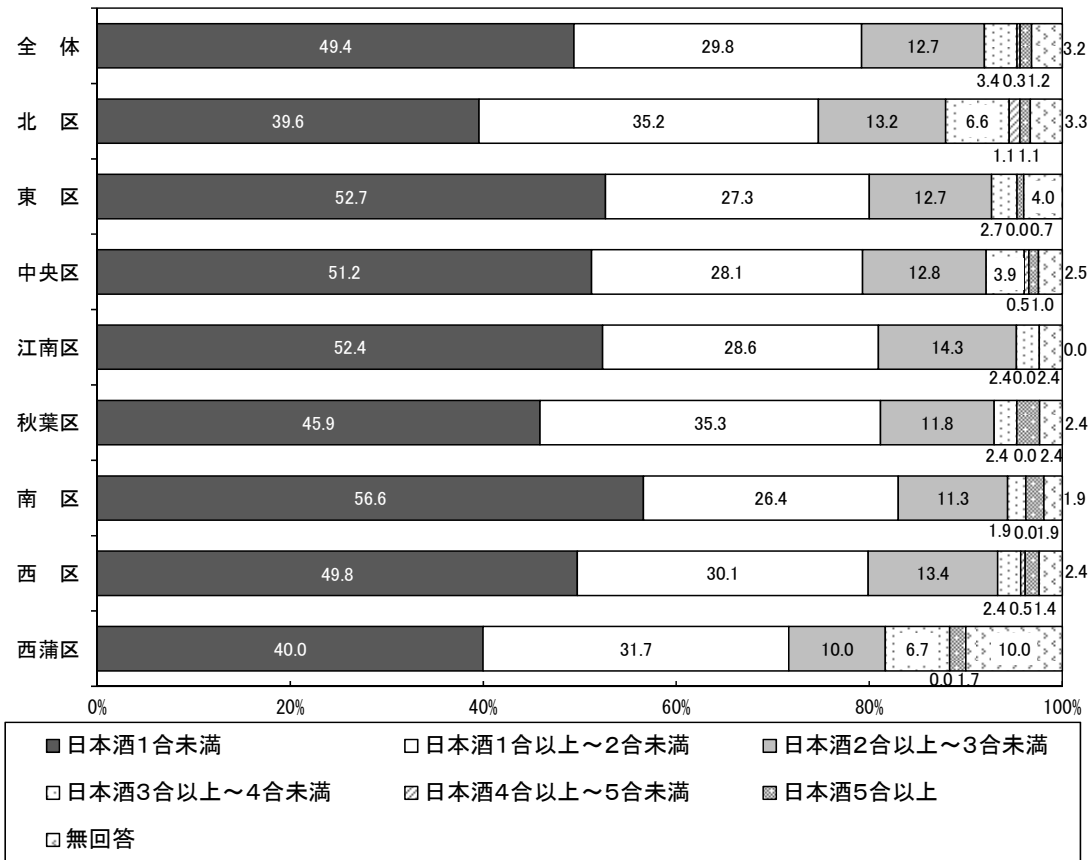
※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

(人)

【地区別】

各地区とも「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっており、南区（56.6%）では6割弱となっている。

図 43.4 平均飲酒量（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
943	91	150	203	84	85	53	209	60	8

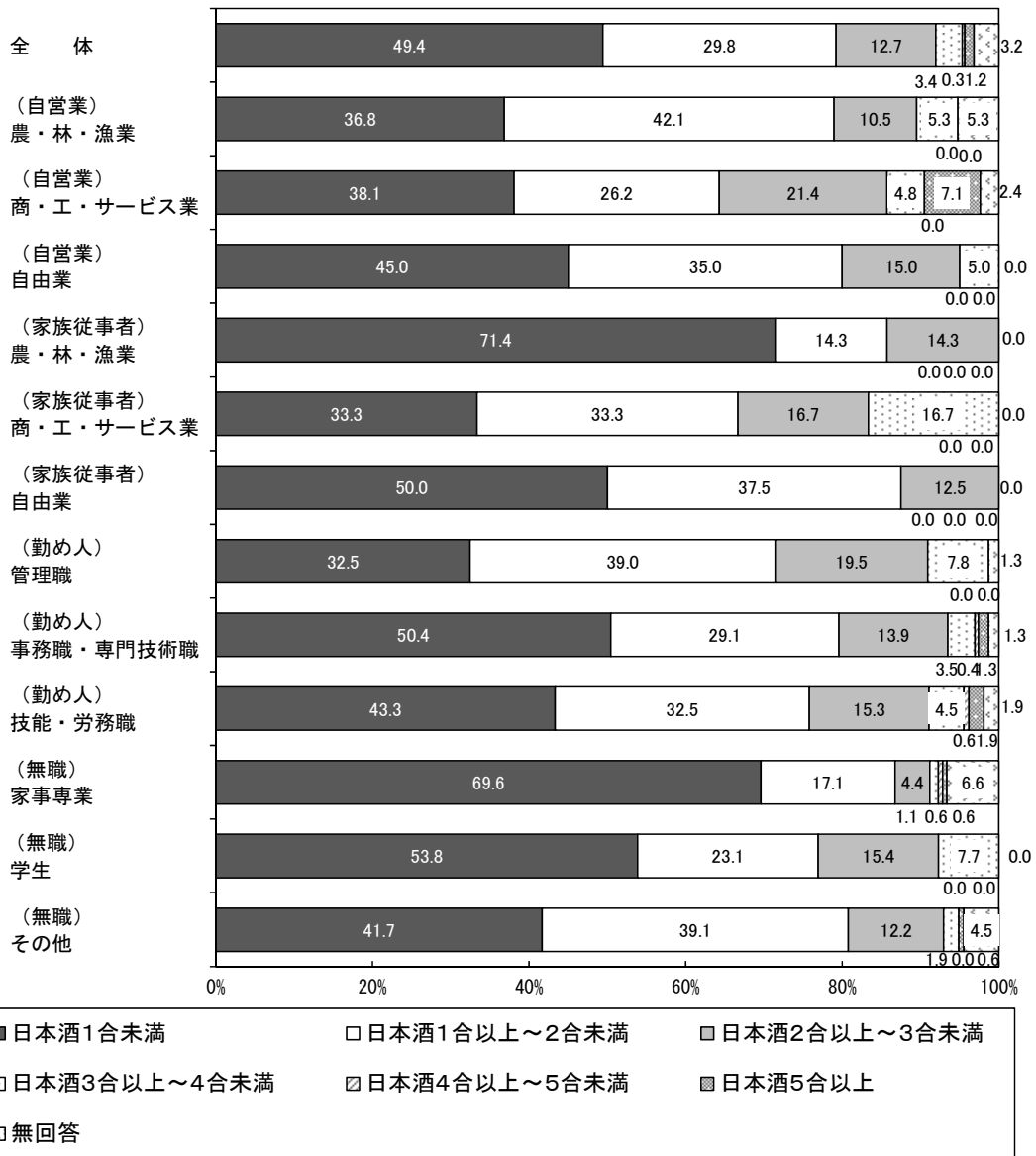
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 43.5 平均飲酒量（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
943	19	42	20	7	6	8	

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
77	230	157	181	13	156	27

(人)

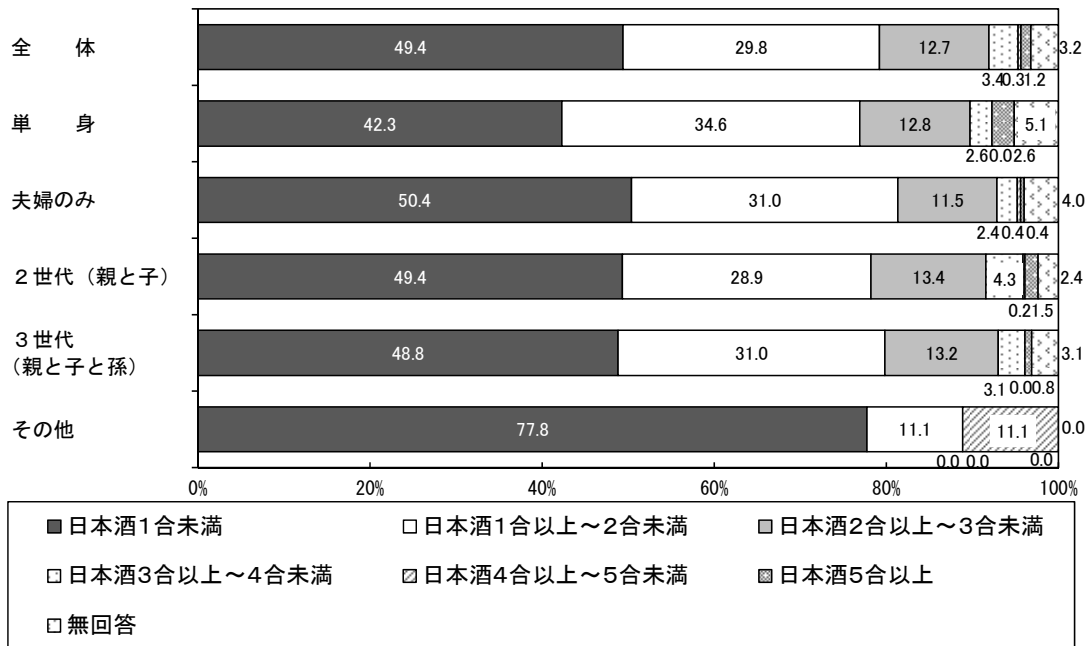
※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成ともに「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。

单身では、他の家族構成に比べ「日本酒1合以上～2合未満」(34.6%)の割合がやや高くなっている。

図 43.6 平均飲酒量 (家族構成別)



全体	单身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
943	78	252	464	129	9	11

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(11) 歯科健（検）診の受診状況

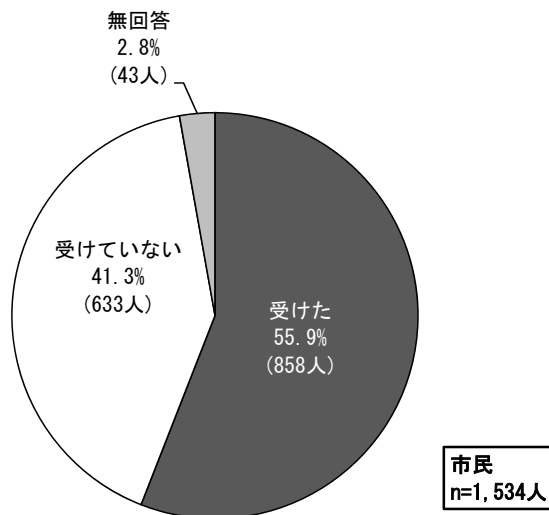
問40 あなたはこの1年間に歯科健（検）診を受けましたか。（○は1つだけ）

6割弱が「受けた」と回答

【全体結果】

「受けた」と回答した人は6割弱（55.9%）、「受けていない」と回答した人は4割強（41.3%）となっている。

図 44.1 歯科健（検）診の受診状況



【性別・年齢別】

「受けた」の割合は、60歳代（61.8%）が最も高く、60歳代以上では6割を超えている。
性別では、男性では50歳代以上で、女性では30歳代以上で、「受けた」の割合が5割を超えている。

図 44.2 歯科健（検）診の受診状況（年齢別・全体）

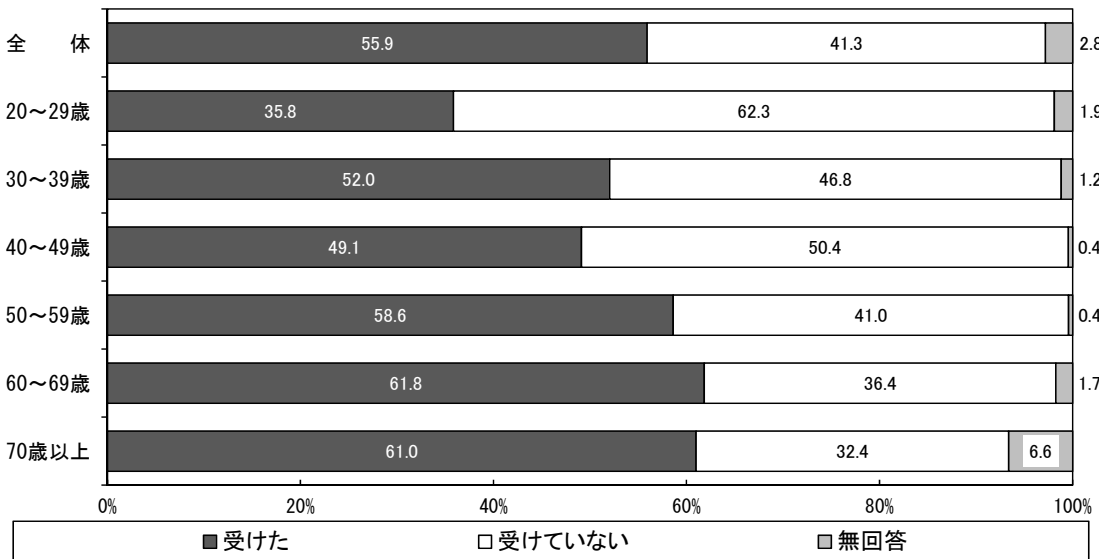
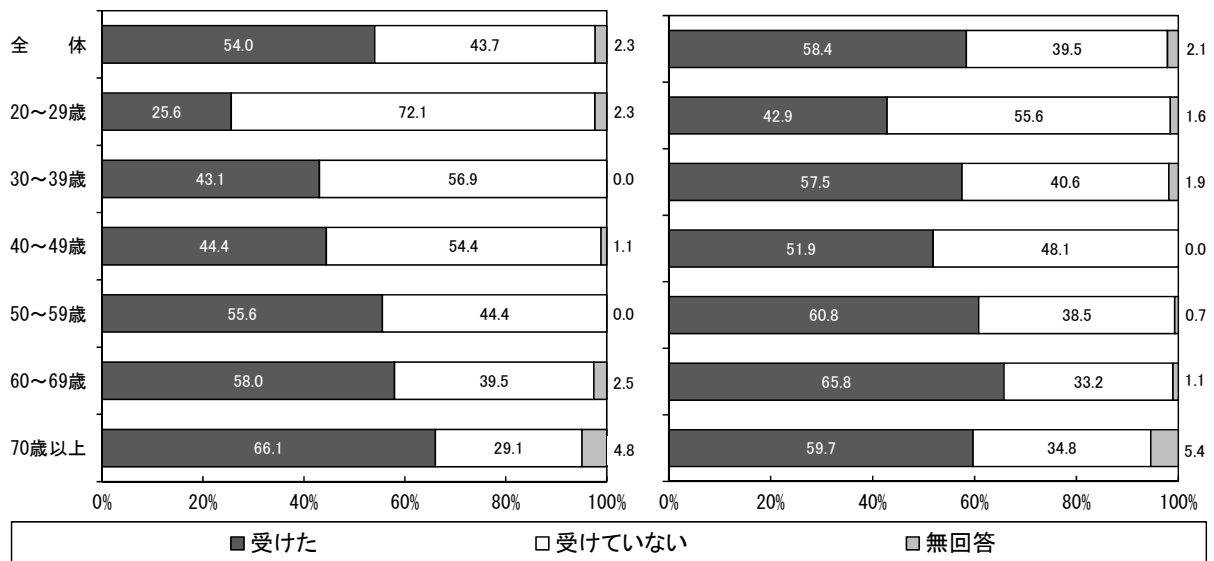


図 44.3 歯科健（検）診の受診状況
(年齢別・男性) (年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

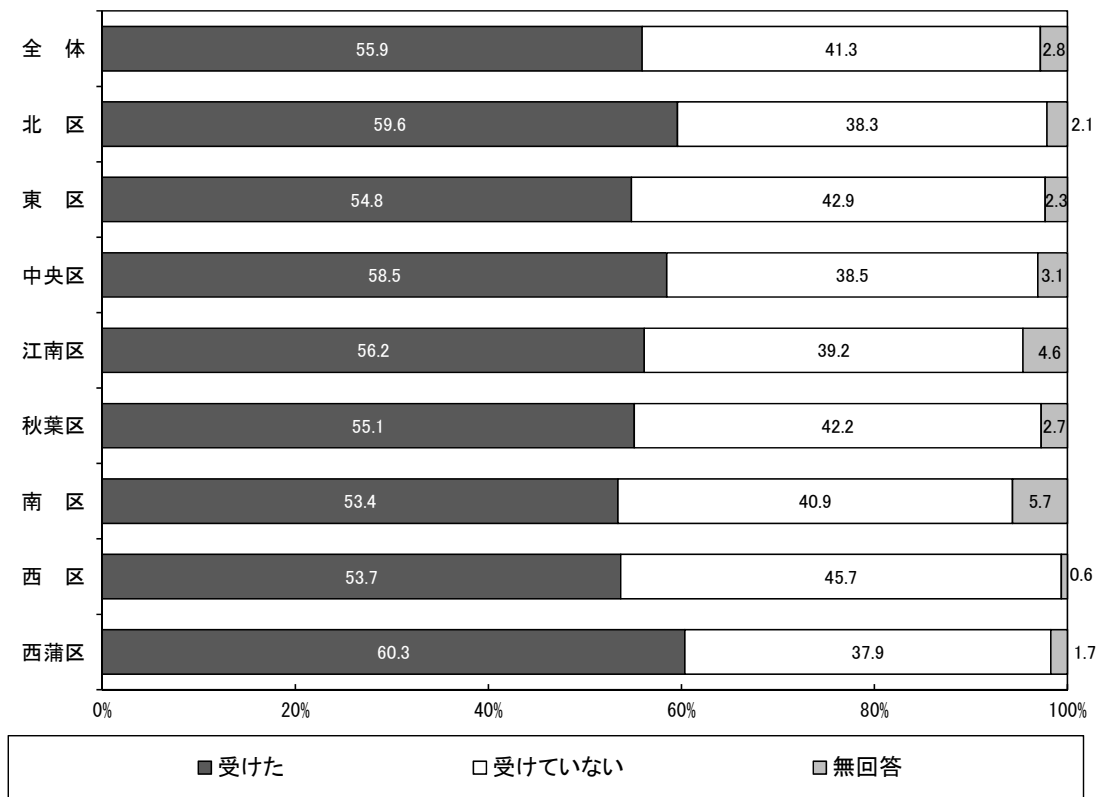
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「受けた」割合は、西蒲区（60.3%）で最も高く、南区（53.4%）で最も低くなっている。

図 44.4 歯科健（検）診の受診状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

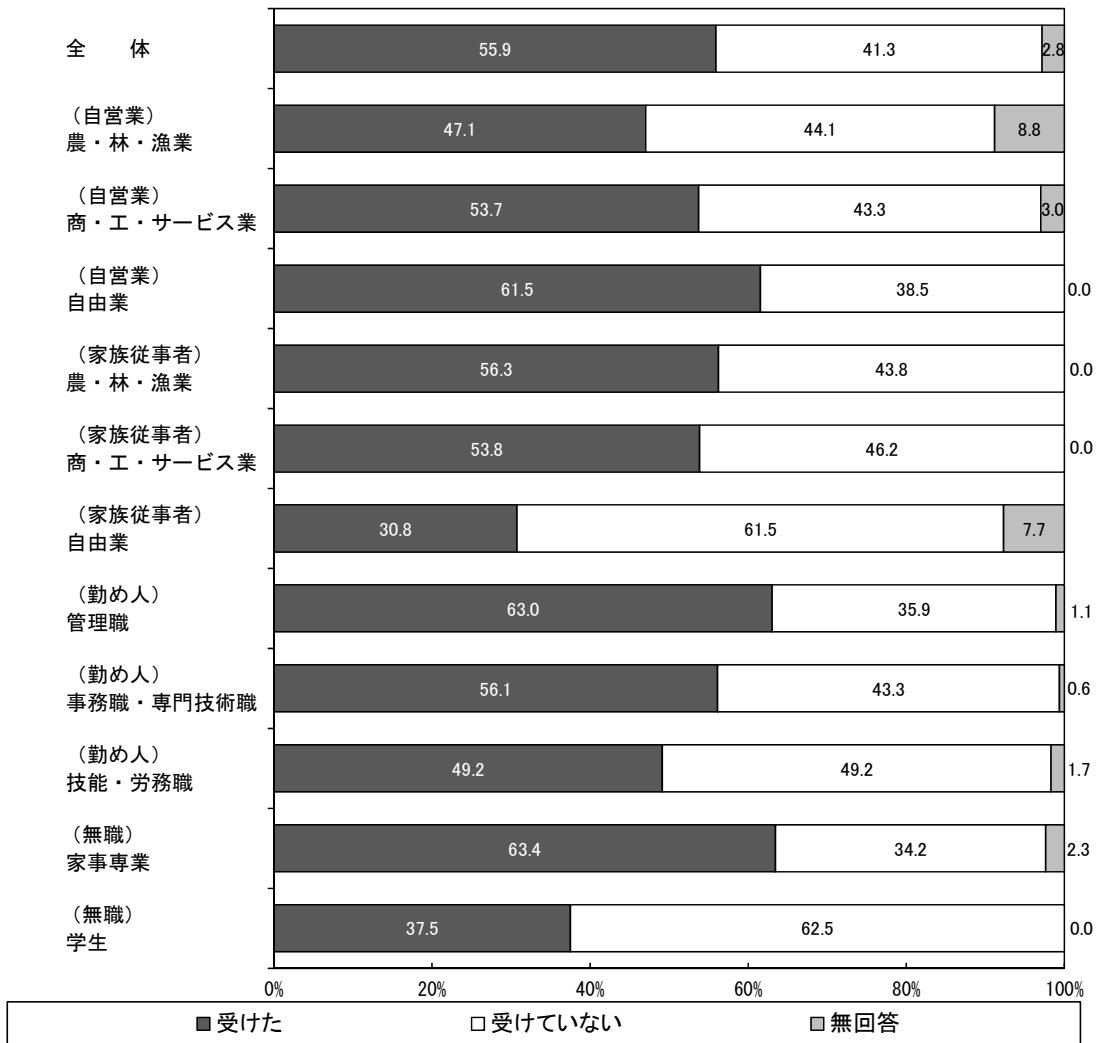
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 44.5 歯科健（検）診の受診状況（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
1,534	34	67	26	16	13	13	
	勤め人			無職			無回答
	管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
	92	319	238	383	16	264	53

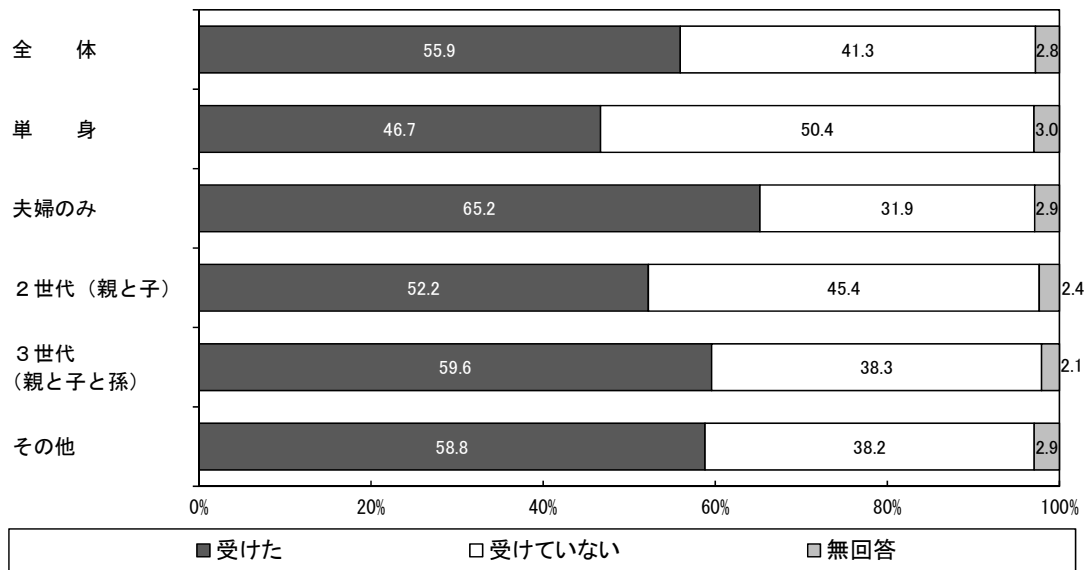
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「受けた」割合は、夫婦のみ（65.2%）で最も高く、6割半ばとなっている。

図 44.6 歯科健（検）診の受診状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(12) 歯間部清掃用具の利用状況

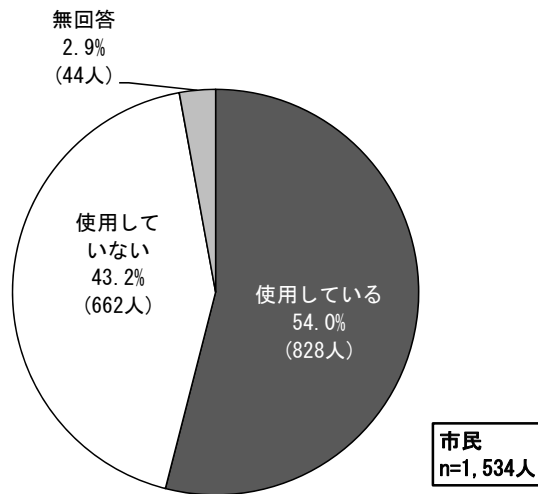
問41 あなたはむし歯予防や歯周病の予防のために歯間部清掃用具(デンタルフロス(糸つきようじ)、歯間ブラシ)を使用していますか。(○は1つだけ)

5割強が「使用している」と回答

【全体結果】

「使用している」と回答した人は5割強(54.0%)、「使用していない」と回答した人は4割強(43.2%)となっている。

図 45.1 歯間部清掃用具の利用状況



【性別・年齢別】

「使用している」割合は、20歳代（28.3%）で他の年代に比べ低くなっている。
性別では、「使用している」割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 45.2 歯間部清掃用具の利用状況（年齢別・全体）

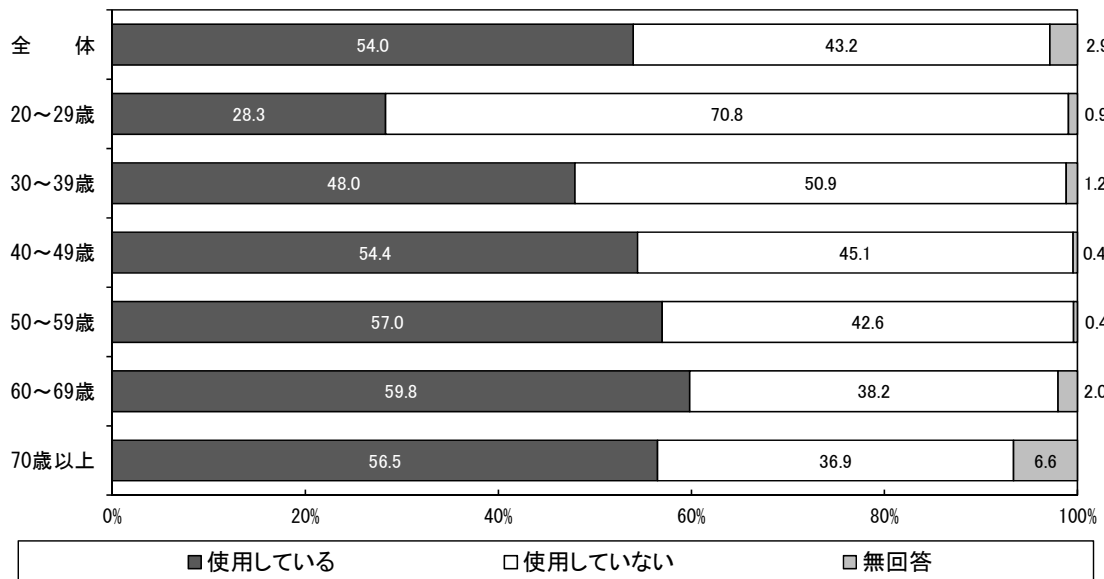
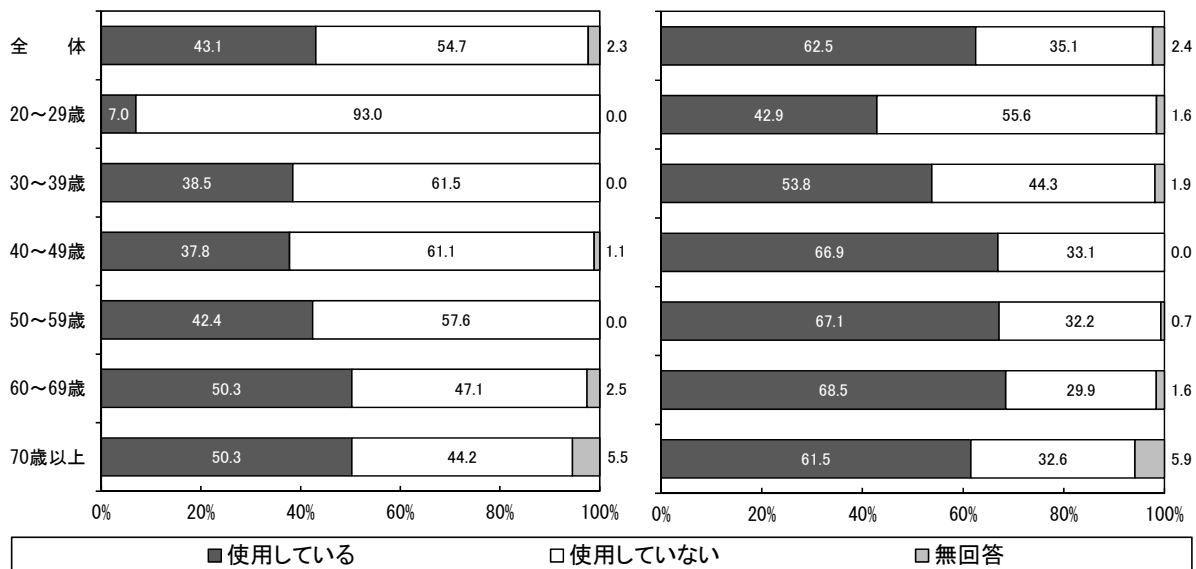


図 45.3 歯間部清掃用具の利用状況
(年齢別・男性) (年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全 体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男 性	620	43	65	90	99	157	165	1
女 性	851	63	106	133	143	184	221	1

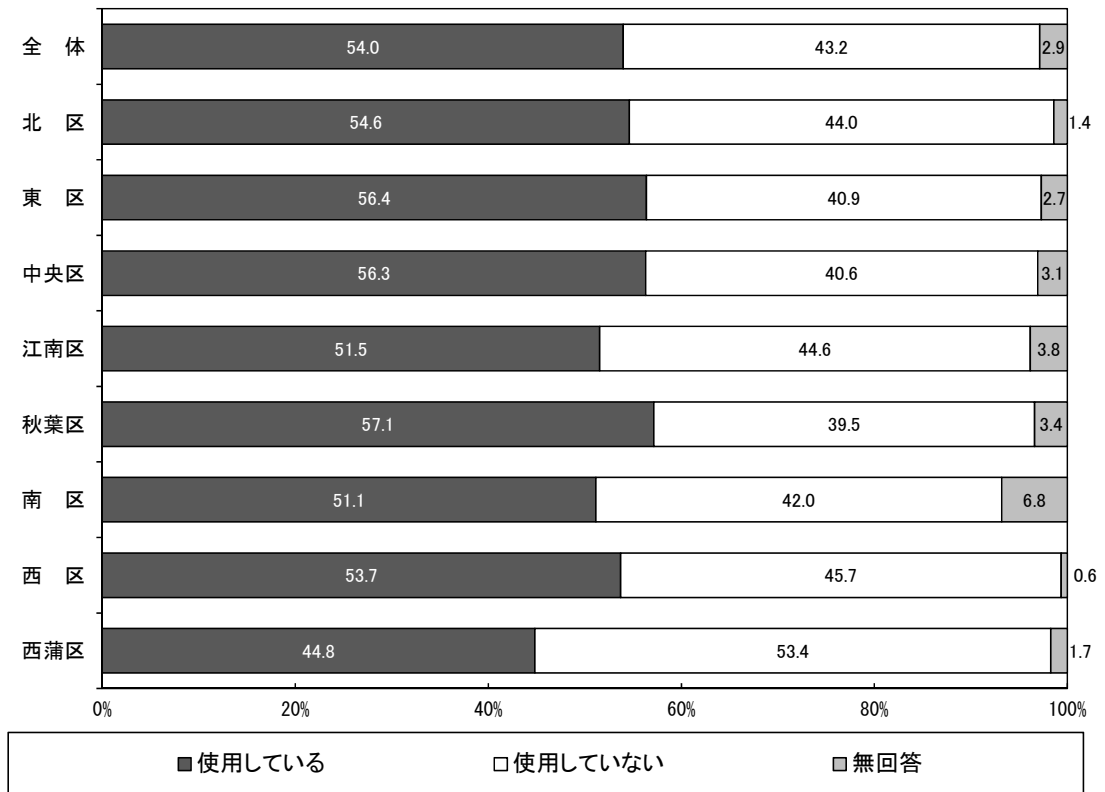
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「使用している」割合は、秋葉区（57.1%）で最も高くなっている。

図 45.4 歯間部清掃用具の利用状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

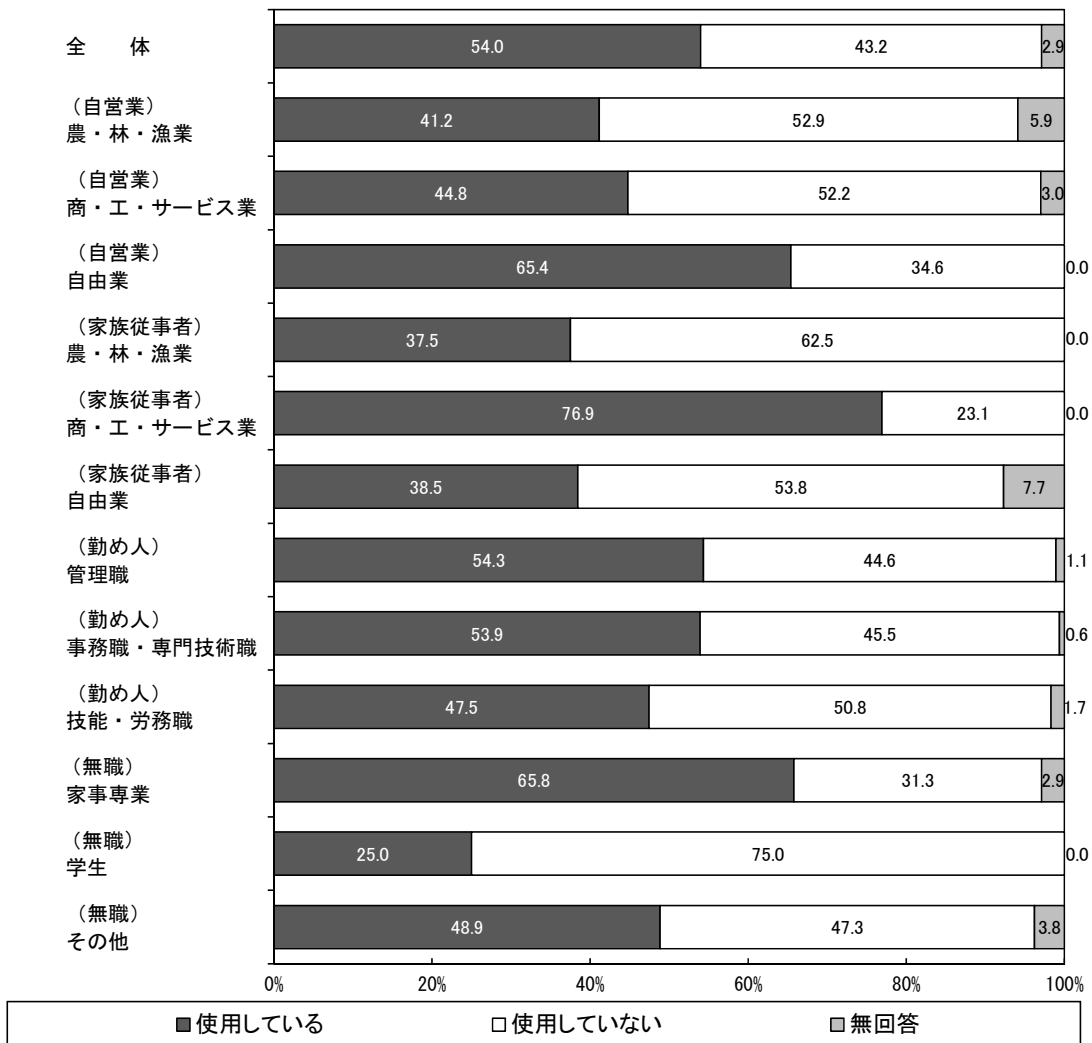
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 45.5 歯間部清掃用具の利用状況（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
1,534	34	67	26	16	13	13	
	勤め人			無職			無回答
	管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
	92	319	238	383	16	264	53

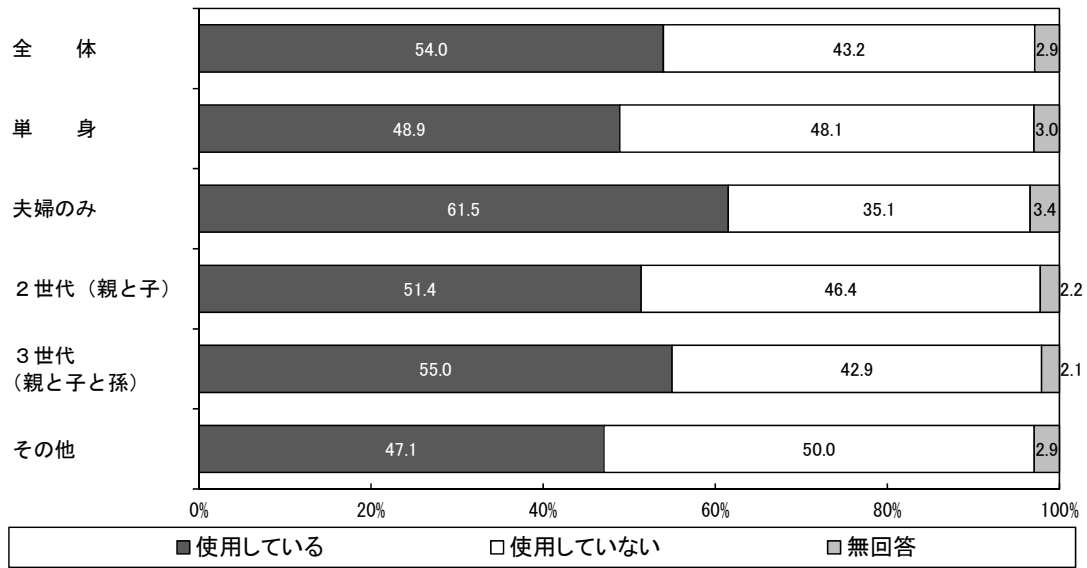
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「使用している」割合は、夫婦のみ（61.5%）で最も高くなっている。

図 45.6 歯間部清掃用具の利用状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(13) 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度

「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」とは

内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のことです。

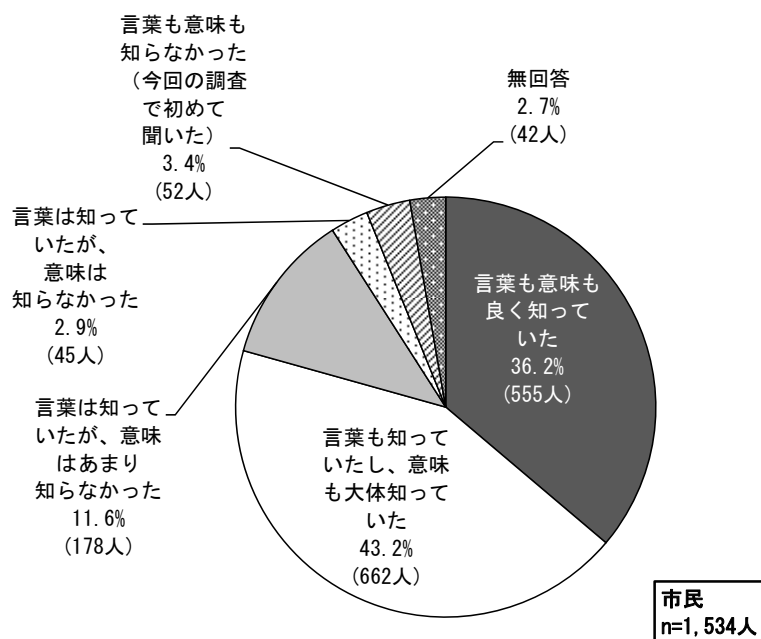
問42 あなたは、「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や、その意味を知っていましたか。（○は1つだけ）

8割弱が言葉や意味を認知していると回答

【全体結果】

「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（36.2%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（43.2%）と回答した人を合わせた割合は8割弱（79.4%）となっている。

図46.1 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、30歳代から60歳代では8割を超え、20歳代と70歳以上も約7割となっている。

なお、70歳以上では、他の年代に比べ「言葉も意味も知らなかった（今回の調査で初めて聞いた）」（7.8%）の割合がやや高くなっている。

図 46.2 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（年齢別・全体）

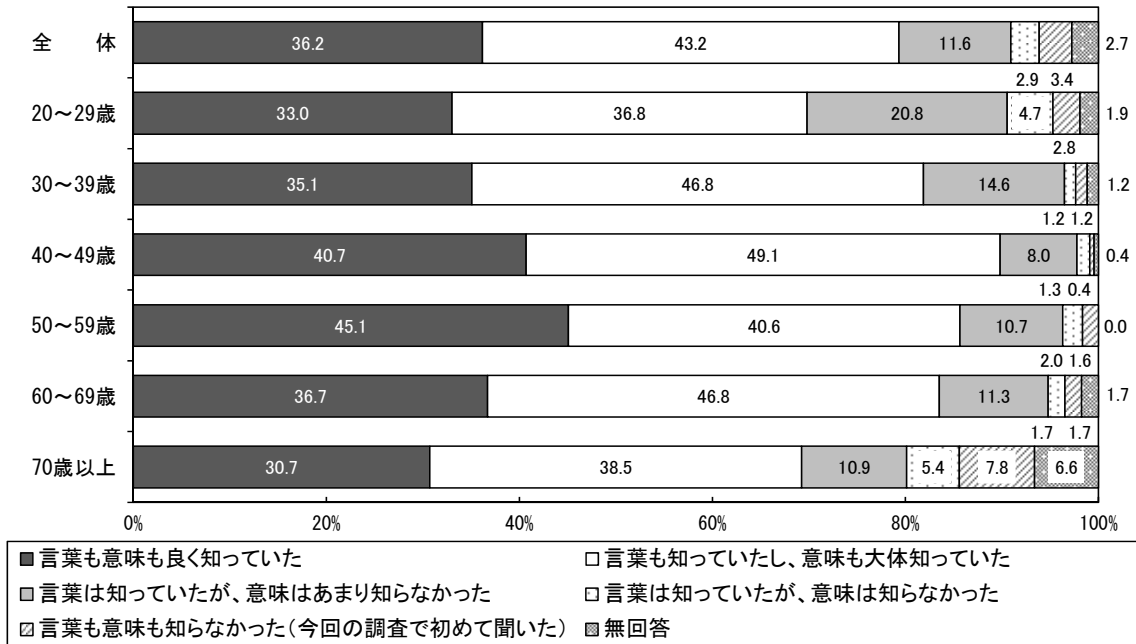
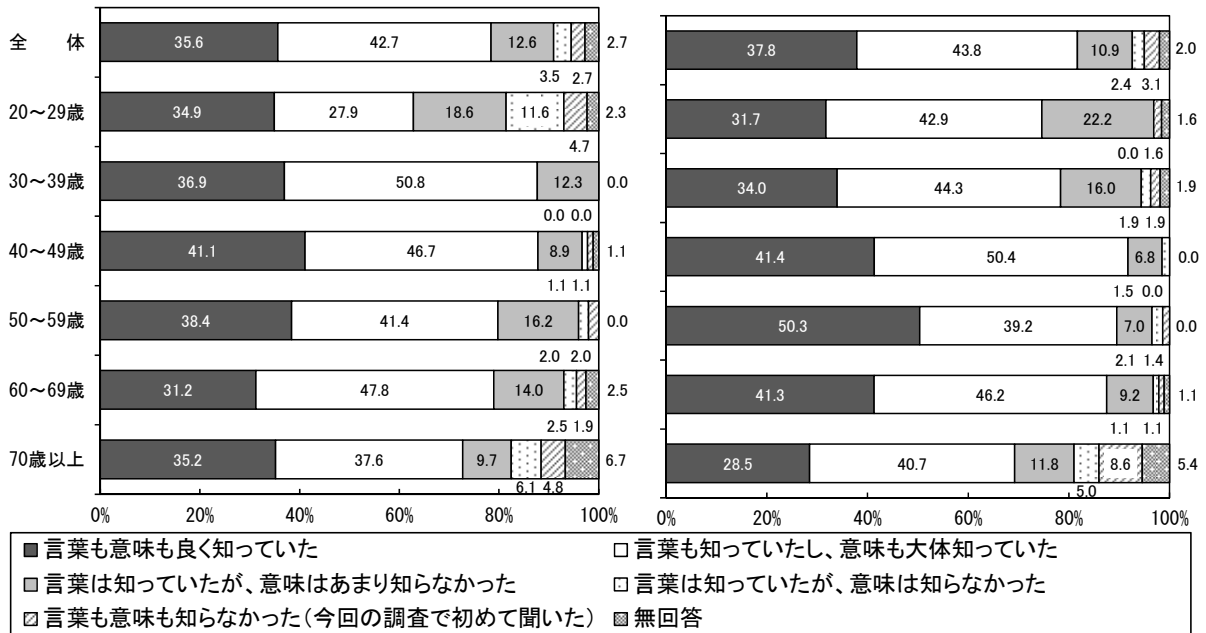


図 46.3 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（年齢別・男性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

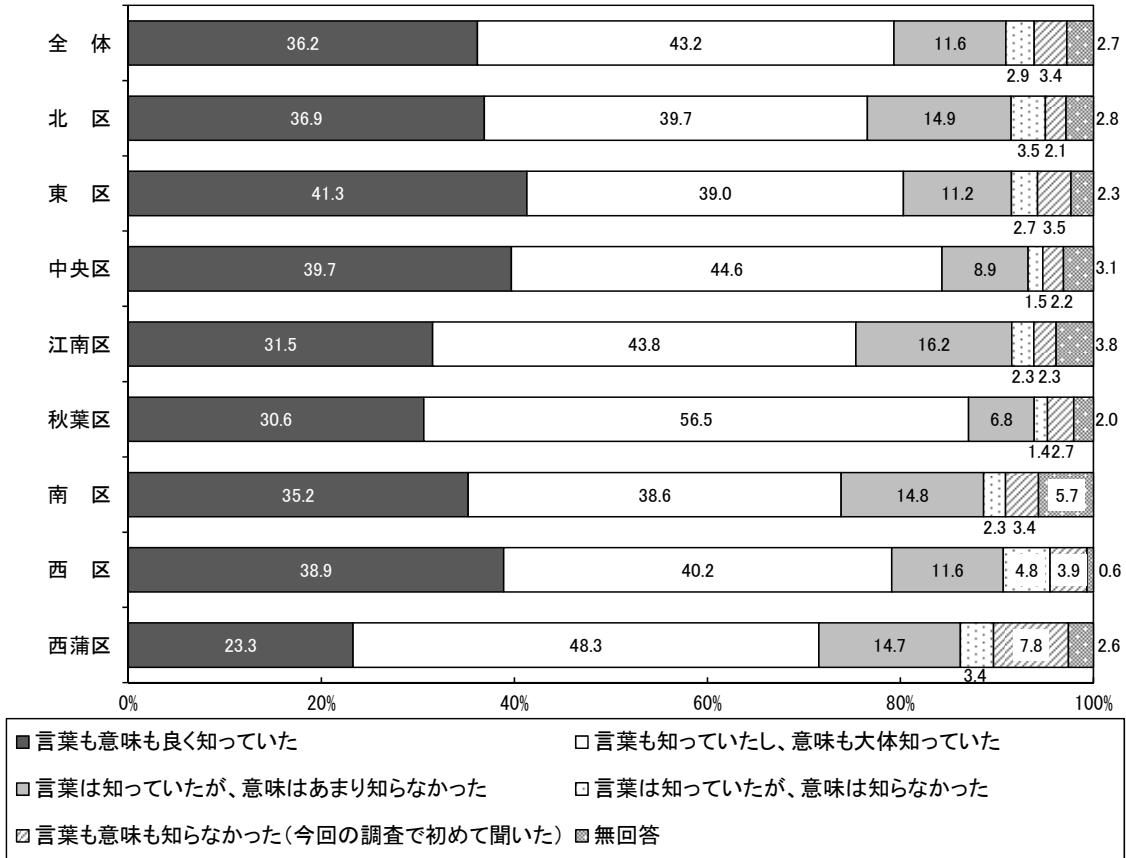
※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

(人)

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、秋葉区、中央区、東区で8割を超えている。

図 46.4 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

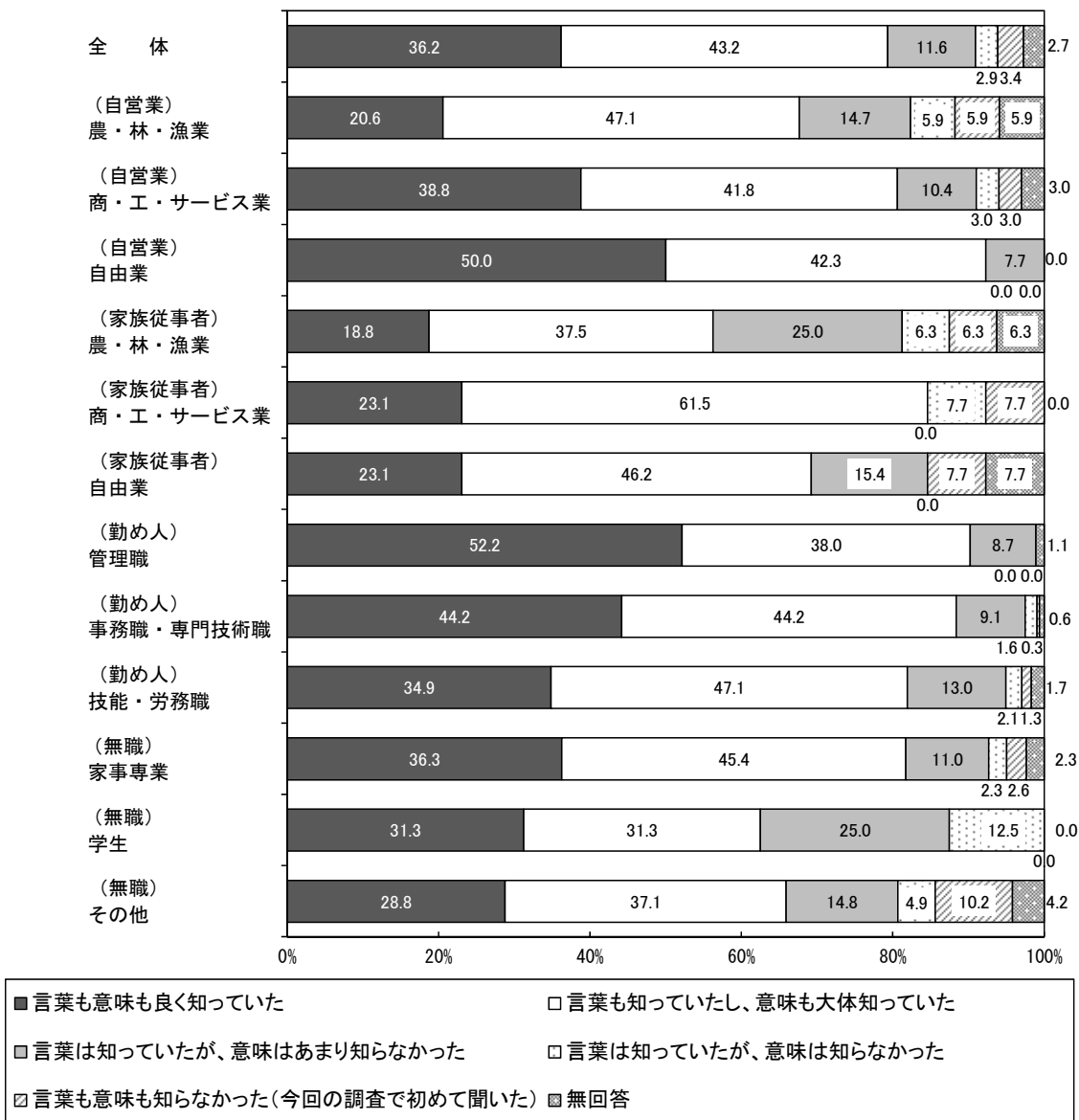
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 46.5 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（職業別）



全 体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,534	34	67	26	16	13	13

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

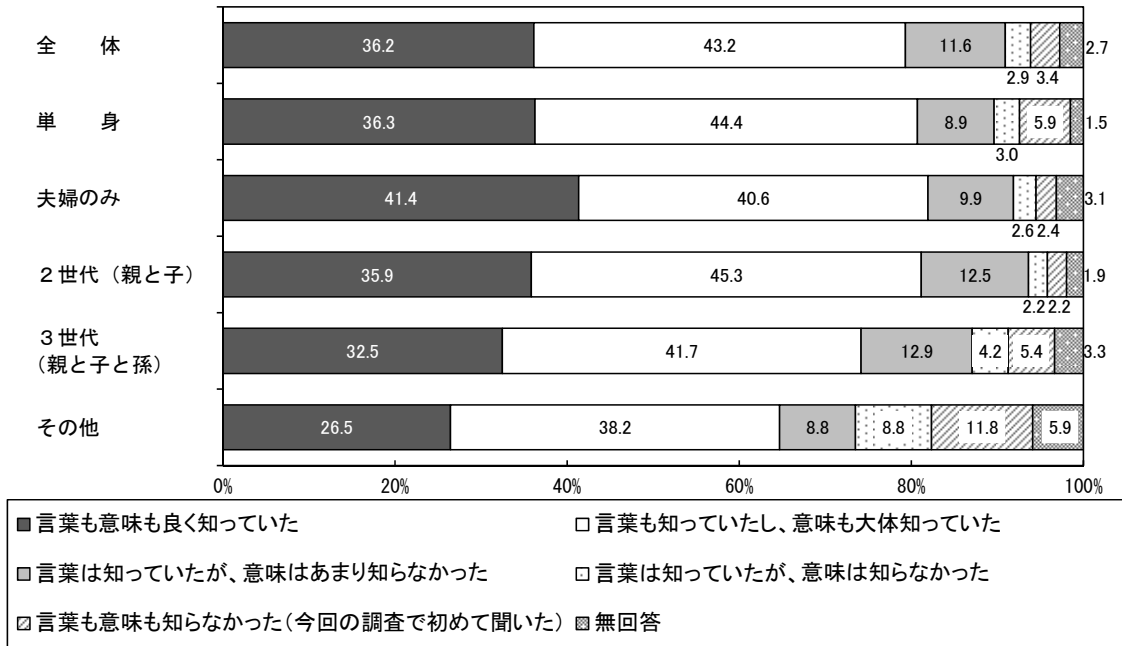
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、夫婦のみ（82.0%）で最も高くなっている。

図 46.6 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(14) メタボリックシンドロームの予防・改善の取組状況

問 43 あなたは、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のために、①適切な食事、②定期的な運動、③週に複数回の体重計測、のいずれかを実践していますか。
 (○は1つだけ)

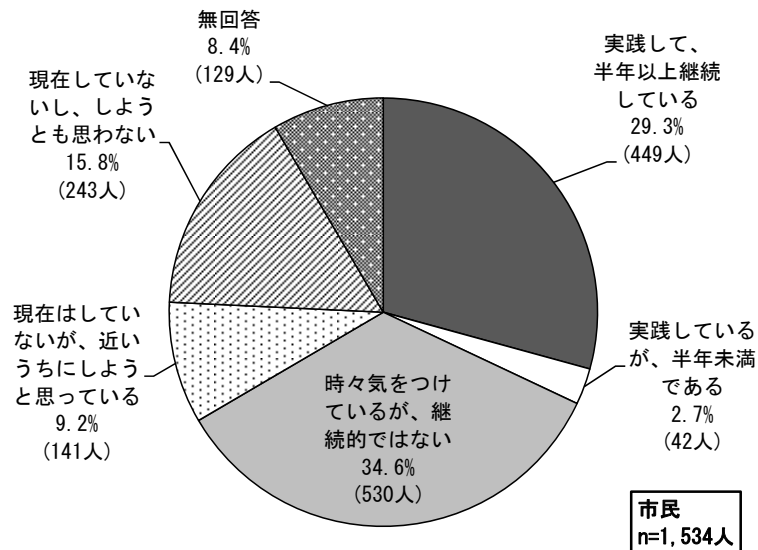
3割強が予防・改善を実践していると回答

【全体結果】

期間に程度の差はあるが、予防・改善を「実践して、半年以上継続している」(29.3%)、「実践しているが、半年未満である」(2.7%)と回答した人を合わせた割合は3割強(32.0%)となっている。

一方、「現在はしていないが、近いうちにしようと思っている」(9.2%)、「現在していないし、しようとも思わない」(15.8%)と回答した人を合わせた、現在予防・改善を実践していない人は3割弱(25.0%)となっている。

図 47.1 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況



【性別・年齢別】

「実践して、半年以上継続している」の割合は60歳代（34.47%）で最も高く、50歳代以上で3割強となっている。一方、「現在していないし、しようとも思わない」の割合は、20歳代（25.5%）で高くなっている。

図 47.2 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（年齢別・全体）

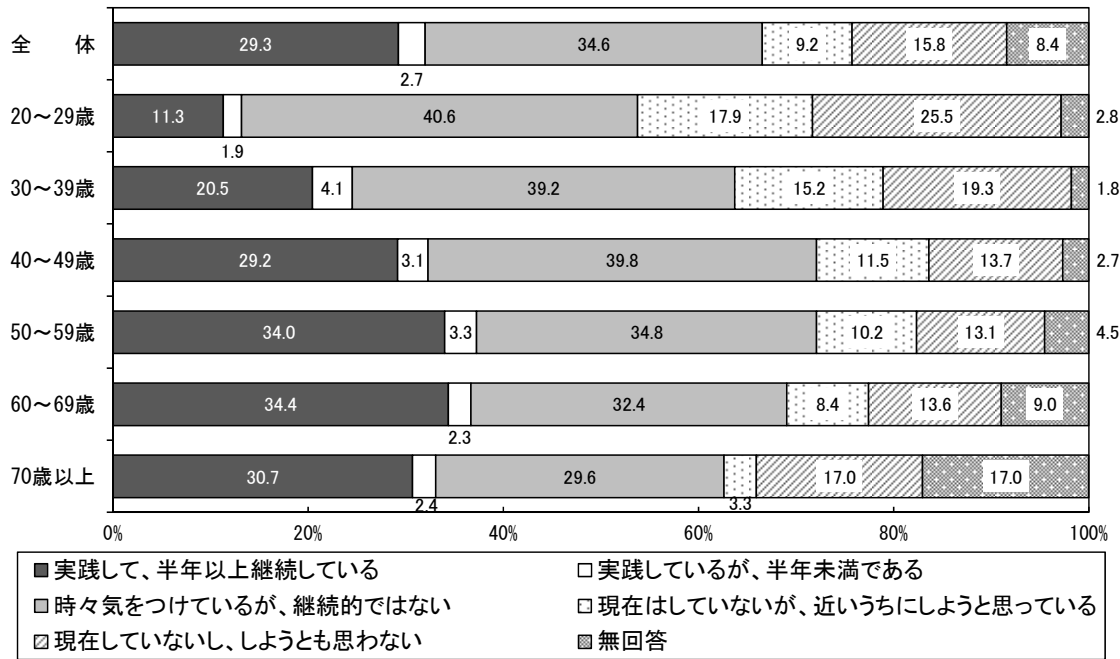
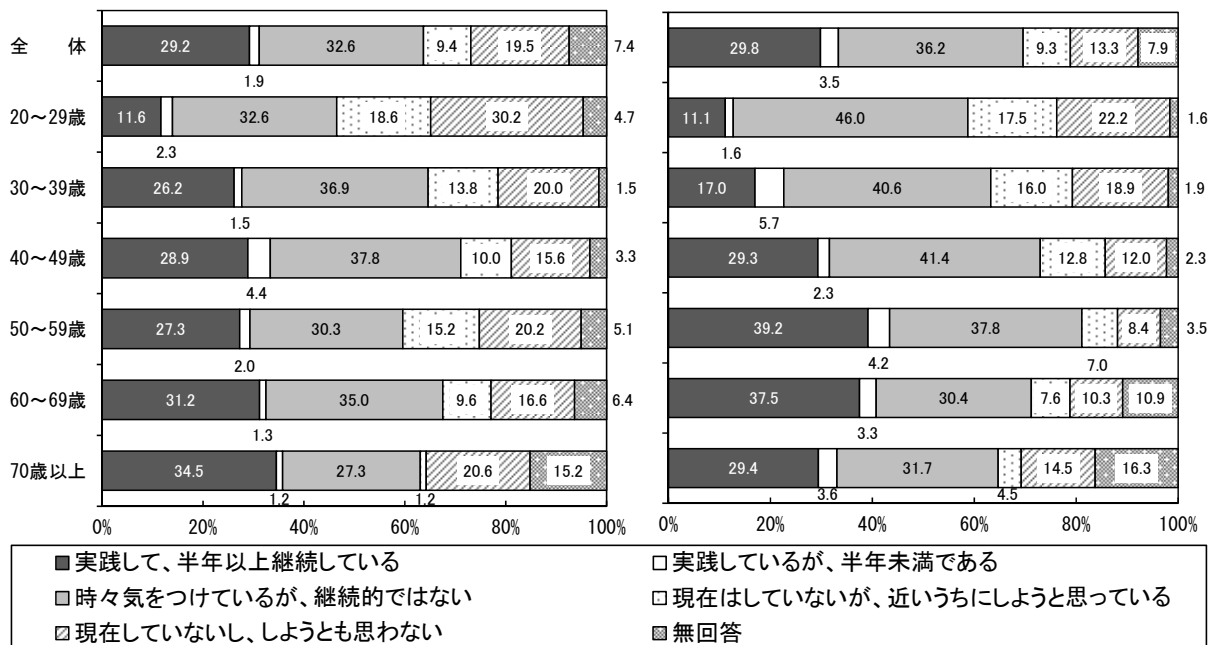


図 47.3 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況
（年齢別・男性） （年齢別・女性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

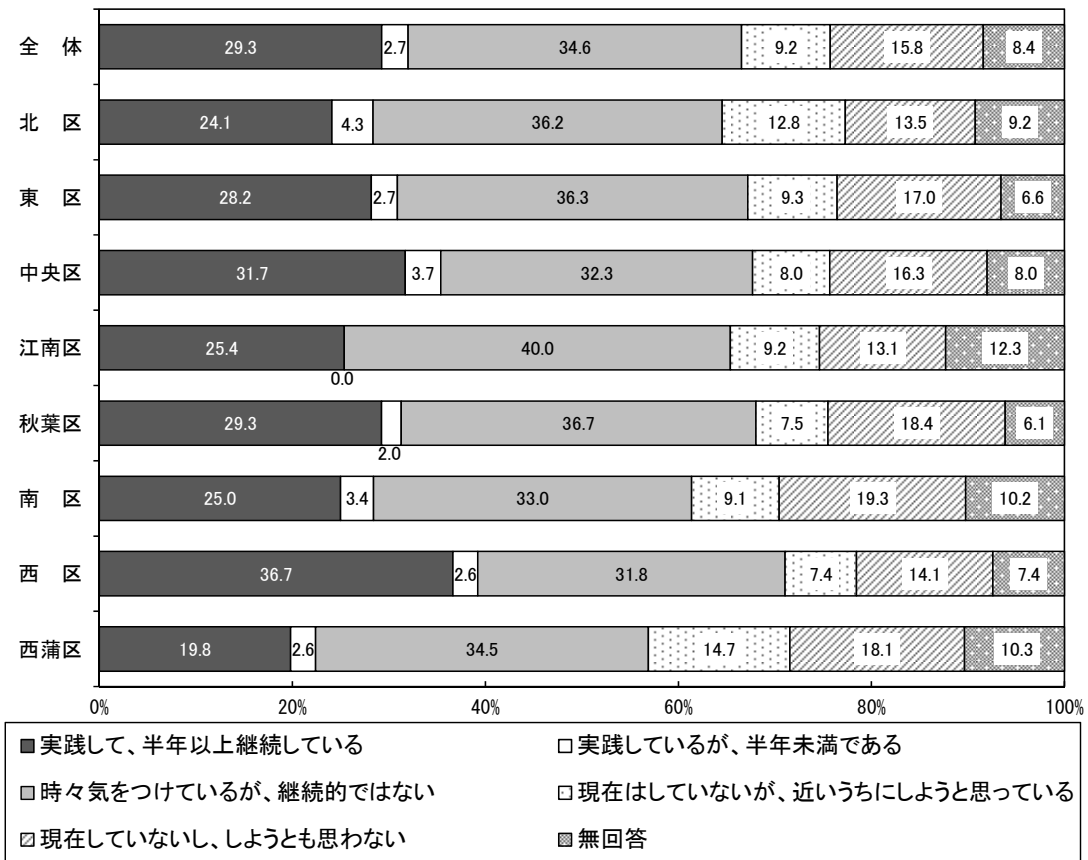
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「実践して、半年以上継続している」割合は、西区（36.7%）で4割弱と最も高くなっている。

図 47.4 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（地区別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

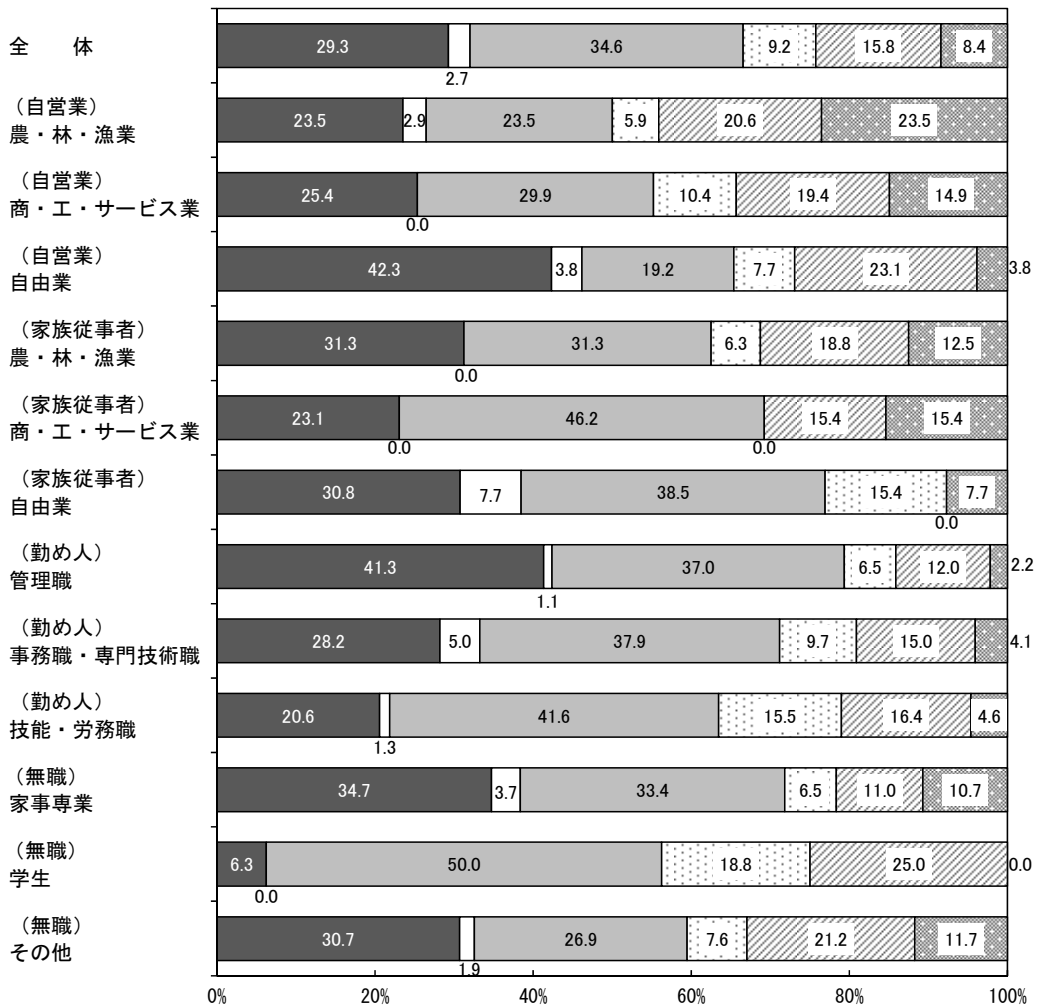
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 47.5 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（職業別）



実践して、半年以上継続している 実践しているが、半年未満である
 時々気をつけているが、継続的ではない 現在はないが、近いうちにしようと思っている
 現在していないし、しようと思わない 無回答

全 体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,534	34	67	26	16	13	13

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

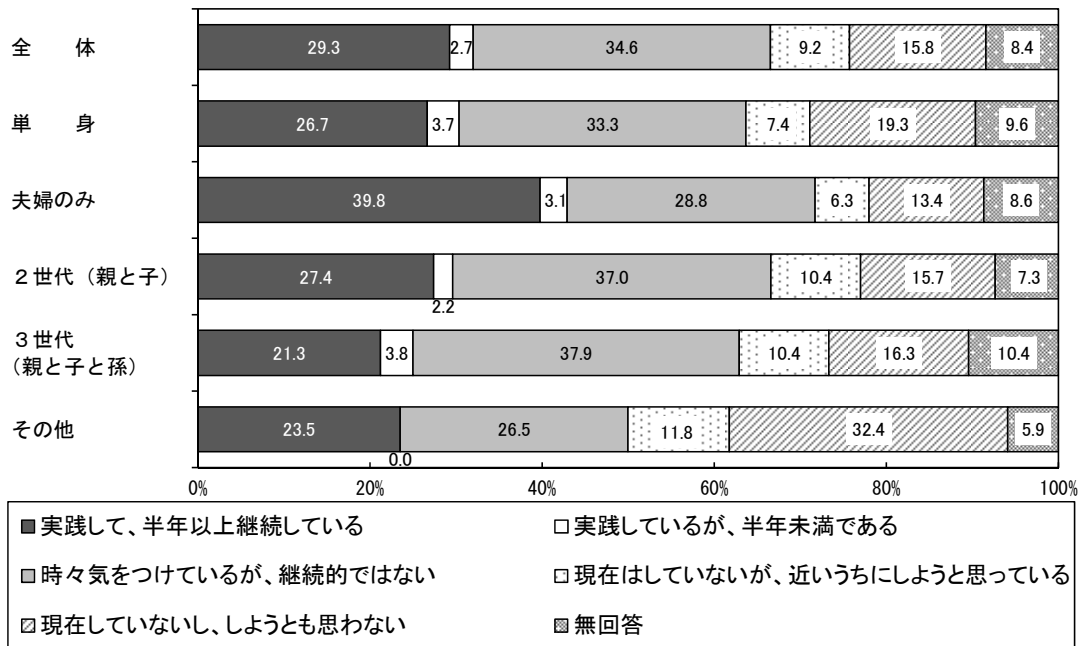
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「実践して、半年以上継続している」割合は、夫婦のみ（39.8%）で最も高くなっている。
一方、「現在していないし、しようとも思わない」は、その他（32.4%）で比較的高く、3割を超えている。

図 47.6 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(15) メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること

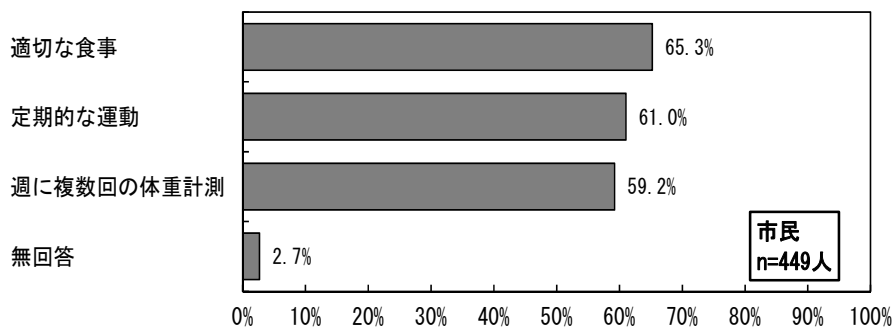
問43-1 問43で1に○を付けた方にお尋ねします。実践しているものは何ですか。
(○はいくつでも)

7割弱が「適切な食事」と回答

【全体結果】

メタボリックシンドロームの予防・改善を半年以上実践している人に、具体的な実践内容を聞いたところ、「適切な食事」と回答した人が7割弱(65.3%)で最も高くなっている。「定期的な運動」(61.0%)は6割を、「週に複数回の体重計測」(59.2%)は5割を超えている。

図 48.1 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること



全体	適切な食事	定期的な運動	週に複数回の体重計測	無回答
449	293	274	266	12

(人)

【性別・年齢別】

20歳代、50歳代および70歳以上では「適切な食事」が最も高く、30歳代から40歳代では「適切な食事」と「週に複数回の体重測定」が同率で最も高く、60歳代では「定期的な運動」が最も高くなっている。

性別では、60歳代以下で「定期的な運動」の割合は男性の方が高く、20歳代から30歳代および50歳代以上で「週に複数回の体重計測」の割合は女性の方が高くなっている。

表9.1 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・全体）

	対象者	適切な食事	定期的な運動	週に複数回の体重計測	無回答
計	449	65.3	61.0	59.2	2.7
20～29歳	12	58.3	58.3	50.0	16.7
30～39歳	35	60.0	54.3	60.0	5.7
40～49歳	66	60.6	45.5	60.6	1.5
50～59歳	83	66.3	51.8	65.1	2.4
60～69歳	119	65.5	70.6	57.1	1.7
70歳以上	130	68.5	66.9	56.2	2.3
年齢不明	4	75.0	100.0	100.0	0.0

対象者：人／回答：%

表9.2 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・男性）

	対象者	適切な食事	定期的な運動	週に複数回の体重計測	無回答
計	181	60.2	69.1	53.0	2.8
20～29歳	5	80.0	60.0	20.0	20.0
30～39歳	17	47.1	64.7	47.1	11.8
40～49歳	26	50.0	69.2	61.5	0.0
50～59歳	27	51.9	63.0	63.0	3.7
60～69歳	49	71.4	79.6	46.9	2.0
70歳以上	57	61.4	64.9	54.4	0.0
年齢不明	0	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

表9.3 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・女性）

	対象者	適切な食事	定期的な運動	週に複数回の体重計測	無回答
計	254	68.9	53.9	63.4	2.4
20～29歳	7	42.9	57.1	71.4	14.3
30～39歳	18	72.2	44.4	72.2	0.0
40～49歳	39	66.7	28.2	61.5	2.6
50～59歳	56	73.2	46.4	66.1	1.8
60～69歳	69	60.9	63.8	63.8	1.4
70歳以上	65	76.9	67.7	58.5	3.1
年齢不明	0	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

(16) 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度

「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」とは

筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障がいが起こり、歩行や日常生活に何らかの機能低下をきたして、要介護になっていたり、要介護になる危険の高い状態を「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ、和名：運動器症候群）」といいます。

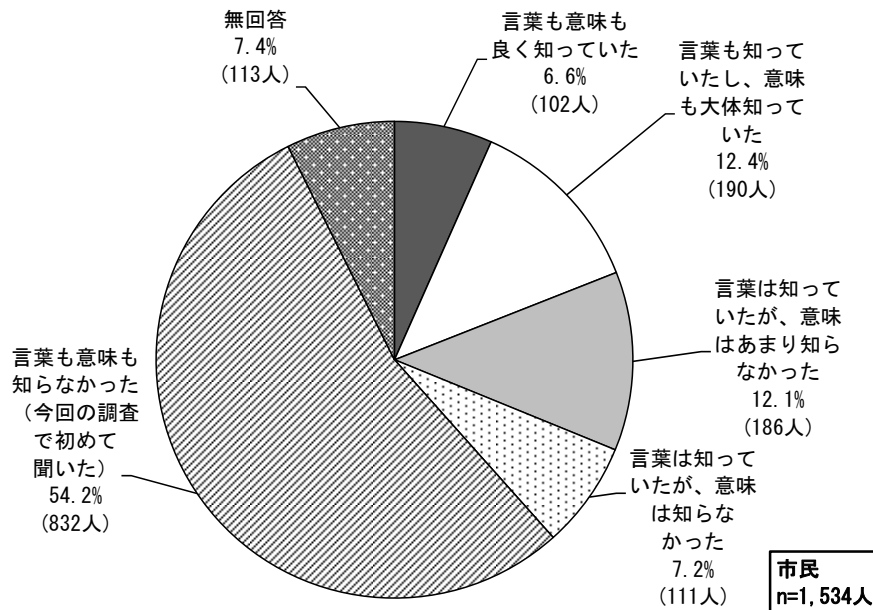
問 44 あなたは「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つだけ）

2割弱が言葉や意味を認知していると回答

【全体結果】

「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（6.6%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（12.4%）と回答した人を合わせた割合は2割弱（19.0%）となっている。

図 49.1 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、50歳代(25.4%)が最も高くなっている。

性別では、「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、20歳代では男女ほぼ同率で、30歳代以上で女性の方が高くなっている。

図 49.2 「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」という言葉や意味の認知度(年齢別・全体)

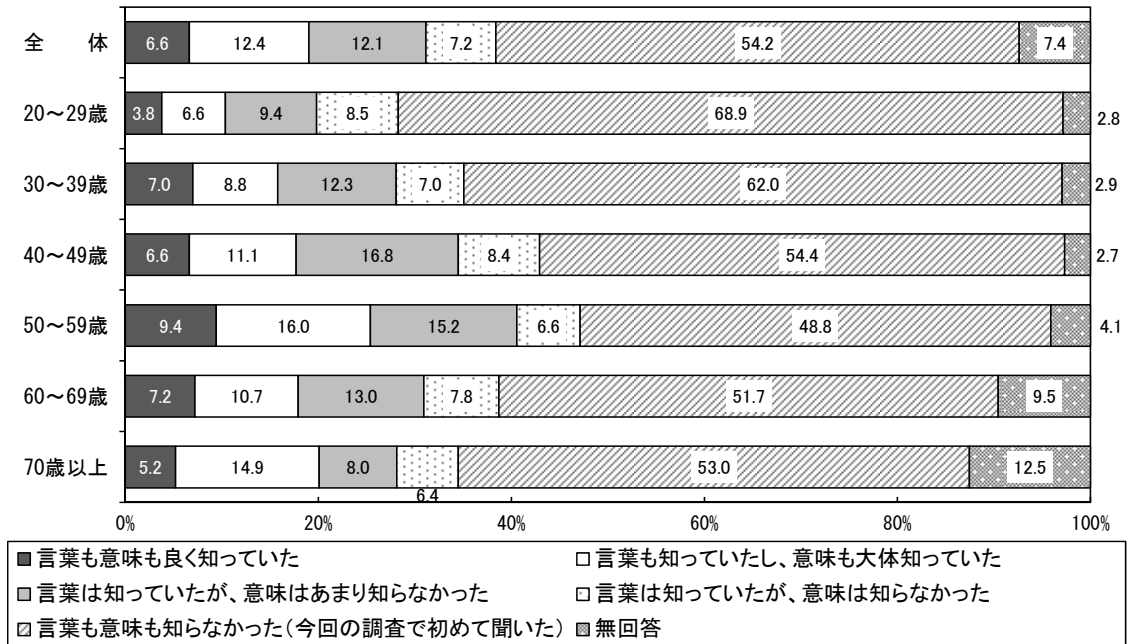
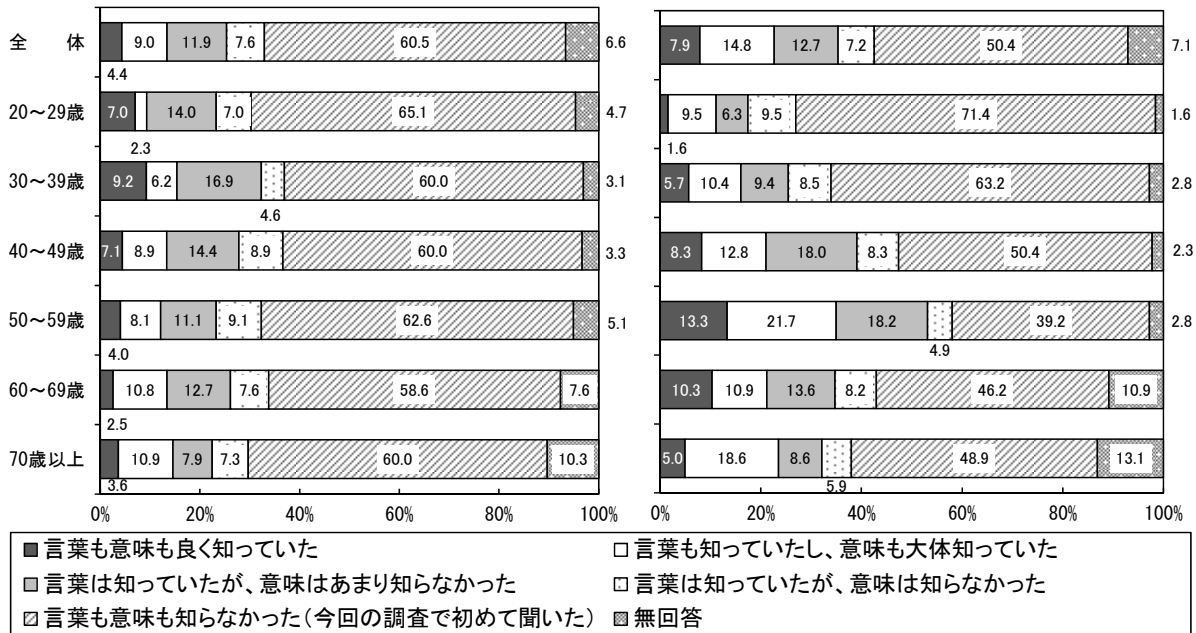


図 49.3 「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」という言葉や意味の認知度(年齢別・男性) (年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

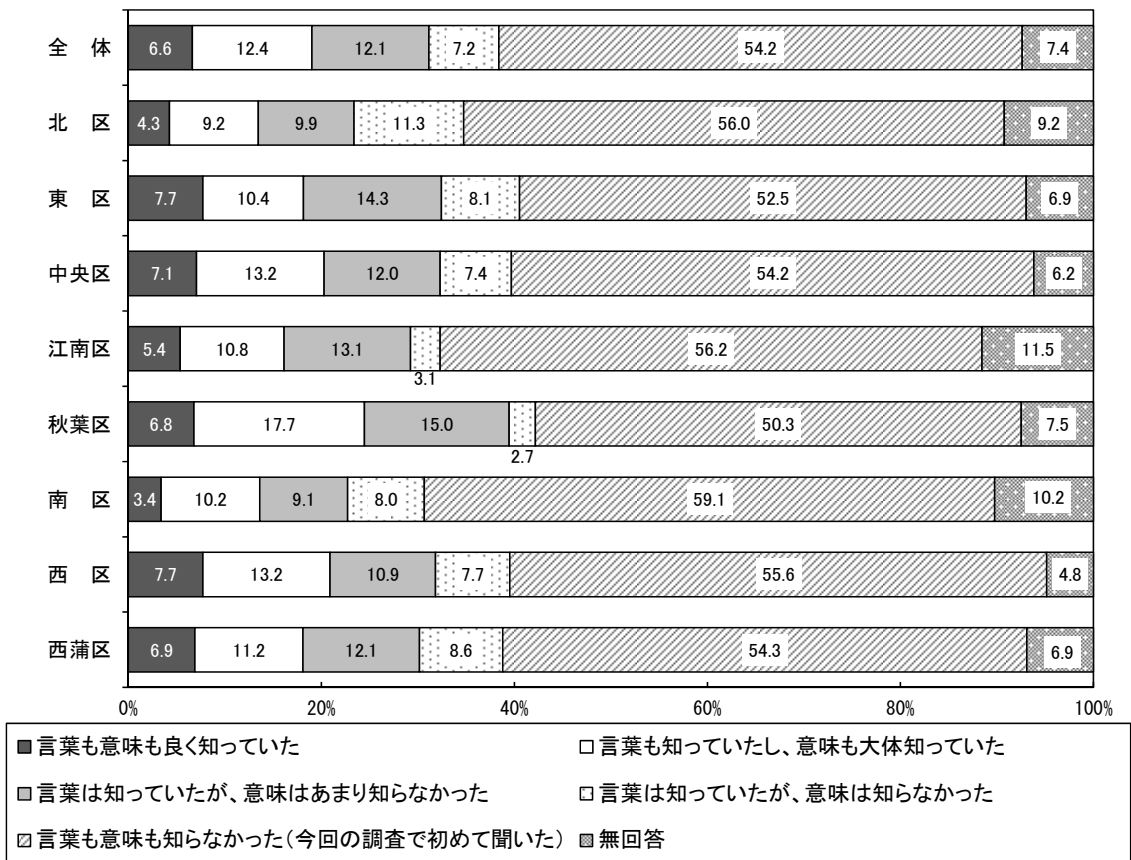
※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

(人)

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、秋葉区(24.5%)、西区(20.9%)の順で高くなっている。

図 49.4 「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」という言葉や意味の認知度(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

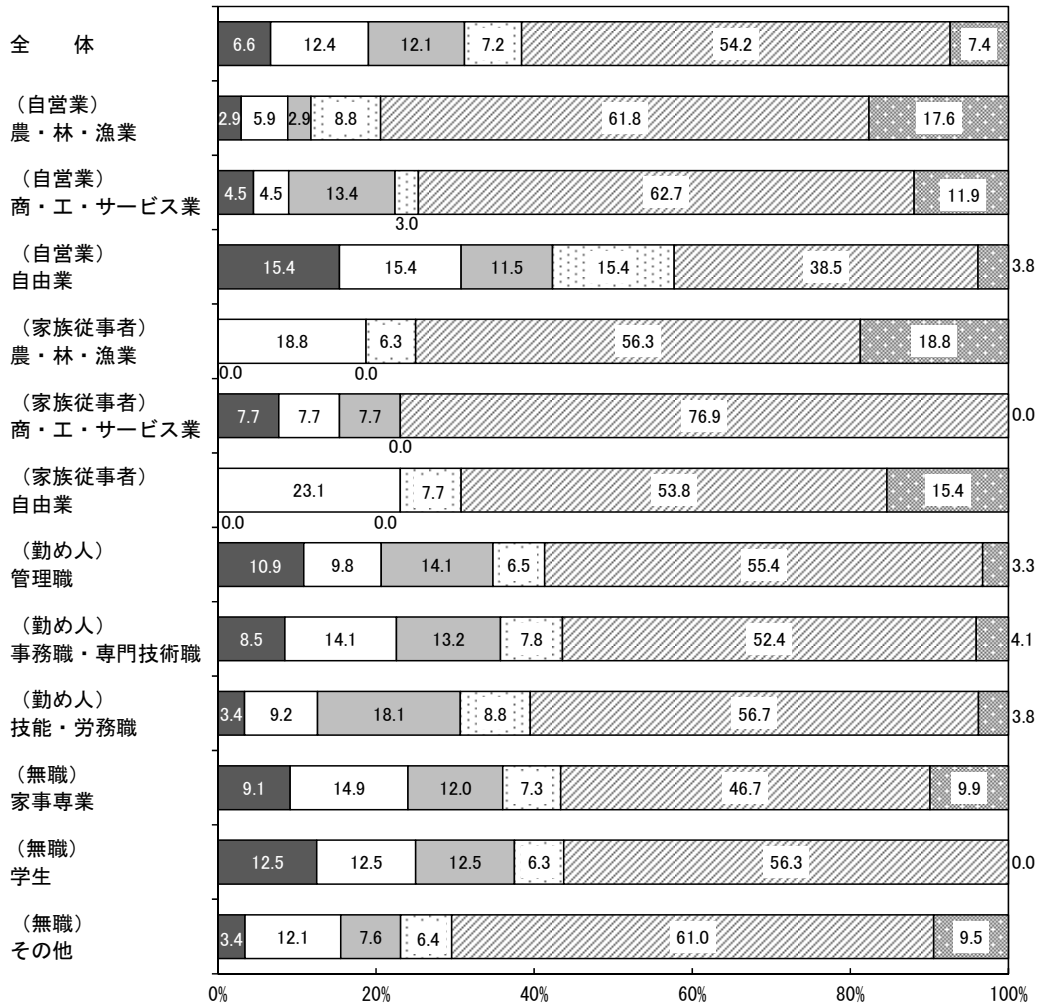
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 49.5 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度（職業別）



言葉も意味も良く知っていた 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた
 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
 言葉も意味も知らなかった(今回の調査で初めて聞いた) 無回答

全 体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,534	34	67	26	16	13	13

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

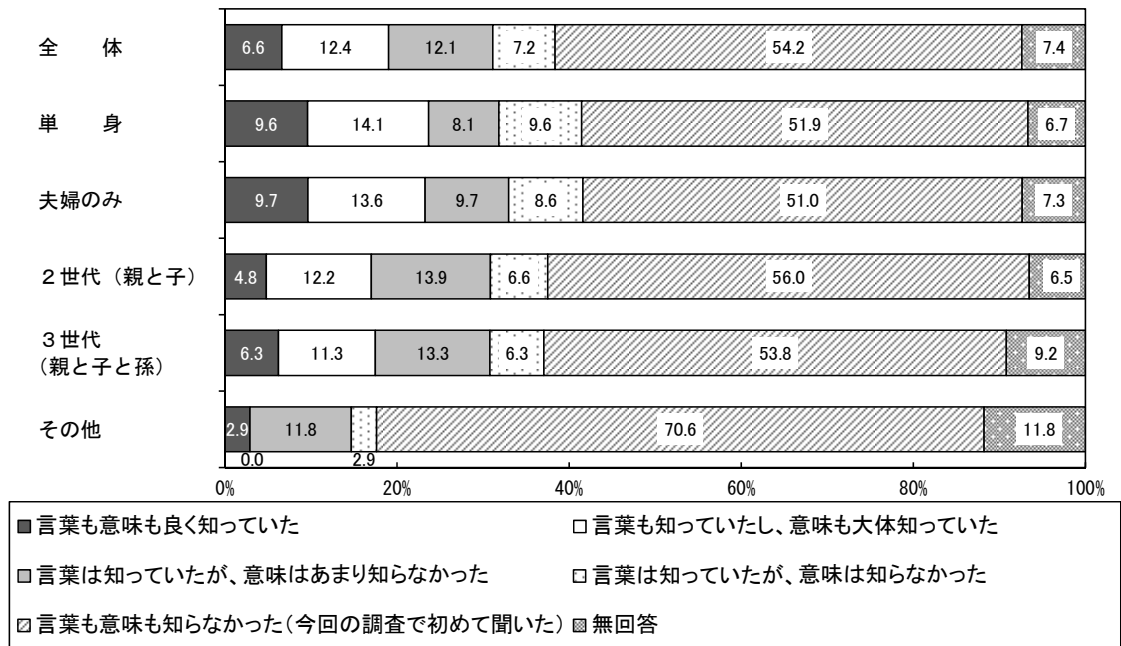
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、単身(23.7%)で最も高くなっている。

図 49.6 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(17) 最近1年間の健診や人間ドックの受診状況

問45 あなたは過去1年間に市や職場などで行われる健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けましたか。（受けたもの全てに○）

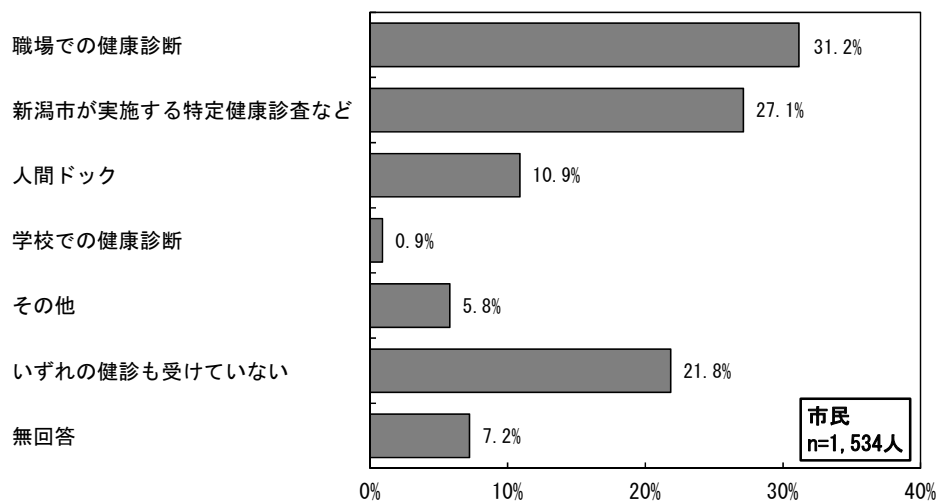
3割強が「職場での健康診断」と回答

【全体結果】

「職場での健康診断」と回答した人が3割強（31.2%）となっている。以下「新潟市が実施する特定健康診査など」（27.1%）、「人間ドック」（10.9%）、「学校での健康診断」（0.9%）と続いている。

一方、「いずれの健（検）診も受けていない」と回答した人は2割強（21.8%）となっている。

図 50.1 最近1年間の健診や人間ドックの受診状況



全体	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	学校での健康診断	人間ドック	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
1,534	478	416	167	14	89	335	111

(人)

【性別・年齢別】

50歳代以下では「職場での健康診断」と回答した人が最も多く、60歳代以上では「新潟市が実施する特定健康診査など」と回答した人が多くなっている。

性別では、30歳代以上で、「職場での健康診断」「人間ドック」の割合は男性の方が高く、「新潟市が実施する特定健康診査など」の割合は女性の方が高くなっている。

表 10.1 最近1年間の健診や人間ドックの受診状況（年齢別・全体）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	1,534	31.2	27.1	10.9	0.9	5.8	21.8	7.2
20～29歳	106	48.1	2.8	0.9	11.3	0.0	35.8	1.9
30～39歳	171	62.6	4.7	7.0	0.6	1.8	24.6	2.3
40～49歳	226	54.4	11.1	18.6	0.4	3.1	18.6	2.7
50～59歳	244	49.6	13.5	18.9	0.0	2.0	16.0	4.9
60～69歳	346	18.8	36.4	11.8	0.0	7.2	22.5	8.4
70歳以上	423	2.1	51.1	5.7	0.0	11.1	21.3	13.0
年齢不明	18	11.1	27.8	5.6	0.0	11.1	33.3	16.7

対象者：人／回答：%

表 10.2 最近1年間の健診や人間ドックの受診状況（年齢別・男性）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	620	36.8	23.7	14.8	1.1	5.5	17.6	6.6
20～29歳	43	46.5	4.7	0.0	14.0	0.0	32.6	2.3
30～39歳	65	75.4	0.0	12.3	1.5	0.0	13.8	1.5
40～49歳	90	63.3	6.7	24.4	0.0	3.3	7.8	3.3
50～59歳	99	56.6	4.0	27.3	0.0	3.0	10.1	4.0
60～69歳	157	25.5	32.5	12.7	0.0	8.9	21.7	5.7
70歳以上	165	3.6	50.9	9.1	0.0	8.5	20.6	13.9
年齢不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

対象者：人／回答：%

表 10.3 最近1年間の健診や人間ドックの受診状況（年齢別・女性）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	851	28.8	28.8	8.3	0.8	5.8	24.8	6.7
20～29歳	63	49.2	1.6	1.6	9.5	0.0	38.1	1.6
30～39歳	106	54.7	7.5	3.8	0.0	2.8	31.1	2.8
40～49歳	133	48.1	13.5	15.0	0.8	3.0	25.6	2.3
50～59歳	143	45.5	20.3	13.3	0.0	1.4	19.6	4.9
60～69歳	184	13.0	40.2	10.9	0.0	6.0	23.4	10.3
70歳以上	221	1.4	52.0	2.7	0.0	13.1	22.2	10.9
年齢不明	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人／回答：%

(18) 最近1年間のがん検診の受診状況

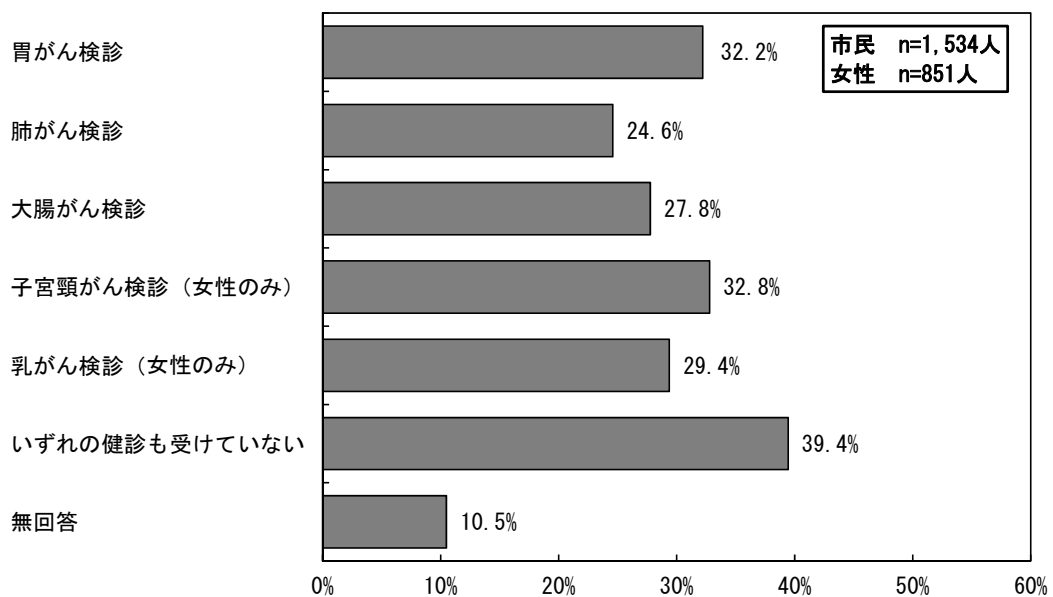
問46 あなたは過去1年間（乳がんまたは子宮頸がん検診は過去2年間）にがん検診を受けましたか。
（受けたもの全てに○）

4割弱が「いずれのがん検診も受けていない」と回答

【全体結果】

「いずれのがん検診も受けていない」と回答した人が4割弱（39.4%）となっている。
一方、受診したがん検診については、「胃がん検診」の回答が最も多く、3割強（32.2%）となっている。
また、女性のみが対象の「子宮頸がん検診」（32.8%）は3割強、「乳がん検診」（29.4%）は3割弱となっている。

図 51.1 最近1年間のがん検診の受診状況



※全体 （内は女性 の人数）	胃がん 検診	肺がん 検診	大腸 がん 検診	子宮 頸がん 検診 （女性 のみ）	乳がん 検診 （女性 のみ）	いずれ の健診 も受けて いない	無回 答
1,534 (851)	494	377	426	279	250	605	161

(人)

【性別・年齢別】

「胃がん検診」「肺がん検診」の割合は70歳以上で最も高く、「大腸がん検診」の割合は60歳代で最も高くなっている。

女性が対象の「子宮頸がん検診」の割合は、30歳代から40歳代で5割を超えている。「乳がん検診」の割合は、40歳代から50歳代で5割を超えている。

表 11.1 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・全体）

	対象者 ()内は 女性の人数	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん 検診	子宮頸がん 検診 (女性のみ)	乳がん 検診 (女性のみ)	いずれの がん健診も 受けていない	無回答
計	1,534(851)	32.2	24.6	27.8	32.8	29.4	39.4	10.5
20～29歳	106(63)	0.0	0.9	0.9	36.5	4.8	73.6	3.8
30～39歳	171(106)	5.8	4.7	4.7	55.7	21.7	53.8	3.5
40～49歳	226(133)	33.2	20.8	27.4	54.1	51.1	37.6	3.5
50～59歳	244(143)	30.7	30.3	32.0	37.1	50.3	38.9	6.6
60～69歳	346(184)	42.2	30.1	37.6	22.8	27.7	36.4	10.1
70歳以上	423(221)	43.3	33.3	33.8	13.1	14.5	29.8	19.9
年齢不明	18(1)	27.8	11.1	22.2	100.0	100.0	16.7	44.4

対象者：人／回答：%

表 11.2 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・男性）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん 検診	いずれの がん健診も受 けていない	無回答
計	620	34.7	26.1	27.4	47.1	12.1
20～29歳	43	0.0	2.3	0.0	90.7	7.0
30～39歳	65	12.3	9.2	7.7	80.0	4.6
40～49歳	90	40.0	23.3	31.1	48.9	4.4
50～59歳	99	32.3	27.3	31.3	51.5	9.1
60～69歳	157	42.7	29.3	31.8	39.5	10.8
70歳以上	165	43.6	37.0	33.9	26.1	23.6
年齢不明	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

対象者：人／回答：%

表 11.3 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・女性）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん 検診	子宮頸がん 検診 (女性のみ)	乳がん 検診 (女性のみ)	いずれの がん健診も 受けていない	無回答
計	851	30.4	23.5	28.4	32.8	29.4	34.9	7.4
20～29歳	63	0.0	0.0	1.6	36.5	4.8	61.9	1.6
30～39歳	106	1.9	1.9	2.8	55.7	21.7	37.7	2.8
40～49歳	133	28.6	19.5	25.6	54.1	51.1	29.3	3.0
50～59歳	143	30.1	32.9	32.9	37.1	50.3	30.1	4.2
60～69歳	184	42.9	31.5	42.9	22.8	27.7	33.2	9.2
70歳以上	221	43.4	30.3	34.8	13.1	14.5	33.9	14.5
年齢不明	1	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

対象者：人／回答：%

(19) がん検診の検診場所

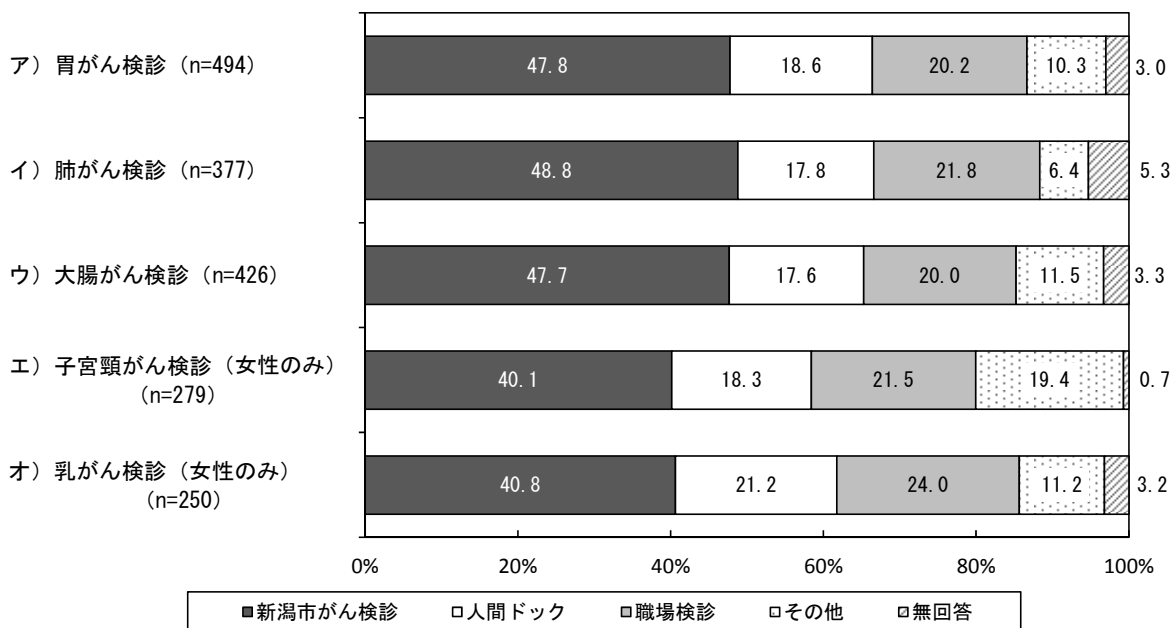
問47 がん検診を受けた方にお尋ねします。それぞれどこで検診を受けましたか。
(がん検診ごとに○は1つだけ) ア～ウは全員、エ、オは女性のみお答えください。

検診場所は「新潟市がん検診」が最も多い

【全体結果】

いずれのがん検診も「新潟市がん検診」と回答した人が最も多くなっており、「肺がん検診」(48.8%)が最も高く、以下「胃がん検診」(47.8%)、「大腸がん検診」(47.7%)と続き、いずれも5割弱となっている。

図 52.1 がん検診の検診場所



	全体	新潟市がん検診	人間ドック	職場検診	その他	無回答
ア) 胃がん検診	494	236	92	100	51	15
イ) 肺がん検診	377	184	67	82	24	20
ウ) 大腸がん検診	426	203	75	85	49	14
エ) 子宮頸がん検診(女性のみ)	279	112	51	60	54	2
オ) 乳がん検診(女性のみ)	250	102	53	60	28	8

(人)

ア) 胃がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上(72.1%)で最も高く7割を超えている。「人間ドック」の割合は、50歳代(30.7%)で最も高く3割を超えている。「職場検診」は40歳代(54.7%)で5割を超えている。

図 52.2 がん検診の検診場所 (年齢別・全体)

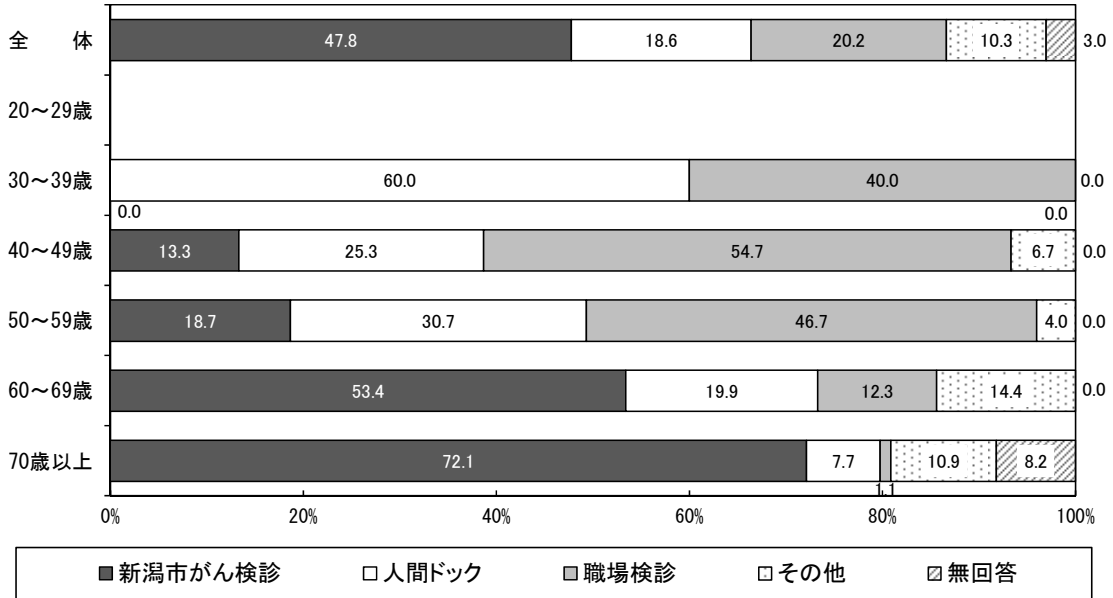
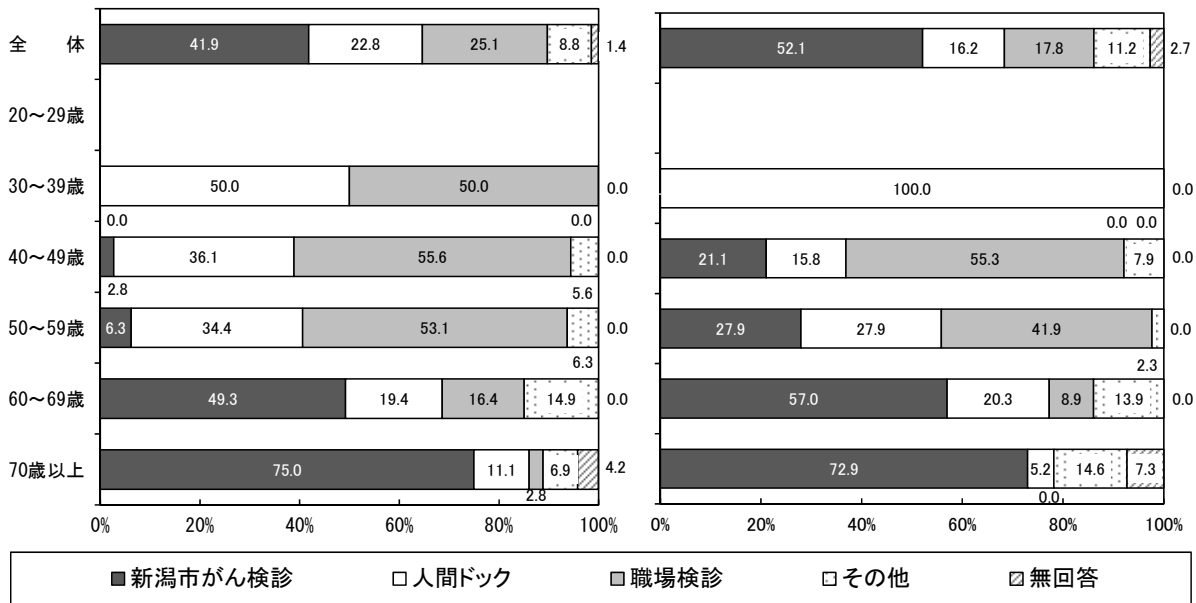


図 52.3 がん検診の検診場所

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	494	0	10	75	75	146	183	5
男性	215	0	8	36	32	67	72	0
女性	259	0	2	38	43	79	96	1

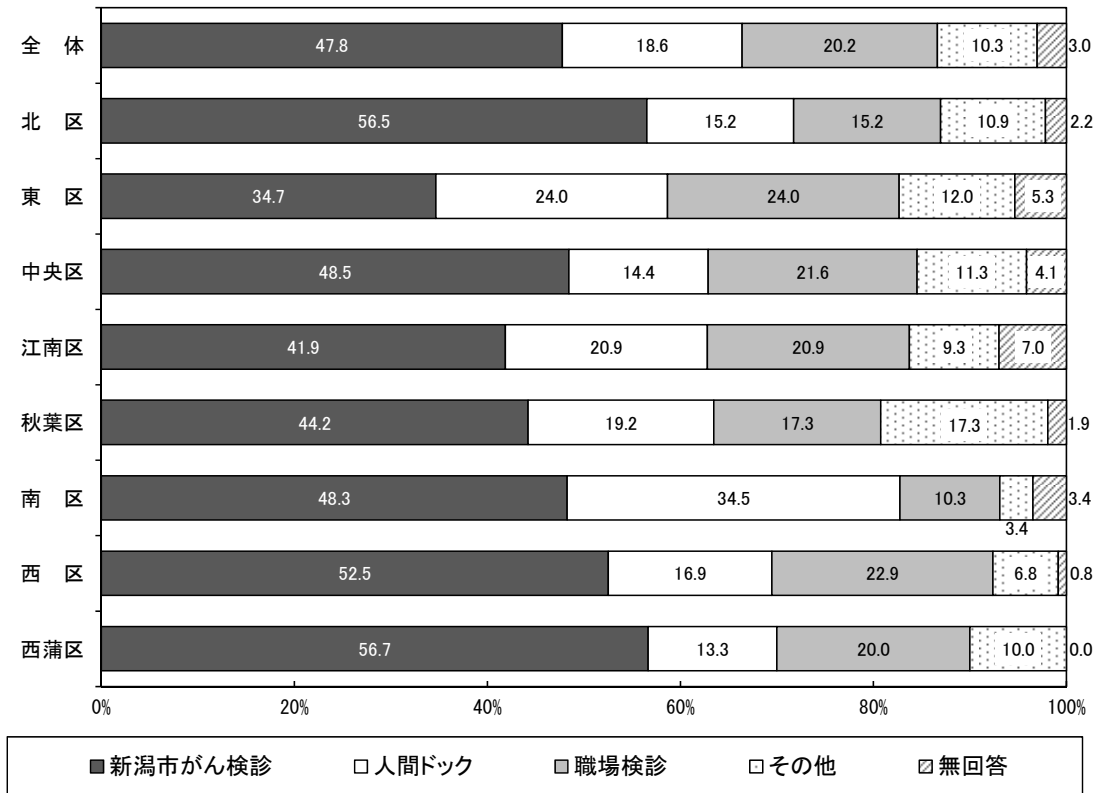
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

全ての地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高く、北区（56.5%）、西区（52.5%）、西蒲区（56.7%）では5割を超えている。

図 52.4 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
494	46	75	97	43	52	29	118	30	4

(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

イ) 肺がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（68.1%）で最も高く、60歳代以上で6割を超えている。「職場検診健診」は50歳代（51.4%）で最も高く、5割を超えている。

図 52.5 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

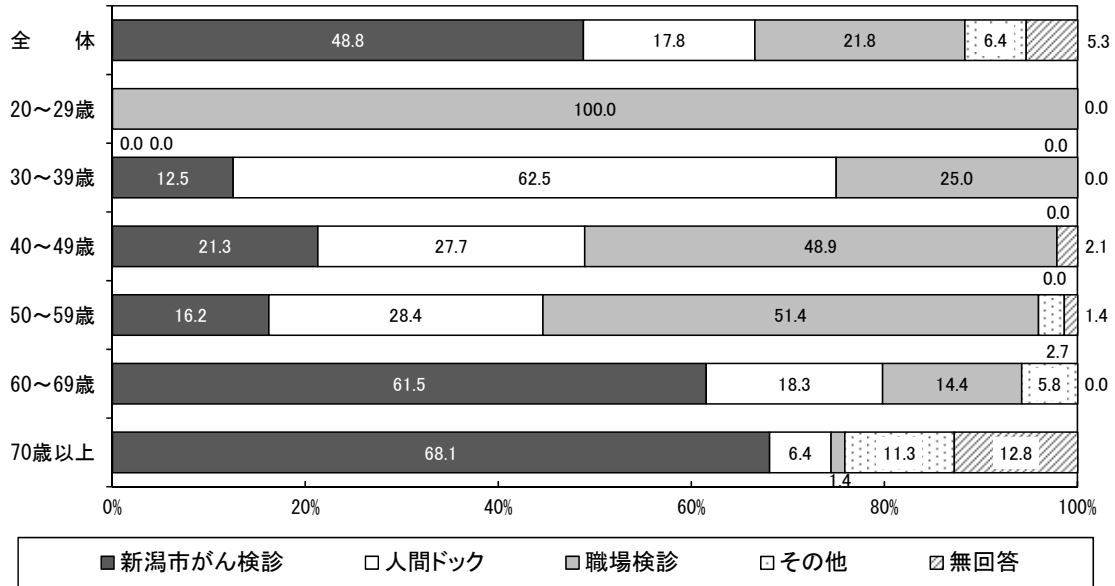
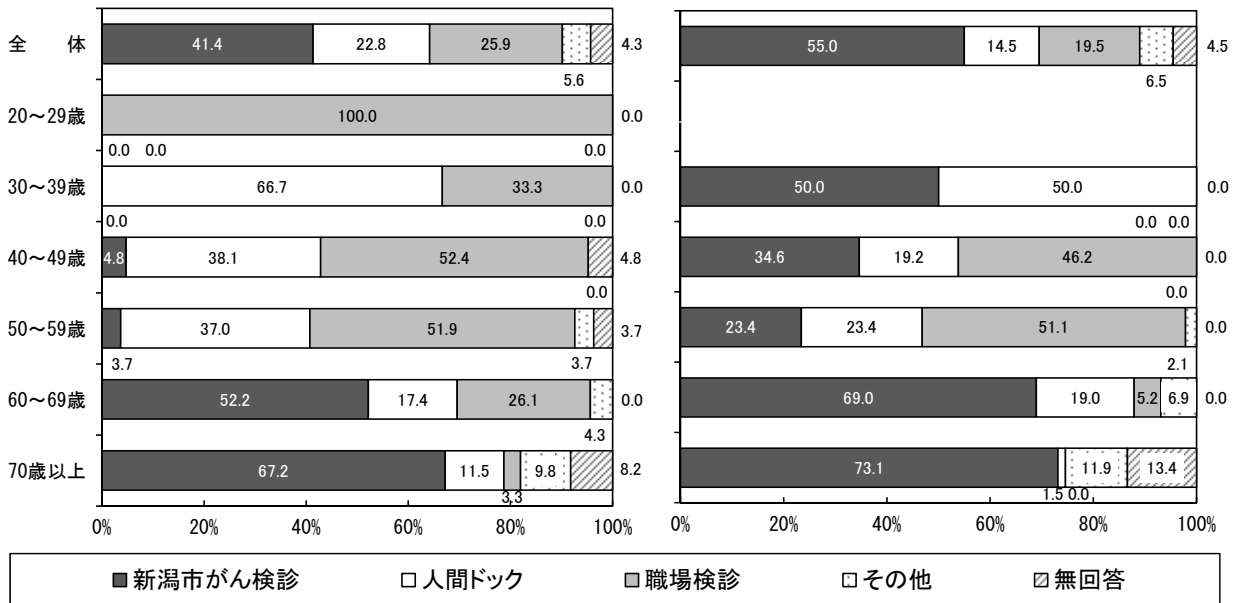


図 52.6 がん検診の検診場所

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	377	1	8	47	74	104	141	2
男性	162	1	6	21	27	46	61	0
女性	200	0	2	26	47	58	67	0

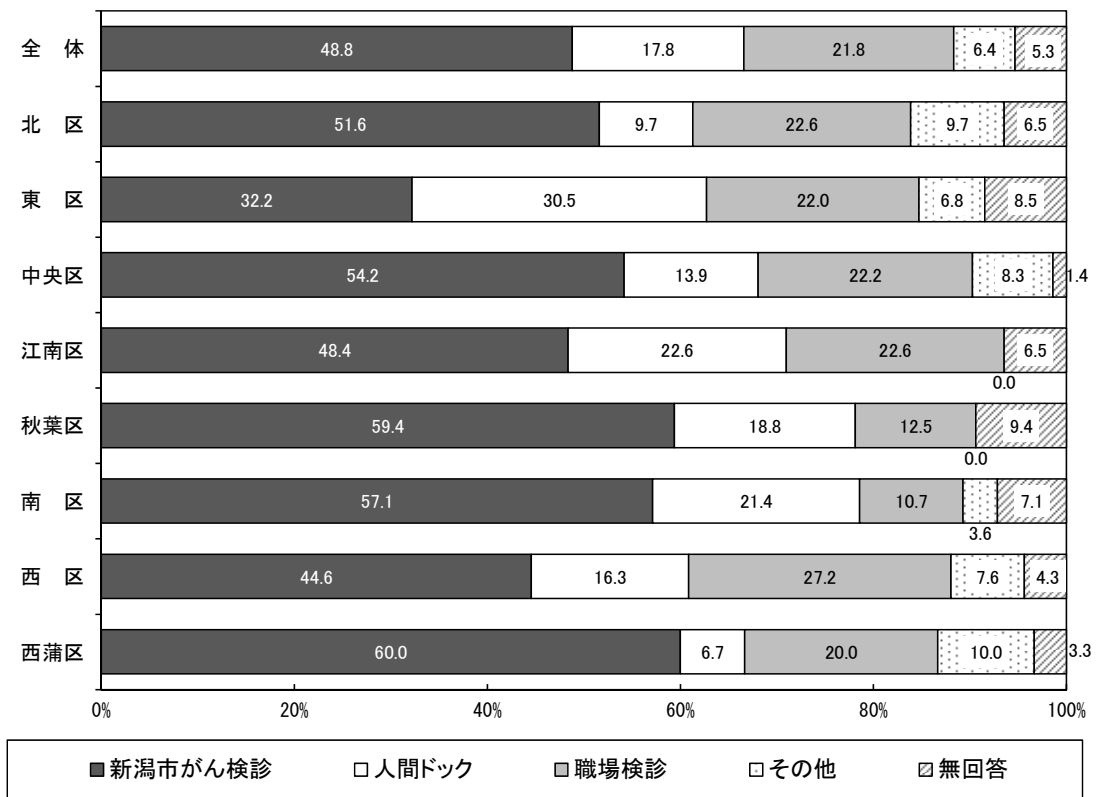
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

全ての地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高く、西蒲区では6割となっている。

図 52.7 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
377	31	59	72	31	32	28	92	30	2

(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

ウ) 大腸がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（72.7%）で最も高く7割を超えている。「職場検診」は、40歳代（53.2%）で最も高く5割を超えている。

図 52.8 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

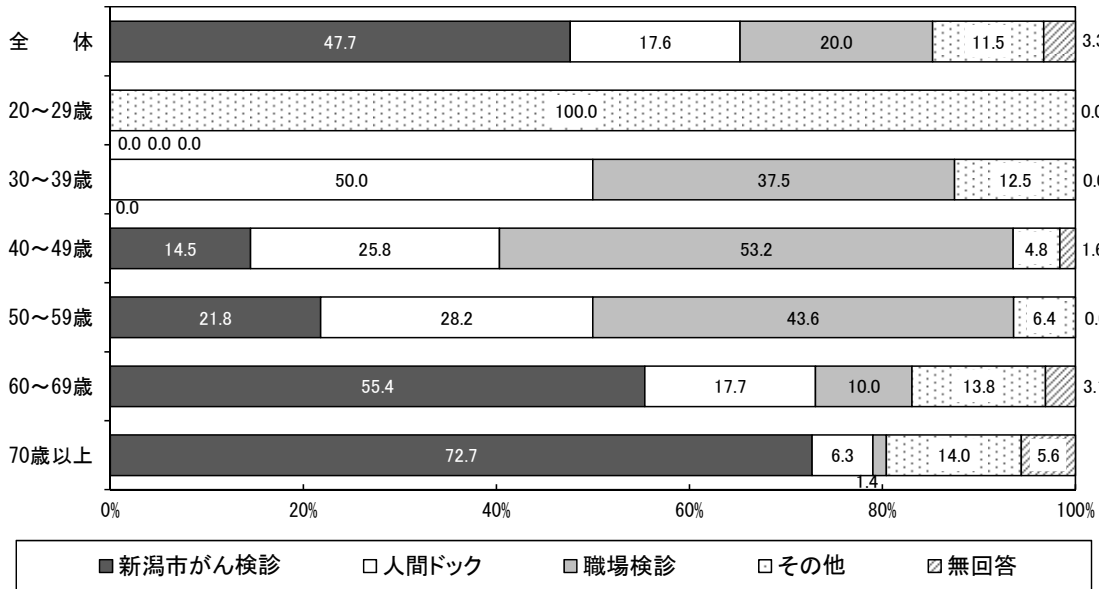
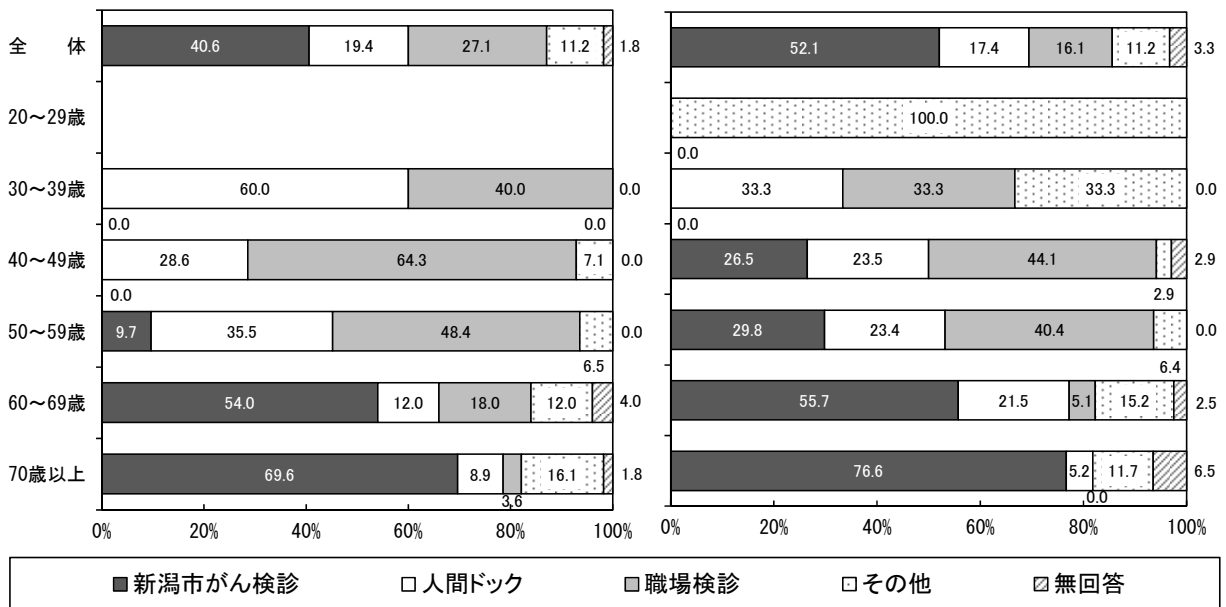


図 52.9 がん検診の検診場所

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	426	1	8	62	78	130	143	4
男性	170	0	5	28	31	50	56	0
女性	242	1	3	34	47	79	77	1

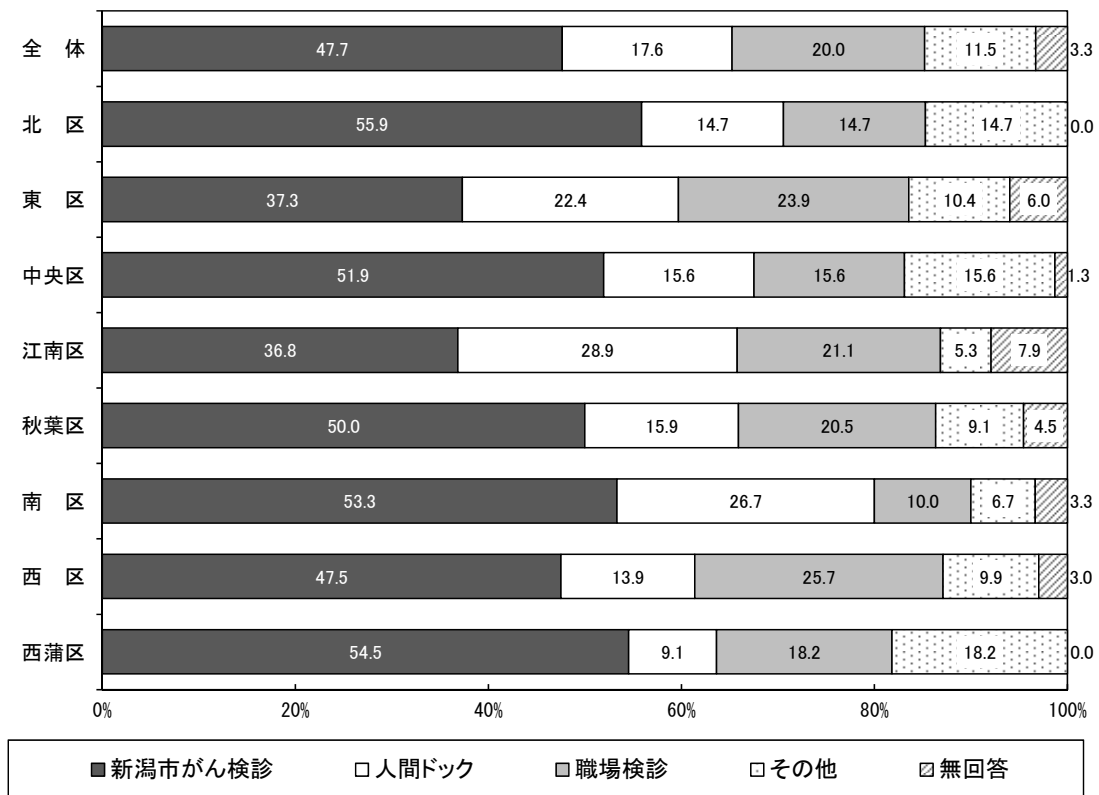
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

全ての地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高くなっている。

図 52.10 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
426	34	67	77	38	44	30	101	33	2

(人)

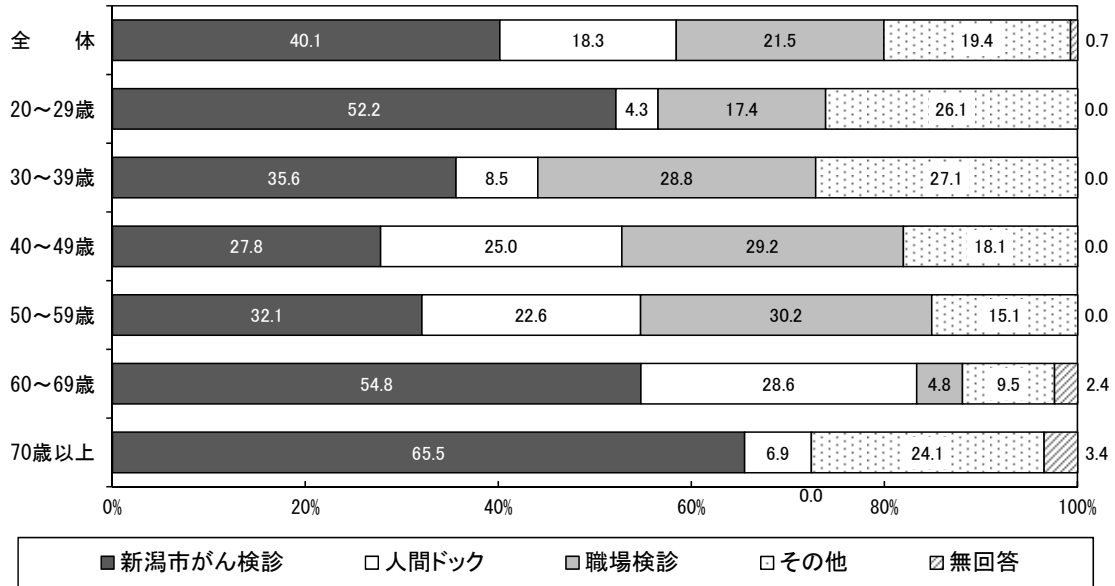
※ 地区不明者のグラフは省略した。

エ) 子宮頸がん検診

【性別・年齢別】

「その他」を除き、40歳代は「職場検診」(29.2%)が最も高く、それ以外の年代では「新潟市がん検診」が最も高くなっている。

図 52.11 がん検診の検診場所 (年齢別・全体)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	279	23	59	72	53	42	29	1
男性	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	279	23	59	72	53	42	29	1

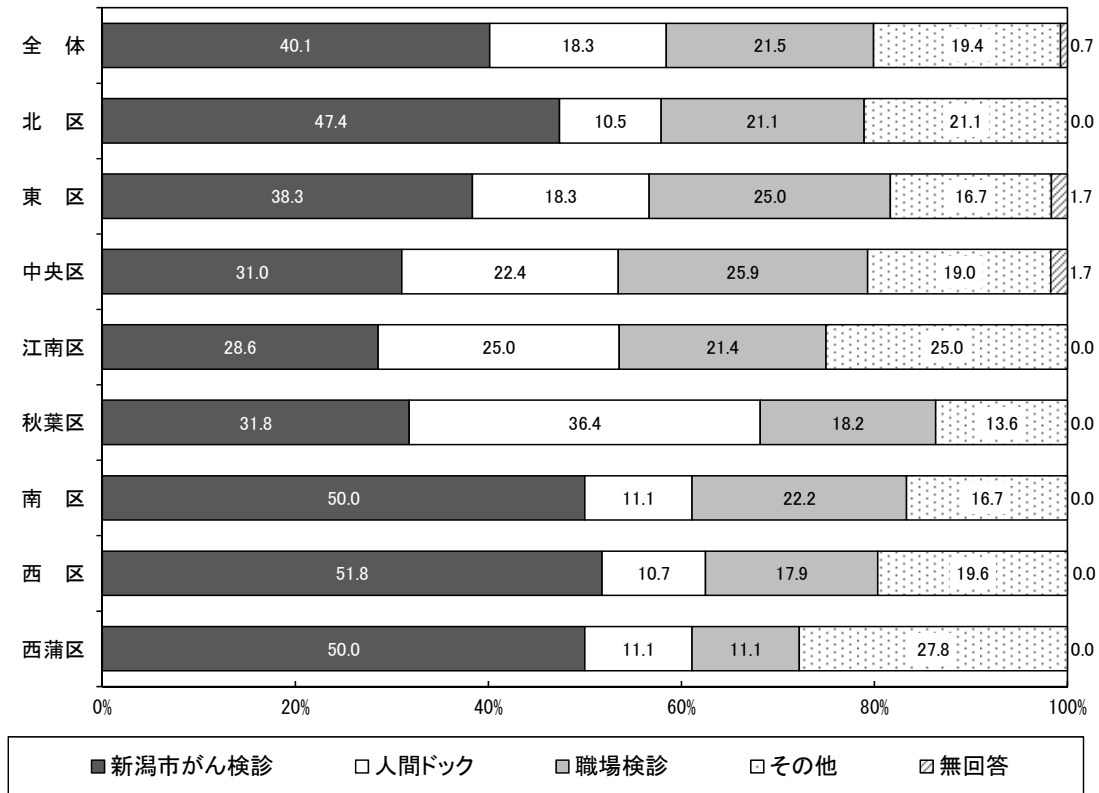
(人)

※ 年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

秋葉区では「人間ドック」と回答した人の割合が最も高く、その他の地区では「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高くなっている。

図 52.12 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
279	19	60	58	28	22	18	56	18	0

(人)

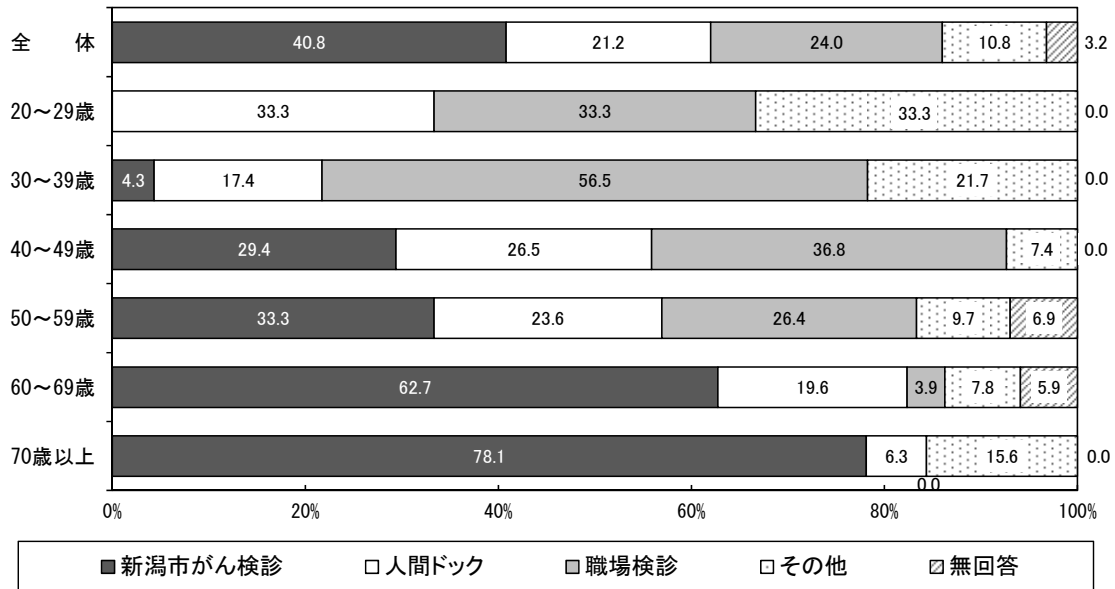
※ 地区不明者のグラフは省略した。

オ) 乳がん検診

【性別・年齢別】

「その他」を除き、20歳代は「人間ドック」と「職場検診」の割合が同率で最も高く、30歳代から40歳代は「職場検診」の割合が最も高くなっている。50歳代以上では「新潟市がん検診」の割合が最も高くなっている。

図 52.13 がん検診の検診場所（年齢別・全体）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	250	3	23	68	72	51	32	1
男性	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	250	3	23	68	72	51	32	1

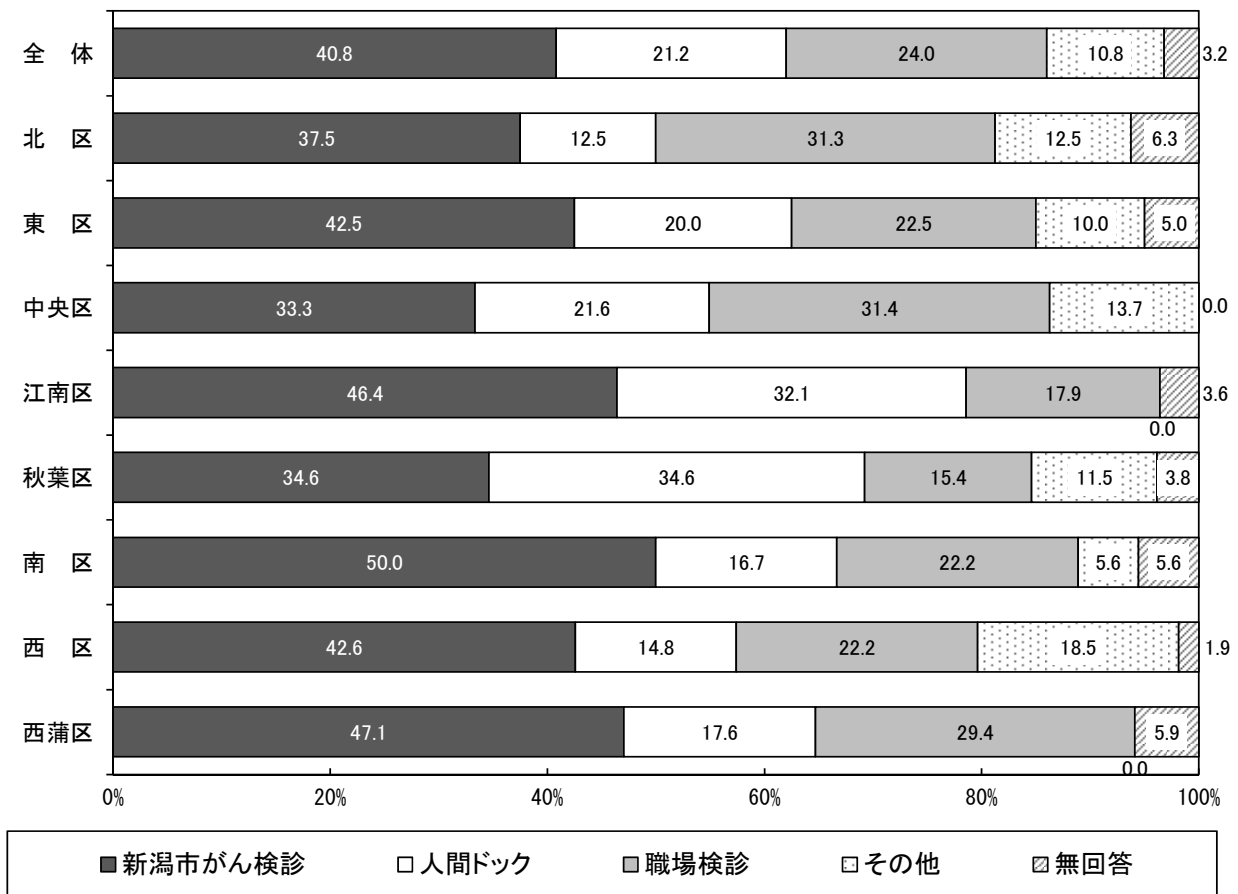
(人)

※ 年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

秋葉区では「新潟市がん検診」と「人間ドック」と回答した人の割合が同率で最も高く、秋葉区以外の地区では「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高くなっている。

図 52.14 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
250	16	40	51	28	26	18	54	17	0

(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

(20) がん検診を受けなかった主な理由

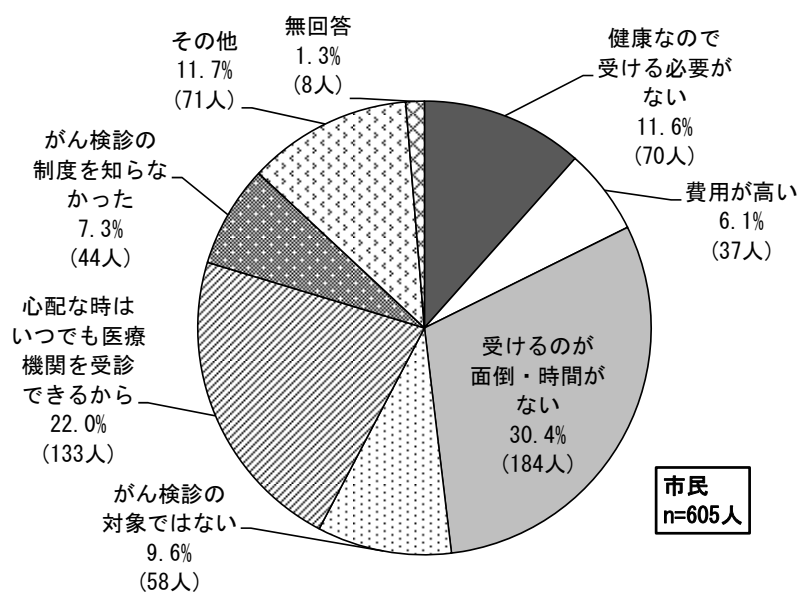
問48 問46で「6 いずれのがん検診も受けていない」に○を付けた方にお尋ねします。
がん検診を受けなかった主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

3割強が「受けるのが面倒・時間がない」と回答

【全体結果】

がん検診を受けなかった主な理由は、「受けるのが面倒・時間がない」(30.4%)、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」(22.0%)と回答した人の割合が高くなっている。以下「健康なので受ける必要がない」(11.6%)、「がん検診の対象ではない」(9.6%)と続いている。

図 53.1 がん検診を受けなかった主な理由



【性別・年齢別】

30歳代は「受けるのが面倒・時間がない」と「がん検診の対象ではない」が同率で最も高く、60歳代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が最も高くなっている。20歳代と40歳代から50歳代は「受けるのが面倒・時間がない」が最も高くなっている。

図 53.2 がん検診を受けなかった主な理由（年齢別・全体）

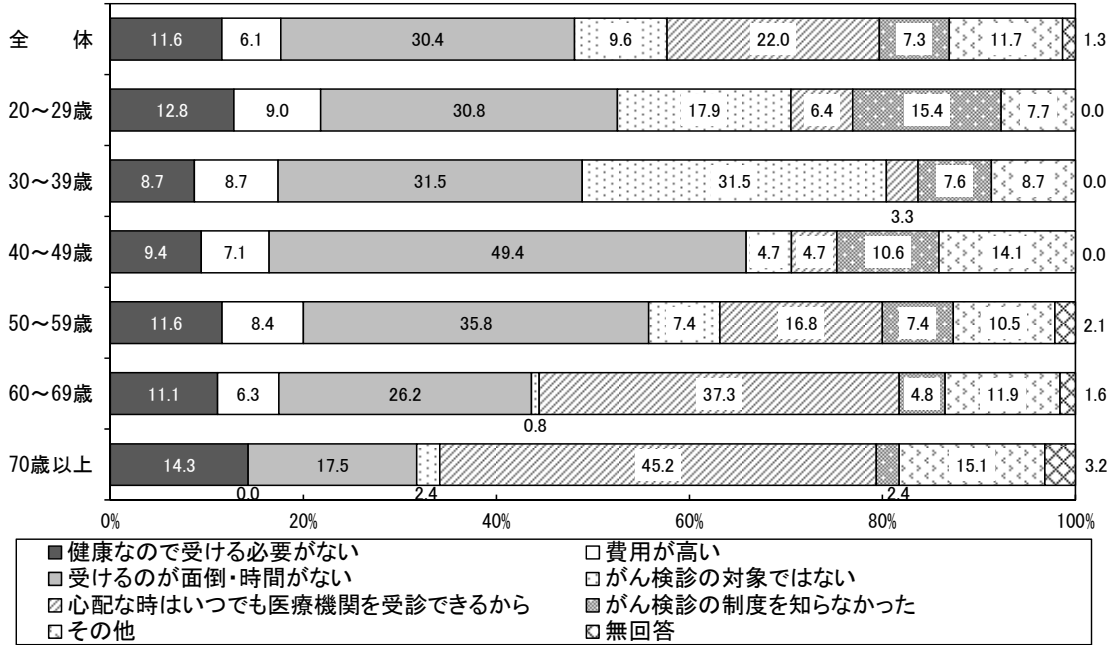
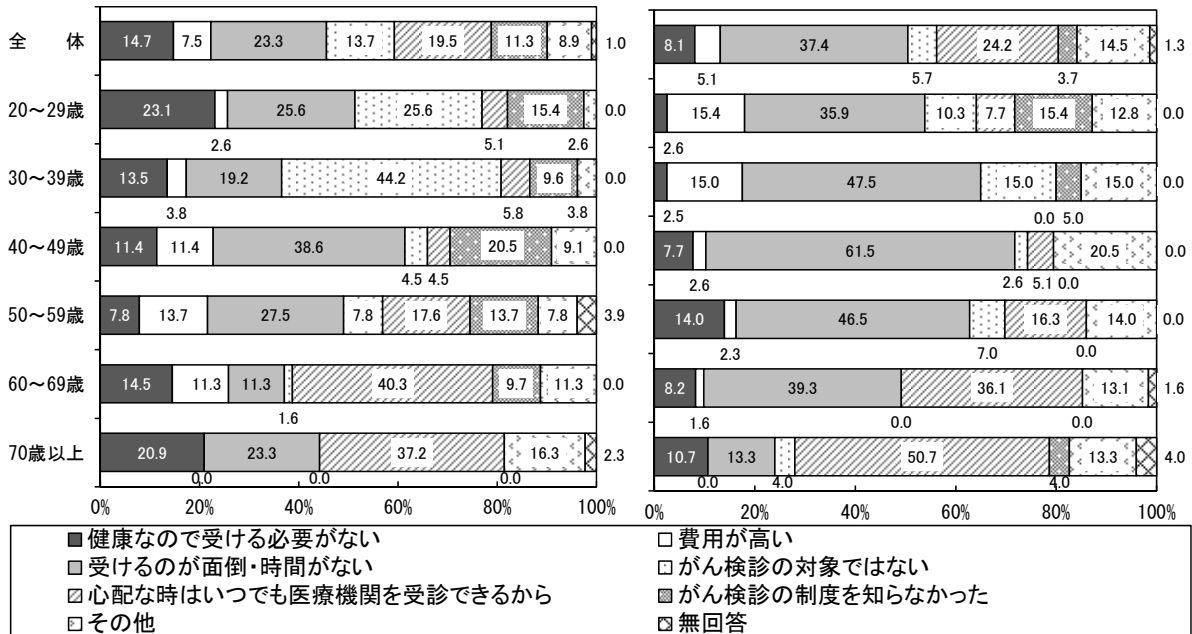


図 53.3 がん検診を受けなかった主な理由

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	605	78	92	85	95	126	126	3
男性	292	39	52	44	51	62	43	1
女性	297	39	40	39	43	61	75	0

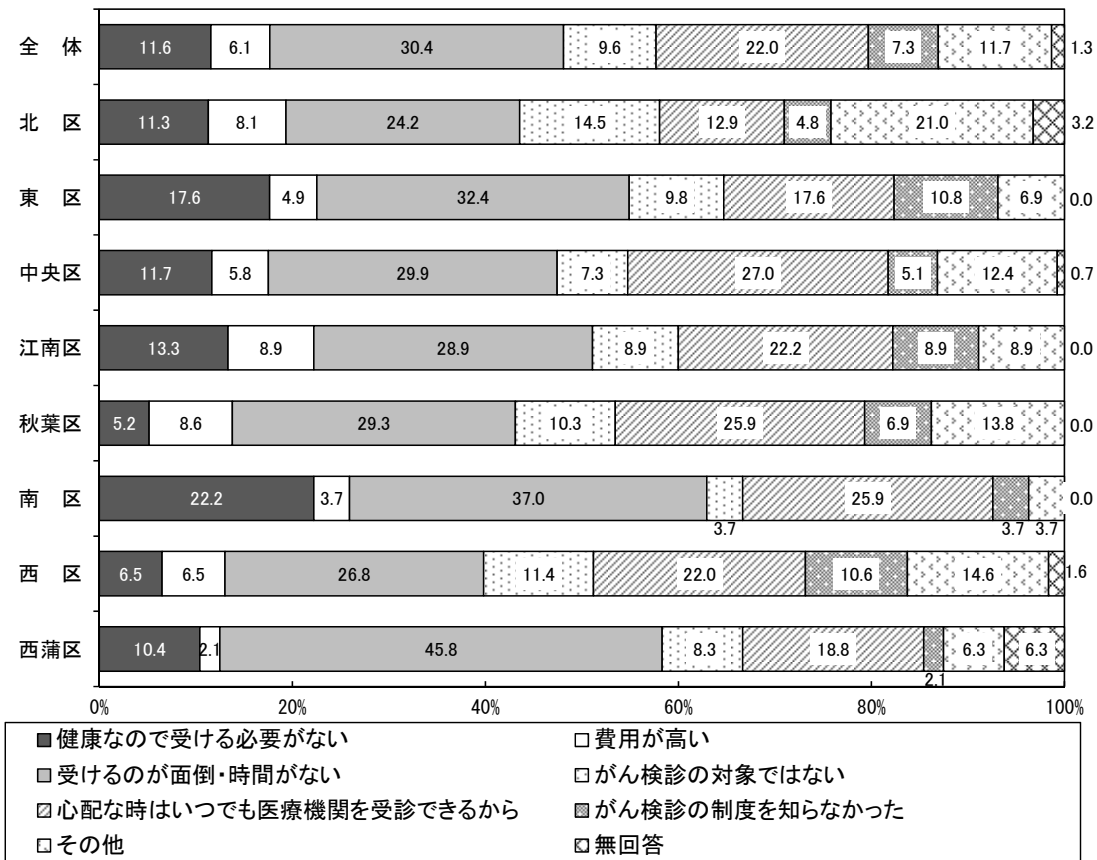
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

全ての地区で「受けるのが面倒・時間がない」が最も高く、西蒲区では4割半ばとなっている。

図 53.4 がん検診を受けなかった主な理由（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
605	62	102	137	45	58	27	123	48	3

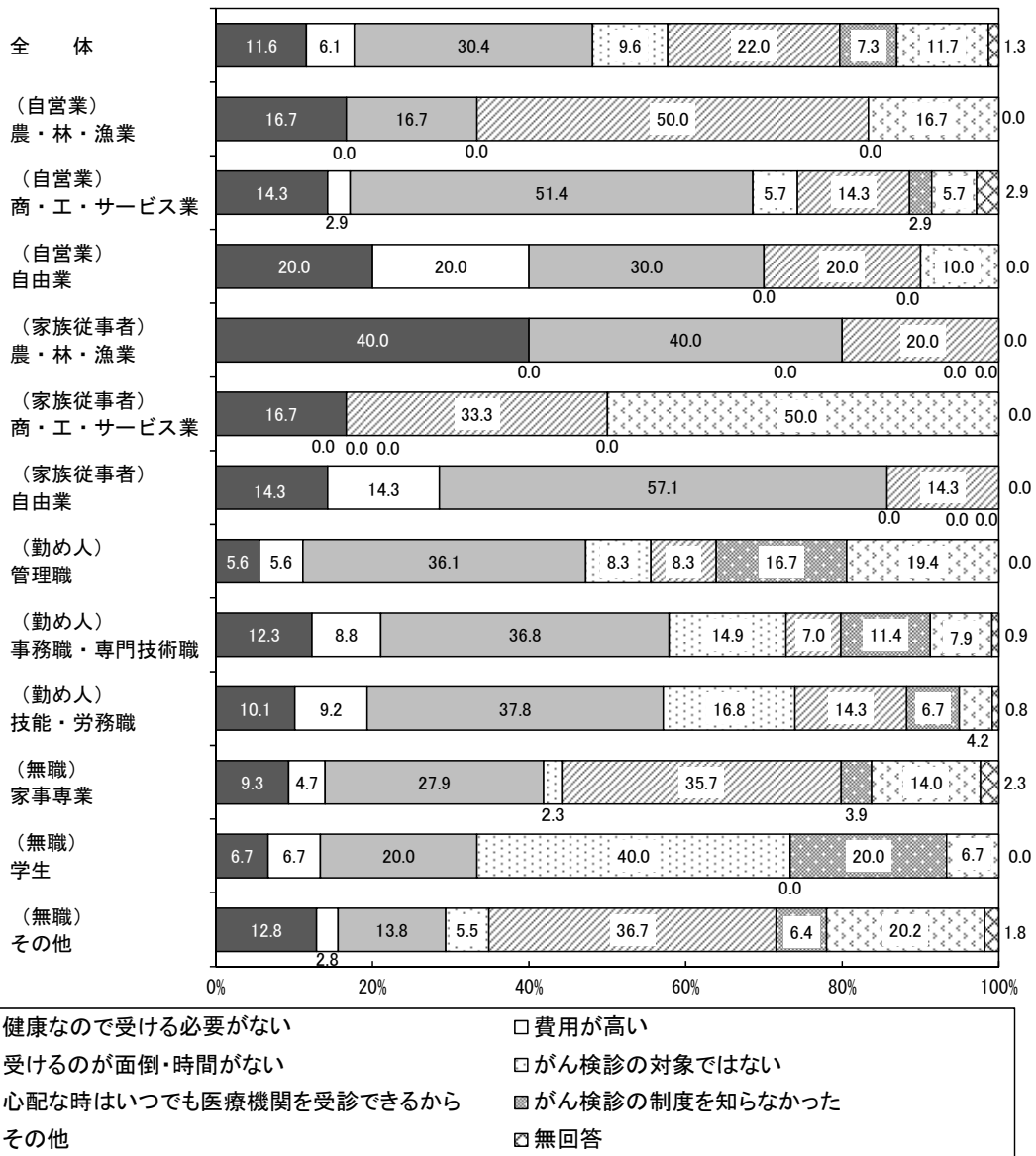
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 53.5 がん検診を受けなかった主な理由（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答	
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業		
605	6	35	10	5	6	7		
		勤め人			無職			無回答
		管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
		36	114	119	129	15	109	14

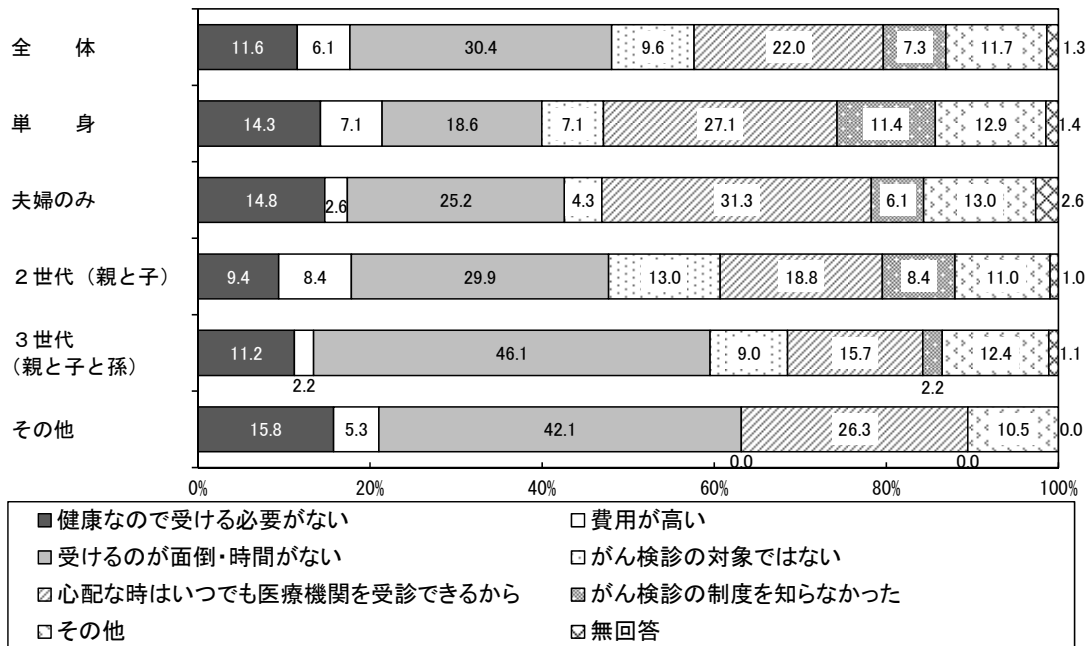
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

単身、夫婦のみは「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、2世代と3世代、およびその他は「受けるのが面倒・時間がない」を回答した人が、それぞれ最も多くなっている。

図 53.6 がん検診を受けなかった主な理由（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
605	70	115	308	89	19	4

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(21) 地域の人たちとのつながり

問49 あなたにとってご自身と地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか。
(○は1つだけ)

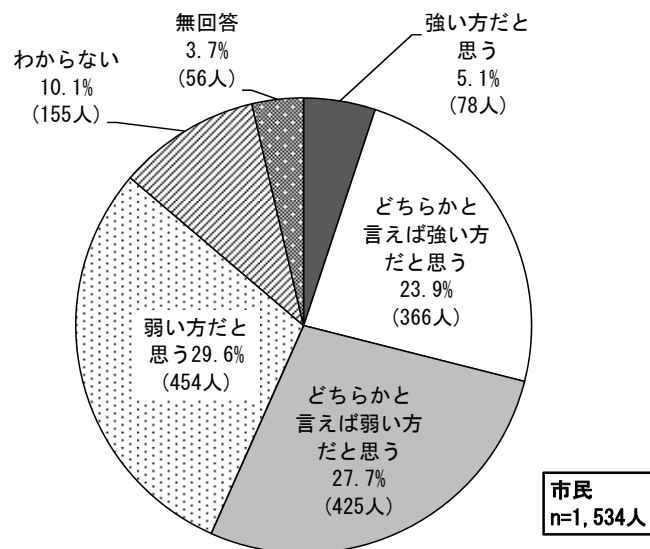
3割弱が地域の人たちとのつながりは強いと回答

【全体結果】

「強い方だと思う」(5.1%)、「どちらかと言えば強い方だと思う」(23.9%) 回答した人を合わせた強いと思う割合は3割弱(29.0%)となっている。

一方、「どちらかと言えば弱い方だと思う」(27.7%)、「弱い方だと思う」(29.6%) と回答した人を合わせた割合は6割弱(57.3%)となっている。

図 54.1 地域の人たちとのつながり



【性別・年齢別】

60歳代以下で、「どちらかと言えば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかと言えば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。「強い方だと思う」「どちらかと言えば強い方だと思う」を合わせた割合は、70歳以上（40.6%）で最も高く、「どちらかと言えば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合（40.7%）とほぼ同率となっている。

図 54.2 地域の人たちとのつながり（年齢別・全体）

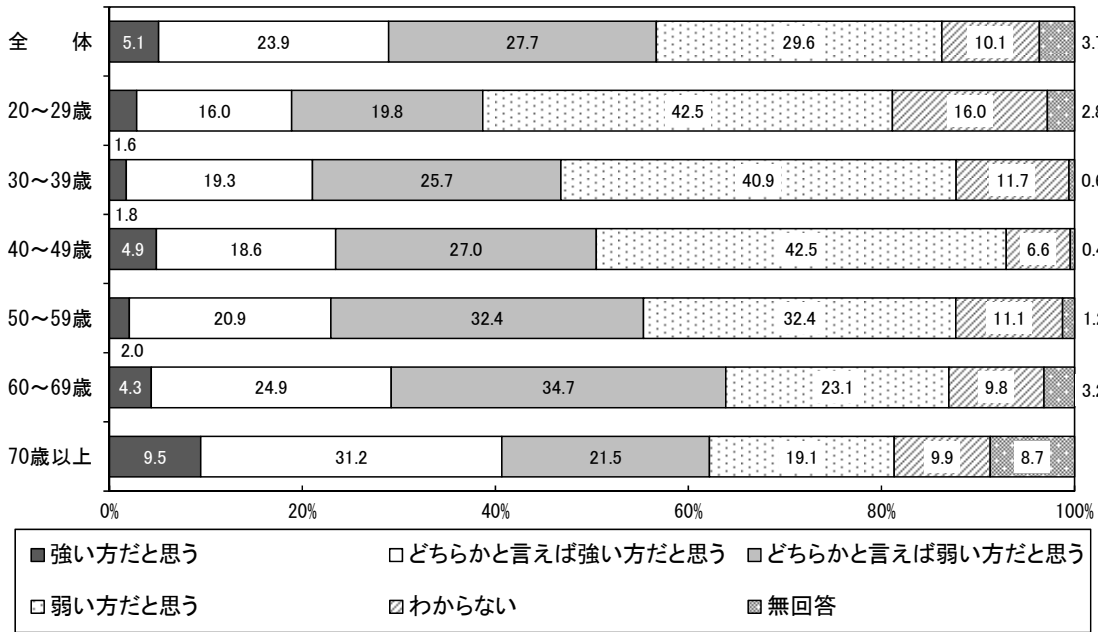
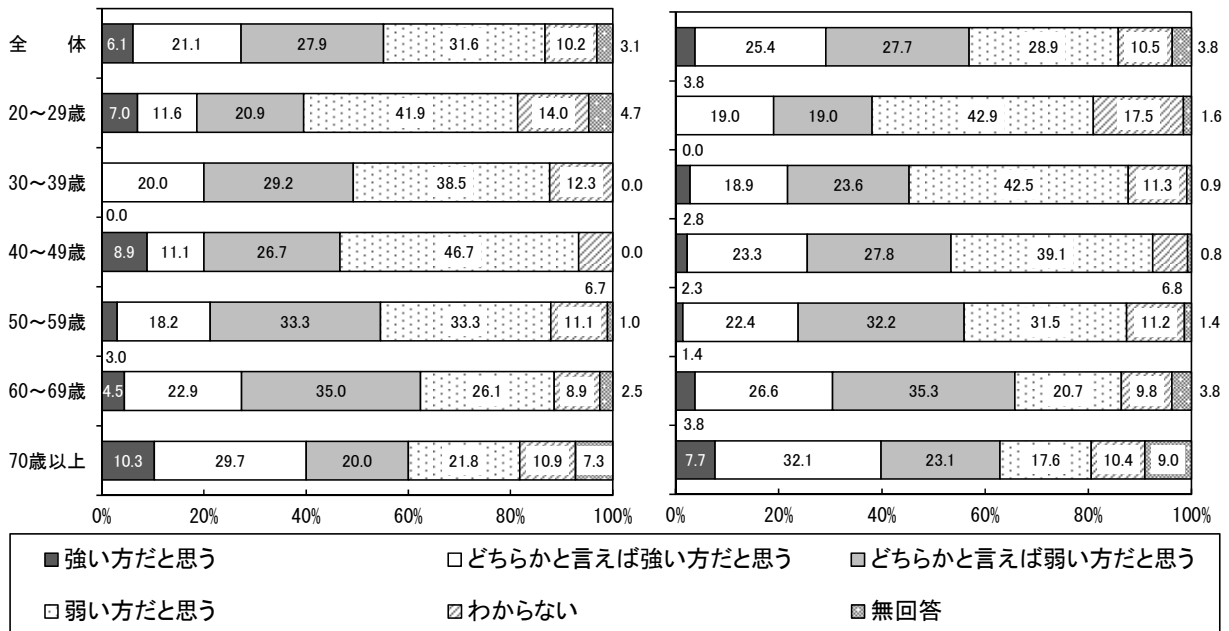


図 54.3 地域の人たちとのつながり

（年齢別・男性）

（年齢別・女性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

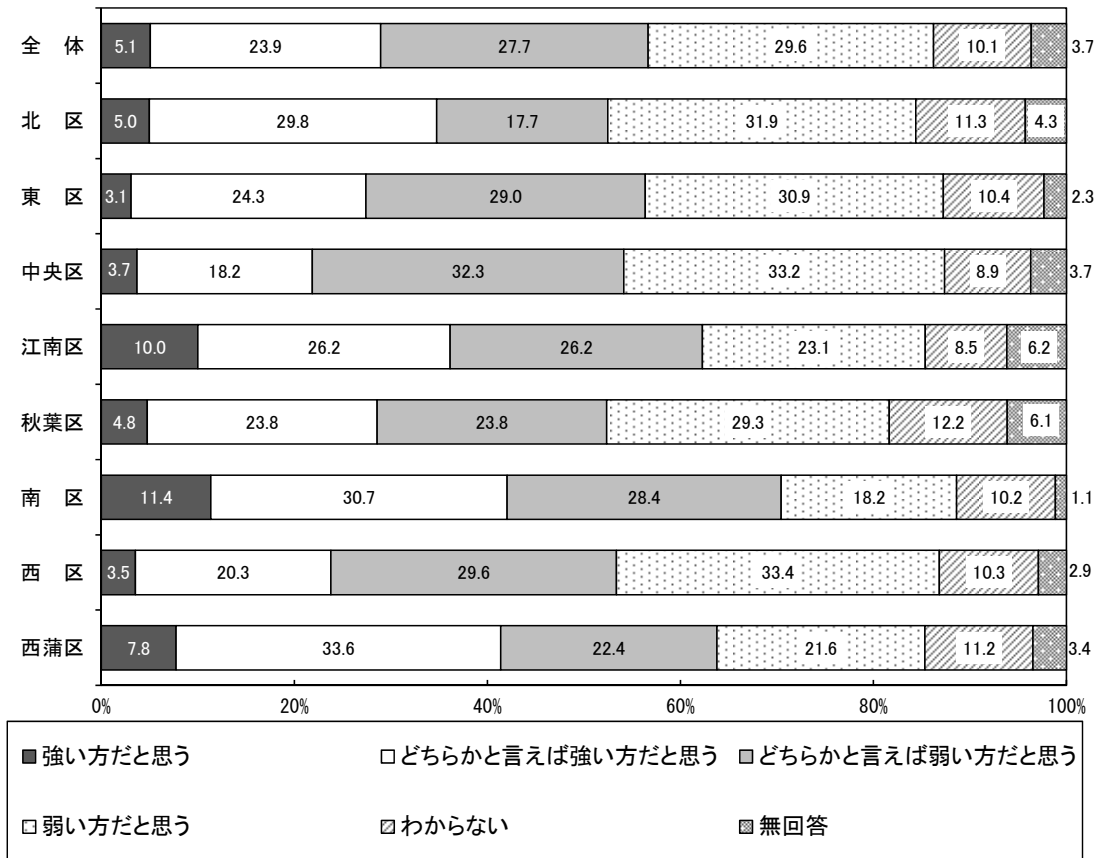
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

全ての地区で「どちらかと言えば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかと言えば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。

図 54.4 地域の人たちとのつながり（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

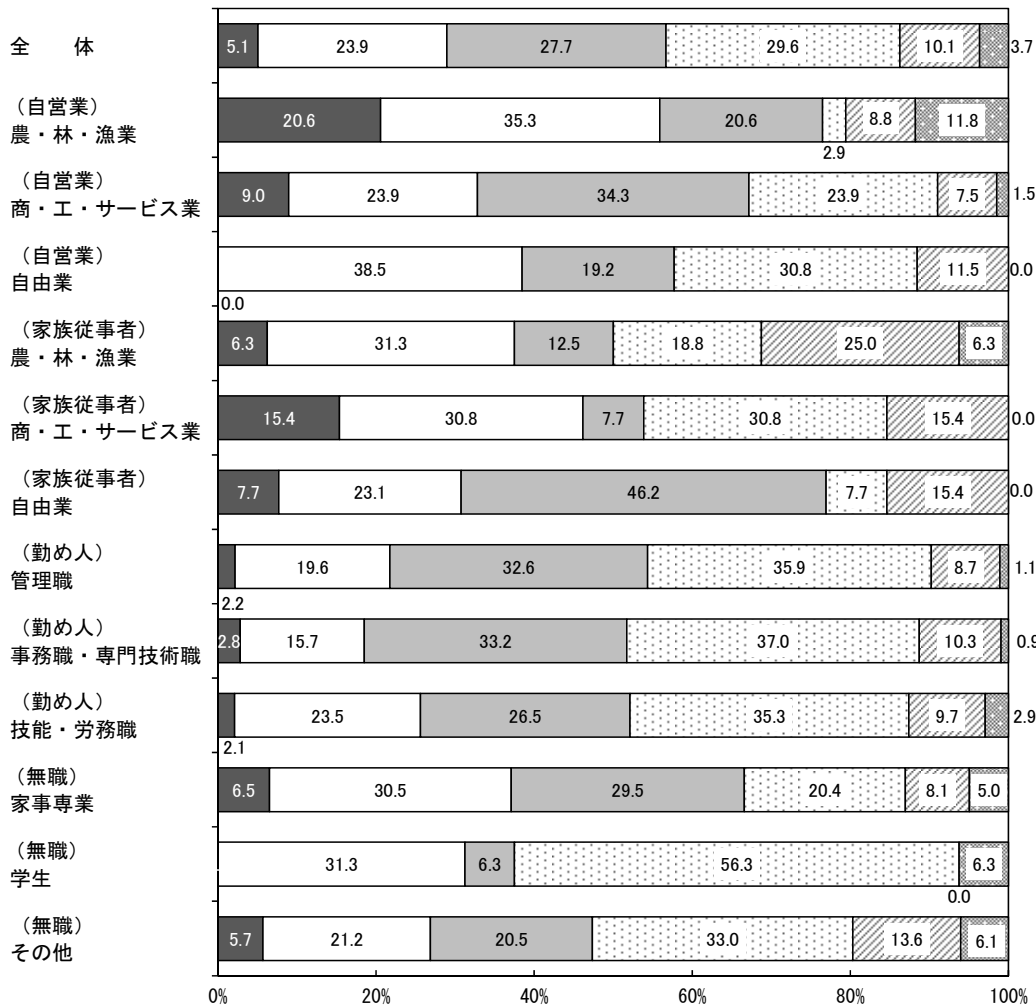
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 54.5 地域の人たちとのつながり（職業別）



強い方だと思う どちらかと言えば強い方だと思う どちらかと言えば弱い方だと思う
 弱い方だと思う わからない 無回答

全 体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,534	34	67	26	16	13	13

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

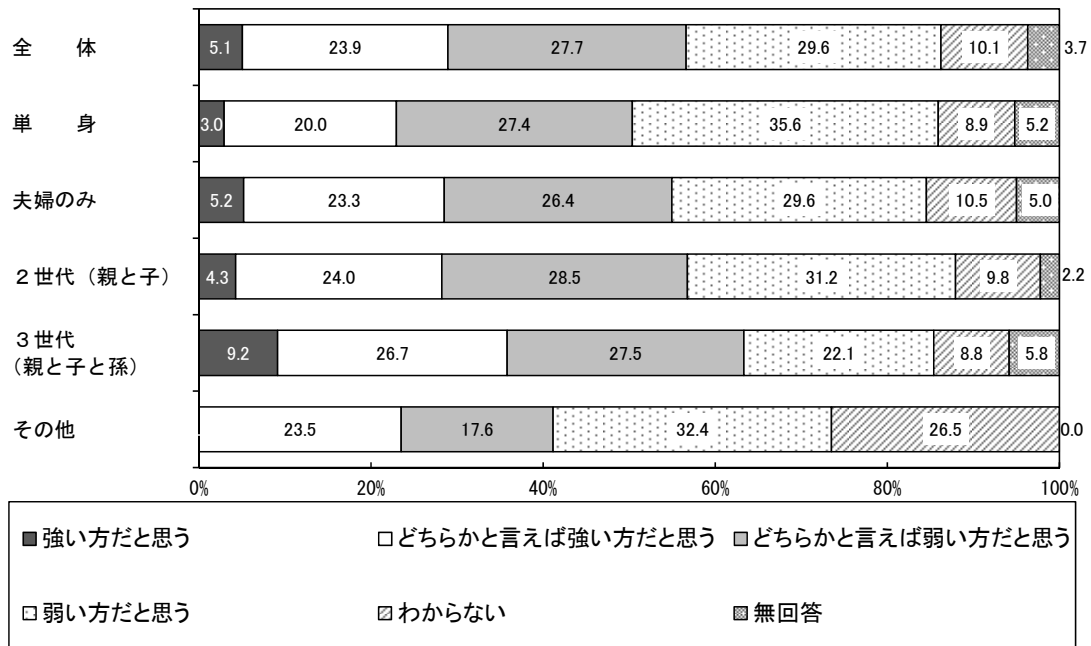
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成とも、「どちらかと言えば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかと言えば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。

図 54.6 地域の人たちとのつながり（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

(22) 最近1年間のボランティア活動・地域活動の参加状況

問50 あなたはこの1年間にボランティア活動（近隣の人への手助け・支援を含む）、地域社会活動（町内会活動・地域行事など）を行いましたか。（○はいくつでも） ※有償・無償にかかわらず

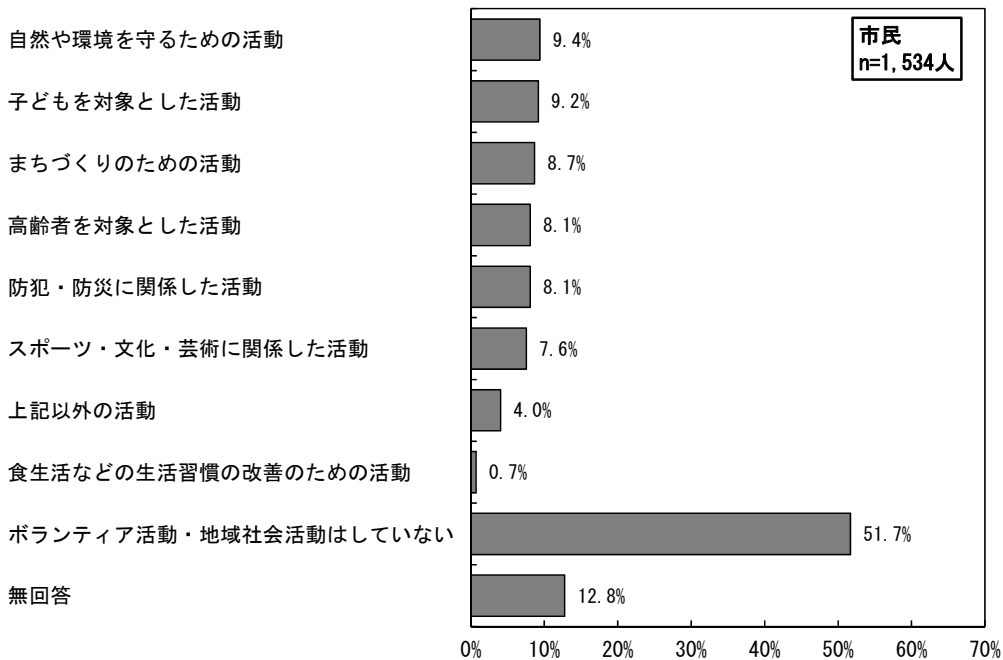
4割弱が最近1年間に何らかのボランティア活動・地域社会活動に参加したと回答

【全体結果】

「ボランティア活動・地域社会活動はしていない」（51.7%）、「無回答」（12.8%）を除いた、何らかのボランティア活動・地域活動に参加したと回答した人の割合は4割弱（35.5%）となっている。

その中で、「自然や環境を守るための活動」（9.4%）を回答した人が最も多く、以下「子どもを対象とした活動」（9.2%）「まちづくりのための活動」（8.7%）と続いている。

図 55.1 最近1年間のボランティア活動・地域活動の参加状況



全体	自然や環境を守るための活動	子どもを対象とした活動	まちづくりのための活動	高齢者を対象とした活動	防犯・防災に関係した活動	スポーツ・文化・芸術に関係した活動	上記以外の活動	食生活などの生活習慣の改善のための活動	ボランティア活動はしていない	無回答
1,534	144	141	133	124	124	116	62	11	793	196

(人)

【性別・年齢別】

各年代とも「ボランティア活動・地域社会活動はしていない」と回答した人の割合が最も高くなっている。

また、30歳代から40歳代では「子どもを対象とした活動」の割合が他の年代に比べて高く、40歳代から50歳代では「自然や環境を守るための活動」の割合が他の年代に比べて高く、60歳代以上では「高齢者を対象とした活動」が他の年代に比べて高くなっている。

表 12.1 最近1年間のボランティア活動・地域活動の参加状況（年齢別・全体）

	対象者	守る自然や環境のための活動	子どもを対象とした活動	まちづくりのための活動	高齢者を対象とした活動	関係犯した防災に	スポーツ・文化活動	食生活などのための生活の改善	上記以外の活動	地域社会活動はしていない	ボランティア活動はしていない	無回答
計	1,534	9.4	9.2	8.7	8.1	8.1	7.6	0.7	4.0	51.7	12.8	
20～29歳	106	5.7	4.7	2.8	3.8	0.9	4.7	0.0	2.8	77.4	4.7	
30～39歳	171	6.4	16.4	8.2	0.0	6.4	4.7	0.0	1.2	64.9	4.7	
40～49歳	226	10.2	23.0	8.8	3.5	8.0	6.6	0.4	4.0	51.3	3.5	
50～59歳	244	12.3	7.4	8.2	4.1	6.1	7.8	0.8	4.5	57.8	6.6	
60～69歳	346	8.4	6.1	9.0	10.7	11.0	7.5	0.9	4.9	50.3	13.3	
70歳以上	423	9.9	4.0	9.9	15.4	9.0	9.5	1.2	4.5	38.3	25.5	
年齢不明	18	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	5.6	38.9	27.8	

対象者:人/回答:%

表 12.2 最近1年間のボランティア活動・地域活動の参加状況（年齢別・男性）

	対象者	守る自然や環境のための活動	子どもを対象とした活動	まちづくりのための活動	高齢者を対象とした活動	関係犯した防災に	スポーツ・文化活動	食生活などのための生活の改善	上記以外の活動	地域社会活動はしていない	ボランティア活動はしていない	無回答
計	620	10.3	8.5	11.0	7.4	11.3	9.5	0.2	4.2	53.4	9.4	
20～29歳	43	4.7	2.3	4.7	4.7	0.0	4.7	0.0	2.3	76.7	7.0	
30～39歳	65	13.8	10.8	10.8	0.0	6.2	6.2	0.0	3.1	63.1	6.2	
40～49歳	90	8.9	17.8	12.2	2.2	12.2	8.9	0.0	4.4	51.1	4.4	
50～59歳	99	8.1	8.1	12.1	3.0	11.1	11.1	0.0	2.0	59.6	4.0	
60～69歳	157	8.9	7.0	8.3	6.4	14.0	8.3	0.6	5.1	57.3	7.6	
70歳以上	165	13.9	6.1	13.9	17.6	13.3	12.7	0.0	5.5	37.0	18.8	
年齢不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

対象者:人/回答:%

表 12.3 最近1年間のボランティア活動・地域活動の参加状況（年齢別・女性）

	対象者	守る自然や環境のための活動	子どもを対象とした活動	まちづくりのための活動	高齢者を対象とした活動	関係犯した防災に	スポーツ・文化活動	食生活などのための生活の改善	上記以外の活動	地域社会活動はしていない	ボランティア活動はしていない	無回答
計	851	8.5	10.1	7.1	8.5	5.9	6.1	0.9	3.8	51.8	13.7	
20～29歳	63	6.3	6.3	1.6	3.2	1.6	4.8	0.0	3.2	77.8	3.2	
30～39歳	106	1.9	19.8	6.6	0.0	6.6	3.8	0.0	0.0	66.0	3.8	
40～49歳	133	10.5	26.3	6.0	4.5	5.3	4.5	0.8	3.8	51.9	3.0	
50～59歳	143	15.4	7.0	5.6	4.2	2.8	5.6	1.4	6.3	56.6	8.4	
60～69歳	184	7.6	5.4	9.8	14.1	8.7	7.1	0.0	4.9	44.6	18.5	
70歳以上	221	7.2	2.7	7.7	14.5	6.8	7.7	2.3	3.2	40.7	27.6	
年齢不明	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

対象者:人/回答:%